令　和　5　年　度　事　業　計　画

社会福祉法人あゆみの会

総　論

令和五年度の課題は令和６年度開園の板橋保育園の開園準備、職員採用・スキルアップ、定着率の向上、業務の効率化（ICT の推進等）が挙げられる。地理的に離れている都内での施設開園に向け、本部と施設、施設間の連携がより円滑に行われるよう、仕組を構築する必要がある。少子化時代に入り、都内でも新入園児の定員割が生じている。選ばれる園となるよう法人全体で保育の質を高め、それを発信していくことも必要である。

１．板橋保育園開園準備

（１）　施設の概要

施設名称	板橋保育園(板橋区)
施設主体	社会福祉法人　あゆみの会
設置形態	認可保育所
敷地面積	約１,３８０㎡
開園日	令和６年４月
園児定員	１０３人（１～２歳児各２０人、３～５歳児各２１人）
アクセス	東京都板橋区富士見町 20-118（都営板橋富士見町アパート内敷地） 都営三田線板橋本町駅徒歩１０分 ／ 東武東上線中板橋駅徒歩１０分
HP	https://itabashi.ayuminokai.jp/

（２）　スケジュール

４月	入札公告
５月	入札・建築業者決定 三者協議会
６月	建設契約 東京都土地賃借契約 地域説明会・工事着工 職員採用 三者協議会
７月	定例会議 職員採用 三者協議会 引継
８月	定例会議 職員採用 三者協議会 引継

９月	定例会議 職員採用 三者協議会 引継
１０月	定例会議 職員採用 三者協議会 引継・合同保育
１１月	定例会議 職員採用 三者協議会 引継・合同保育
１２月	定例会議 職員採用 三者協議会 引継・合同保育
１月	定例会議 三者協議会 職員採用 引継・合同保育 建物竣工
２月	職員採用 三者協議会 保育環境整備 引継・合同保育
３月	職員採用 三者協議会 保育環境整備 引継・合同保育

２．職員関係

（１）職員採用計画

	保育士	事務・保育補助	看護師	栄養士・調理員
常勤職員	１５名以上	１名以上		１名以上
非常勤職員	５名以上	５名以上	１名以上	１名以上

（2） 職員のスキルアップ

職員のスキルアップには、各自のスキル・キャリアプランに合わせた研修計画と研修時間の確保が必要である。

1）保育計画と保育アドバイザー

研修計画を策定、私立保育園連盟、東京都区において保育士のキャリアアップ研修を指導している養成校大学教授を法人保育アドバイザーとして、初任者研修。中級者研修を実施していく。

2）保育実践を通じての研修

研修時間の確保は重要な課題である。一方。研修が日々の業務を圧迫し、保育体制、労務に影響が出ることは避けなくてはいけない。

令和５年度も引き続き各園園会議で共通するテーマを「すまいる委員会」の委員会活動に集約し、質の向上と効率化を図るとともに、本年度は研修部会に「次世代実践委員会（On JT/Off JT）」を設置、日々の保育実践の中で研修を実践することとする。保育部会について、法人内自主的勉強会「保育環境ラボ」を「環境ラボ委員会」とし委員会活動に組み入れるとともに、発達と保育計画に焦点を当てた「発達計画委員会」を設置、２つの委員会に改編する。

日々の保育体制に支障が出ないよう。各委員会の開催頻度等を検討する。

＊令和５年度すまいる委員会

保育	環境ラボ委員会	保育環境（玩具・教具・環境）の改善
	発達計画委員会	ICT 化の推進【＊】 チャイルドケアウェブ・コドモン活用 発達理解・感覚統合・計画指導案作成
研修	研修計画委員会	年間・個別・合同研修計画の周知と作成 富山先生トミーの日、井上先生ワークショップの計画、実践
	次世代実践委員会 （On JT/Off JT）	ガイドライン改正・概念化 各委員会決定の実践研修 ICT 化の推進【＊】　保護者コミュニケーション（グーグル・意見箱）
安全	安全委員会	安全計画・マニュアル整備 ひやりはっと分析・安全訓練 保護者対応（オンライン QQ）
	看護委員会	保健計画・保健だより 衛生管理指導・健康診断

食育	保育食育委員会	食と健康・人間関係・文化・料理　命の育ちと食　食育・計画・たより
	厨房委員会	食事の安全（アレルギー）衛生・調理技術や知識 食育指導、献立、食育だより
総合	人権・監査委員会	園自己評価（年１回） クオーレ・行政監査対応 保護者・園児・職員の人権対応
	事務委員会	各種業務マニュアル（手続・申請等） 人事労務 ICT 化（文書・データ管理）【＊】
	広報オンライン委員会	子育て支援センター 広報資料作成（動画・資料他）
		ICT 化の推進業務のフォローアップ【＊】

（３）　定着率の向上

１）臨床心理士等によるカウンセリング

職員オンライン相談窓口の設置、臨床心理士等とカウンセリング契約を行い、職員のメンタルケアを行う。

２）処遇改善

保育士資格取得支援制度、処遇改善手当の支給増額等により処遇改善を図る

３）チューター制度

新卒保育士に対し各自に専任チューターを配置する

４）職員の相談窓口

職員からの相談を受け付けるオンライン窓口を設置する

（４）業務の効率化（ＩＣＴの推進等）

１）本部・各施設との連携強化

施設・本部の連携を強化するため、各園の事務職員が月１度、本部に集まり事務会議を行うこととする。各園。本部での課題や問題点、その解決について共有し業務の効率化を図る。

スプレッドシート・グーグルフォームを活用し、各園で受信したメールについて拠点・本部間で情報を共有し To Do リスト化するとともに、各園からの問い合わせを電話からスプレッドシートに切り替え、問合内容をＦＡＱとして全施設で共有する。土曜合同保育や合同行事等にスプレッドシートを活用、各施設間での情報共有と To Do リスト化による進捗管理を行う。

２）JINJER（人事管理システム）

雇用契約情報のオンライン管理により、施設ごとの職員管理より、職員管理を法人で一元化、異動等の業務をシステムの中で管理する。

３）チャイルド・ケア・ウェブの活用

保育記録、児童票、保育要録の連動を図る。

３．選ばれる園づくり

子どもの最善の利益の実現を念頭に、保護者の方への子ども支援とそれを支える職員の就労環境のバランスをとることが大切である。

透明性ある運営に努め、保育内容や法人情報等について一層の情報公開・発信を進めていく。保育室に設置したモニターカメラの活用により職員研修、保育環境の改善、保護者の方への案内・説明を行う等、客観的な情報を伝えていく。

子ども主体の環境を通じた教育を推進し、ホームページやＳＮＳ、保育ガイドラインやパンフレット等、情報ツールを充実する。

以　上

資　料

・　研修計画
・　年齢別年間計画
・　令和５年度すまいる委員会

2023年度　すまいる保育園研修計画

2022.3.7　研修計画策定員会作成

法人理念	［笑顔を増やす］　福祉を通じて笑顔を増やすこと　まず自分たちの笑顔を大切にする　私たちの笑顔を子どもたちへ、子どもたちの笑顔を保護者へ、保護者の笑顔を地域へと広げていく		
保育理念	自分のことが好きな子ども(養護)・自分のことができる子ども(教育)	保育目標	≪3つの大好きにより自立心を育てる≫　身体を動かすことが大好きな子、を使うのが大好きな子、人と関わるのが大好きな子を育む
研修テーマ	往還型研修の実施によるリスペクトと学び合い	学ぶことの意義	各種の視点 ⇒ 課題を見出す ⇒ 同僚との対話 ⇒ 保育の見直し ⇒ 保育実践の質の改善

研修目的

保育所保育指針 第5章を尊守

◆保育所保育指針第1章から第4章までに示された事項を踏まえ、質の高い保育を展開するため、絶えず、一人一人の職員についての資質向上を及び職員全体の専門性を図る

1 保育所職員に求められる専門性
- ・子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行うためには、職員一人一人の倫理観、人間性並びに保育所職員としての職務及び責任の理解と自覚が基盤となる
- ・各職員は、自己評価に基づく課題等を踏まえ、保育所内外の研修等を通じて、保育士・看護師・調理師・栄養士等、それぞれの職務内容に応じた専門性を高めるため、必要な知識及び技術の習得、維持及び向上に努めなければならない

2 保育の質の向上に向けた組織的な取組
- ・保育の内容などに関する自己評価等を通じて把握した、保育の質の向上に向けた課題に組織的に対応するため、保育内容の改善や保育士等の役割分担の見直し等に取り組むとともに、それぞれの職位や職務内容等に応じて、各職員が必要な知識及び技能を身に付けるよう努めなければならない

体系	目的	講師名	講師名	講師名
外部講師	◆大学教授や研究者等、保育や発達・保育環境について、複数の専門アドバイザーから最新の情報を取り入れ、より良い保育を追求する	富山 大士氏 こども教育宝仙大学准教授　クオーレ「トミーの日」	浅井拓久也氏 秋草学園短期大学准教授「浅井塾」※所属が変わります」	藤原里美氏 チャイルドラボ
		井上 寿氏 日本建築学会・日本都市計画学会・日本造園学会「ワークショップ」	加藤 紫美氏 東京家政大学教授「保育の本当を探索する会」	
外部研修	◆自らの専門性の向上を図る ◆研修で得た知識及び技術を他の職員と共有する	日本保育学会主催研修　埼玉県社会福祉協議会主催研修　埼玉県保育協議会研修　埼玉県ふじみ野市主催研修　埼玉県川越市主催研修　コドモン主催の研修 保育環境研究所ギビングツリー主催研修　川越市私立保育園連盟主催研修　けやの森主催の研修 キャリアアップ研修 子どもの文化主催研修・臨床育児保育研究会・臥竜塾・幼稚園教諭免許更新ほか		

内部研修

◆日々の保育実践を通じて、必要な知識及び技術の習得、維持及び向上を図る

◆保育の課題等への共通理解や協同性を高める

◆園全体としての保育の質の向上を図る

◆日常的に職員同士が主体的に学び合う姿勢と環境の充実を図る

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
（園内研修 各園主催）	保育	＜学びの日＞ ・人権 ・虐待 ・子どもの個別の様子及び配慮事項 ※知識の習得と保育への還元	●姉妹園合同研修 ＜学びの日＞ ※手話の基礎知識を学び日々の実践に活かす テーマ 「手話を保育現場におけるコミュニケーションのツールに」 講師 サイン行政書士事務所 吉野 薫氏 ＜学びの日＞ ・電話対応 ・送迎時の対応 ・保護者対応 ・地域子育て支援 ※知識の習得と保育への還元	●すまいるの日 ＜グループの日＞ ・法人本部通達 ・各部会委員長より活動報告 ・各園より実践報告 ほか ※テーマに沿って活発に意見交換する		＜クリーンの日＞ ・大掃除 ※適切な環境を構成し、子どもの発達に応じた保育を行う ※園毎にノンコンタクトタイム内での残務及び業務の進捗状況確認と整理を行う		＜学びの日＞ ・人権 ・虐待 ・子どもの個別の様子及び配慮事項 ※知識の習得と保育への還元	＜学びの日＞ ・子どもの人権 ※知識の習得と保育への還元	＜クリーンの日＞ ・大掃除 ※適切な環境を構成し、子どもの発達に応じた保育を行う ※園毎にノンコンタクトタイム内での残務及び業務の進捗状況確認と整理を行う		●姉妹園合同研修 ＜グループの日＞ ・法人本部通達 ・各部会委員長より活動報告 ・各園より実践況報告 ※課題の解決に向けて活発に意見交換する	＜クリーンの日＞ 新年度準備 ※園毎に目標、方針の設定と評価を行う ※卒園準備及び新入園児を受け入れ、進級等の保育の引継ぎを行い、新たな環境を整える
	安全	＜学びの日＞ ・SIDS ・個人情報 ・アレルギー対応 ・誤飲誤嚥 ・散歩マニュアル ・水の事故 ・熱中症 ※知識の習得と保育への還元							＜学びの日＞ ・感染症 下痢嘔吐処理 インフルエンザ ・不審者対応 ※知識の習得と保育への還元				
	保護者支援							＜学びの日＞ ・保護者対応 ・地域子育て支援 ※知識の習得と保育への還元	＜学びの日＞ ・配慮が必要な保護者対応 ※知識の習得と保育への還元				
（新法人職主催者研修）		・所属園にてオリエンテーションの実施 ・チューター制度の導入 ・すまいるノートの開始	・保育実践に必要な基礎知識を身につける	・保育実践に必要な専門知識・技術を身につける	・アレルギー、発達支援等、個々の子どもの発達の状況に応じた保育を行う力を養う	・子どもに対する理解を深め、保育者が主体的に様々な遊びと環境を通じた保育の展開を行うために必要な能力を身につける	・食育に関する理解を深め、適切に食育計画を活用する力を養う	・自らの人権感覚を高め、人権を大切にする保育を行う	・保護者支援、子育て支援の意義を理解する	・保護者支援、子育て支援に関する理解を深め、適切な援助ができる力を身につける	・保健衛生に関する理解を深め、適切に保健計画を活用できる力を養う	・安全対策に関する理解を深め、、適切な対策を講じることができるよう力を養う	・保育者自身が自己の能力を発揮し、自己実現をする ・チームによる園内業務の経験を積む
（職層別研修 法人主催）		●管理職研修 ・管理職としてのあり方や姿勢、仲間とのコミュニケーション技術を学ぶ	●チューター研修 ・初任者の手本となる行動を示し、日常的業務について助言する	●新入職研修 ・チームによる自分の役割を理解し、助言を受けながら日常業務を実践する	●中堅職員研修 ・職員間の気付きや情報を共有し、学んできた知識と経験に基づき、保育実践を深め、チームを牽引する	●チームリーダー研修 ・自らの保育を客観視、言語化し、保育のあり方や内容を向上させるために同僚と議論する	●管理職研修 ・適切な技術とマネジメント能力を身につけ、園全体の職員の資質の向上及びチームワークを推進する	●チューター研修 ・初任者に対し日々の業務における適切な指導、助言を行う	●新入職研修 ・家庭から収集した子どもの情報を同僚、先輩、上司に報告・連絡・相談し、適切な対応を身につける	●中堅職員研修 ・主任、副主任をサポートし、クラス等チームの業務改善や目標が達せられるように取り組む	●チームリーダー研修 ・自己の能力を理解し、資質向上を図る	●管理職研修 ・組織として、子どもの最善の利益の確保、保護者とのパートナーシップ、地域の子育て支援としての機能を果たしているか評価し、総括する	●入職内定者事前研修 ・社会人、組織人としてのモラル、ルール、マナーを知り、組織の一員としての自覚を持つ

その他の研修

（自主研修 任意参加）

●保育環境ラボ
姉妹園合同で自主的に学び合う活動する
著書などから学びのテーマをあげ、テーマに沿って意見を出し合い深めたり、各園での悩みや憂みについて共有していく　（毎月1回　ZOOMでの開催）
テキスト:「新版 保育とおもちゃ」瀧薫著　エイデル研究所　「改訂 環境構成の理論と実践」 保育の専門性に基づいて　高山静子著　郁洋舎

令和5年度 年齢別保育計画 夢 グループ（0歳児）

園長	副園長	主任	副主任	作成者	作成日

年間目標	・健やかに伸び伸びと育つ、身近な人と気持ちが通じ合う、身近なものと関わり感性を育む。 ・童歌を通して情緒の安定や保育者との愛着が深まる。 ・保育者との愛情豊かな受容のもとで、生理的欲求を満たし、心地よく生活する。
クラスの特徴	
0歳児の終わりまでに 育ってほしい姿	・保育者の愛情豊かな受容の中で、生理的・心理的欲求が満たされ心地よく生活する。 ・一人ひとりの発育に応じて這う、立つ、歩くなど十分に体を動かす。 ・個人差に応じて授乳を行い、離乳を進めていく中で、様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。 ・一人ひとりの生活リズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。 ・オムツ交換や衣類の着脱などを通じて、清潔になることの心地よさを感じる。 ・子どもからの働きかけを踏まえた、応答的なふれ合いや言葉かけによって、欲求が満たされ安定感をもって過ごす。 ・体の動きや表現、発声、喃語などを優しく受け止めてもらい、保育者とのやり取りを楽しむ。 ・生活や遊びの中で、自分の身近な人の存在に気付き、親しみの気持ちを表す。 ・保育者による語りかけや歌いかけ、発声や喃語などの応答を通じて、言葉の理解や発語の意欲が育つ。 ・保育者との温かく、受容的なかかわりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。 ・身近な生活用具、玩具や絵本などが用意された環境の中で、身の回りのものに対する興味や好奇心をもつ。 ・生活や遊びの中で、様々なものに触れ、音、形、色、手触りなどに気付き、感覚の働きを豊かにする。 ・保育者と一緒に様々な色彩、形の物、絵本などを見る。 ・玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど、手や指を使って遊ぶ。 ・保育者のあやし遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて、手足や体を動かして楽しもうとする。

月	生活	遊び	環境構成	保育者の配慮	童歌	SDGs
4月 5月	・新しい環境に慣れ、保育者に抱かれたり、話しかけてもらったりして心地よく過ごす。 ・安心した環境の中で睡眠やミルクや離乳食を食べる。	・わらべうたでのふれあい遊び ・水や泥に触れる。 ・身近な生活用具、玩具や絵本など、身の回りのものに対する興味や好奇心をもち、はいはいやつかまり立ちをしながら探索遊びをする。	・はいはいが沢山できる環境を用意する。 ・安心した環境で離乳食を食べられるようにする。 ・童歌を始める前に、安全を確保する。	・様々な物に興味をしめす際、口へ入れようとする時にはその後の消毒やいけない物を伝えていく。 ・食事の移行や個々の発達について保護者と情報共有しながら進める。	レモン汁、ひいらいたひいらいた、にぎりぱっちり、ぎったんばったん、ちょちちょちあわわ、むずんでひらいて	・たのしく食事をする
6月 7月 8月	・保育者の愛情豊かな受容の中で、生理的・心理的欲求が満たされ心地よく、暑い夏を健康で快適に過ごす。	・わらべうたでのふれあい遊び ・保育者のあやし遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて、手足や体を動かして楽しもうとする。 ・保育者と一緒に様々な色彩、形の物、絵本などを見たり触れてみようとする。 ・水に慣れ親しみ、気持ちよさを味わう。	・ピアノを弾けるように設置する。 ・色水、片栗粉、新聞紙、花紙、粘土等色々な素材の物を用意する。 ・休息をとるスペースを分け、落ち着いた空間にする。	・水分補給をこまめにとるようにし、汗をかいたら着替える等体温調節をおこなっていく。	あめこんこん、うまはとしとし、おふねがぎっちらこ、おおなみこなみ、うえからしたから、さかながはねて、きゅうりいっぽん	・整理整頓をし、きれいにする心地よさを味わう
9月 10月 11月	・応答的なふれ合いや言葉かけによって、欲求が満たされ安定感をもって過ごす。 ・様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。	・わらべうたでのふれあい遊び ・気候に応じて散歩等を取り入れ、自然に触れる。 ・一人ひとりの発育に応じて這う、立つ、歩くなど十分に体を動かす。 ・玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど、手や指を使って遊ぶ。 ・外気浴や、砂遊びを楽しむ。	・戸外時の気づきを写真とコメントで掲示する。 ・個々の運動発達に合わせた遊びを用意する。（マット、階段、トンネル等） ・様々な感覚遊びができるように用意する。（ポットン落し、スイッチ、ボール等）	・子どもの気づきに共感し言葉を代弁していく。 ・運動屋微細遊びで個々の達成感を一緒に感じていく。 ・食事では咀嚼や「おいしいね」の声をかけて食べることが楽しく感じていくようにする。	いっぽんばしこちょこちょ、いちりにり、ももやももや、ねんねやま	・スキンシップ遊びを通して、気持ちが通じ合うことを楽しむ
12月 1月 2月	・寒い時期を元気に過ごす。 ・生活や遊びの中で、自分の身近な人の存在に気付き、親しみの気持ちを表していく。 ・身の回りのことを自分でしようとする。	・わらべうたでのふれあい遊び ・気候に応じて園庭遊びし、自然に触れる。 ・様々な色彩や形のもの、絵本を見る。 ・わらべ歌や音楽に合わせて体を動かして楽しむ。 ・保育者による語りかけや歌いかけ、発声や喃語などの応答を通じて、言葉の理解や発語の意欲を育む。	・安心して探索活動が楽しめるよう、危険個所を点検し、共有する。 ・様々な絵本を置く。 ・玩具の見直し、発達にあったも物を用意する。	・気候に合わせた衣服調整をする。 ・絵本やわらべ歌を通して楽しさを共感していく。 ・気づきや発見に耳を傾け、思いを言葉にしていく。	もちっこやいて、だんごだんご、おにさのるすに、にくやのおじさん、ららぞうきん、にんどころ、おてぶしてぶし、おつかいありさん、かたどんひじどん	・一緒に片づけをするなど。できる喜びを知っていく
3月	・保育者との温かく、受容的なかかわりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。	・わらべうたでのふれあい遊び ・体の動きや表現、発声、喃語などを優しく受け止めてもらい、保育者とのやり取りを楽しむ。	・一人ひとりの興味関心のある玩具を用意する。	・進級に向けて保護者と成長を伝え合い、安心感を持ち進めるようにする。		

令和5年度 年齢別保育計画 華 グループ（1歳児）

園長	副園長	主任	副主任	作成者	作成日

年間目標	・保育者の応答的なかかわりや話しかけなどにより、自らおこなおうとする。 ・身の周りに様々な人がいることに気付き、徐々に他の子どもとかかわりをもって遊ぶ。 ・わらべ歌に親しみを持って楽しみ、保育者との触れ合いを楽しむ。
クラスの特徴	
1歳児の終わりまでに育ってほしい姿	・食事や午睡、遊びや休息など、保育園における生活のリズムが形成される ・様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気の中で、食事やおやつを楽しむ ・身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身につく ・保育者の援助を受けながら、衣類の着脱を自分でしようとする ・身の周りに様々な人がいることに気付き、徐々に他の子どもとかかわりをもって遊ぶ ・玩具、絵本、遊具などに興味を持ち、それらを使った遊びを楽しむ ・自分の物と人の物の区別や、場所的感覚など、環境をとらえる感覚が育つ ・身近な生き物に気付き、親しみをもつ ・保育者の応答的なかかわりや話しかけなどにより、自ら言葉を使おうとする ・生活に必要な簡単な言葉に気付き、聞き分ける ・親しみを持って日常のあいさつに応じる ・絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣をしたりして遊ぶ ・音楽やリズムなどに合わせて、体の動きを楽しむ ・生活の中で様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、気付いたりして楽しむ

月	生活	遊び	環境構成	保育者の配慮	SDGs	童歌
4月 5月	・保育者等の愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活をする ・ゆったりとした雰囲気の中で食事を楽しむ ・個々の生活リズムで無理なく過ごす	・落ち着いた環境の中で保育者とのふれあい遊びして笑顔を見せたり、歌に親しみを持つ ・安心できる環境の中で探索活動を楽しむ ・水や砂、泥に触れ感触を楽しむ ・身近な草花や虫を見たり触れたりし、親しみを持つ	・安心して探索活動が楽しめるよう、危険個所を点検し、共有する ・休息をとるスペースを分け、落ち着いた空間にする	・不安定な子に寄り添い、一緒に遊びを見つけていく ・食事の見守り、水遊び場の見守り等、慣れない環境に中で注意して行っていく ・わらべ歌：一人ひとりとの触れ合いの時間、友達との触れ合いも心地よくなる時間となるよう関わる	・自然に触れ、動植物に興味を持ち優しく関わろうとする	れもんじる、うまはとしとし、たんぽぽ、にぎりぱっちり、いちりにり、ちょちちょちあわわ
6月 7月 8月	・保育者の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとする ・個々の生活リズムに合わせ、必要な時に十分な休息をとる ・食事の雰囲気を楽しみ、意欲的に食べ進める	・季節の行事を通し、音楽やリズムに合わせて手足を動かしたり、飛び跳ねたりして体で表現することを楽しむ ・小さ物を指先でつまんだり、割いたりする ・様々な素材で感触の違いを感じて楽しむ	・子どもの興味関心、発達に合わせて指先を育む微細遊びを設定する(室内環境見直し) ・水、氷、片栗粉、寒天等、様々な感触を味わえる素材を用意する	・個々の発達に合わせた玩具、遊びを設定する ・小さい玩具の誤嚥に注意し、片付けの際確認する ・戸外遊びも多くなるが、熱中症指数に注意して戸外遊びを工夫する	・内科健診 ・歯科健診 ・絵本や紙芝居で海や川の生き物を知る ・畑の野菜の成長に気づき、実りを喜ぶ	おでこさんをまいて、ちゅちゅここ、おふねがぎっちらこ、うえからしたから、あめこんこん
9月 10月 11月	・体力がつき、日中の探索活動、戸外活動が盛んになる ・食材に直接触れ、簡単な調理段階に関わることで食材に親しみを持つ ・親しみを持って日常の挨拶に応じる	・走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張る等、自分の体で様々な感覚を体験する ・身近な秋の自然物に興味を持ち、名前を言ったり、収集を楽しんだりする ・様々な素材で色、形、大きさ等ものの違いに気づき、言葉にしたり、制作活動等で自分なりに表現することを楽しむ	・様々な運動機能の発達をサーキット等で促しながら楽しめるよう考える ・季節の自然に触れたり、戸外で積極的に身体を動かして遊べるよう戸外活動を充実させる	・子ども通しの関わりを見守りながら、互いの気持ちを代弁して伝えていく ・個々に合った休息が十分に取れるよう、無理なく誘いかけていく ・子どもの気づき、発見に共感し、言葉にして楽しむ	・色々な食材に興味を持ち、自ら食べてみようとする ・廃材を資源として活用し、楽器等を作ったり、制作活動を楽しむ	くまさんくまさん、さよなら、ぎっこばっこひけば、めんめんすーすー、ここはとうちゃん、こっちのたんぽ
12月 1月 2月	・保育者の助けをかりながら、衣類の着脱を自分でしようとする ・身の回りに様々な人がいることに気づき、徐々に友達と関わりを持って遊ぶ	・季節の自然や文化に触れ、様々な発見を言葉にして伝える ・運動機能が発達し、農道や田んぼで長い距離を走ったり、手足を大きく動かしたりして身体を動かし、寒い時期を元気に過ごす ・絵本や紙芝居に親しみをもって楽しみ、言葉を模倣したり、イメージを豊かにする	・ごっこ遊びや見立て遊び等、子どもの興味・関心に合わせ玩具や環境を整えていく(室内環境選定見直し) ・近隣の自然を生かし、冬の自然に触れて発見を楽しめるようにしていく	・自分で着脱しやすいような衣服の準備を保護者にお願いする ・季節の行事に親しみを持ち自ら関われるよう、活動を取り入れていく	・冬の自然現象に親しみを持って関わる ・丁寧な手洗いを知ろうとする	ぼうず、おやゆびねむれ、かってこかってこ、せんべせんべ、ちゃちゃすぼ、おてぶしてぶし、さるのこしかけ
3月	・清潔に保つ心地よさを感じる ・自分の持ち物と友達の持ち物を区別して、使ったり片づけたりする	・保育者等とごっこ遊びをる中で言葉のやり取りを楽しむ	・様々な素材のものを用意し、見立て遊びが発達するよう促していく	・進級に期待感を持ち、自信につながるよう声掛け、援助をしていく		

令和5年度 年齢別保育計画 虹 グループ（2歳児）

園長	副園長	主任	副主任	作成者	作成日

年間目標	・生活の仕方に慣れ、決まりあることやその大切さに気付いたり、自分でできる喜びを感じる。 ・保育者とごっこ遊びをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。 ・友だちの良さに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・わらべ歌に親しみを持ち、保育者との触れ合いや、友達との関わり方、思いを共有する事の楽しさをを味わう。
クラスの特徴	
2歳児の終わりまでに 育ってほしい姿	・走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど、全身を使う遊びを楽しむ ・便器での排泄に慣れ、自分で排泄ができるようになる ・保育者の仲立ちにより、他の子どもとのかかわり方を少しずつ身につける ・保育園の生活の仕方に慣れ、きまりがあることや、その大切さに気付く ・生活や遊びの中で、年長児や保育者などの真似をしたり、ごっこ遊びを楽しんだりする ・友だちの良さに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう ・身の回りの物に触れる中で、形、色、大きさ、量、重さなど、物の性質や仕組みに気付く ・近隣の生活や季節の行事などに興味や関心をもつ ・保育者とごっこ遊びをする中で、言葉のやり取りを楽しむ ・保育者を仲立ちとして、生活や遊びの中で、友だちとの言葉のやり取りを楽しむ ・保育者や友だちの言葉や話に、興味や関心を持って、聞いたり話したりする ・歌をうたったり、簡単な手遊びや全身を使う遊びを楽しんだりする ・保育者からの話や、生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにする ・生活や遊びの中で、興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現する

月	生活	遊び	環境構成	保育者の配慮	SDGs	童歌
4月 5月	・簡単な衣服の着脱に興味を持ち、自分で着ようとする。 ・スプーンやフォークを使い、こぼしたりしながらも自分で食べようとする。 ・自分から尿意を知らせたり、保育者に誘われてトイレで排泄したりする。	・滑り台やソフトブロックやマットなどを利用し、全身を使って遊ぶ。 ・音を聞き、体を動かしてリズムを楽しむ。 ・小麦粉粘土、なぐり描き、シール貼り・はがし、新聞紙遊びなど保育者と一緒に遊ぶ。 ・身のまわりの動植物や自然に興味を持ち、色々なものに触れ合う。 ・わらべうたでのふれあい遊びを楽しむ。	・トイレでの排泄は必ず保育者がついていき、少しずつ安心感を持たせる。 ・散歩は少人数で行い、一人ひとりの子どもが自分の興味のあることを十分に楽しみながらゆっくりと回り道のできるような散歩形態を考える。	・園の集団生活に無理して合わせるのではなく、できるだけ個々の状態に合わせるようにする。 ・子どもに親しんでほしい歌や曲を正しく美しく表現する。 ・戸外で子どもたち一人ひとりが何に興味を示し、どんな遊びをするのかよくおさえておく。	・動物、植物の図鑑を保育室に置く ・植物を育てる	れもんじる、たんぽぽ、ちゃちゃすぼ、うまはとしとし
6月 7月 8月	・楽しい会話をしながら家庭的な雰囲気の中で食事ができるようにする。 ・遊びの後や水遊びの時などは、衣服を着替え、身のまわりを清潔にして気持ちよく過ごす。 ・食べ終えたら自分で手や口を拭いたりしようとする。 ・自分の物だけでなく、友達の物も分かり、置きっぱなしの服やおもちゃなどを本人に手渡す。	・砂、水、泥など夢中で遊ぶ。 ・絵本、紙芝居などを楽しんでみる。 ・綺麗な色や絵柄のついた包装紙などでのり付けをする。 ・フィンガーペイントなど、絵の具をつかった遊びをする。 ・見つけたものや気づいたものを知っている言葉を使って話そうとする。 ・身の回りの自然を使った遊び（集める、貼る、色を出すなど）に興味を持って楽しむ。 ・わらべうたでのふれあい遊びを楽しむ。	・体を使った遊びが十分に楽しめるように環境を整える。 ・感染症やカビなどに注意しながら個々の体の清潔、机やいす、おもちゃなどの衛生も忘れないように心がける。 ・個々の好きな色のえのぐを安定感のある小さめの容器に作り、使えるようにする。 ・日常から自然物を目にできるよう室内にも飾る。	・絵本は、豊かな心が育つことを願って丁寧に読み聞かせる。 ・トラブルは保育者が一方的にやめさせるのではなく、両者の理由をきちんと聞き、その子自身の気持ちに寄り添う。 ・「自分で」という気持ちを大切に受け止めながら、励ましたり、褒めたりして、満足感が味わえるようにする。	・水の大切さを知る ・海に関する物語を読む	おでこさんをまいて、うえからしたから、ここはてっくび、おやゆびねむれ
9月 10月 11月	・安心できる保育者との関係のもとで、簡単な身のまわりのことを自分でしようとする。 ・遊びの途中でトイレにいきたくなった時に、自分で行こうとする。 ・給食に関心を持ち、その日のメニューを尋ねたり、作っている様子をのぞいたりする。 ・楽しく食べられることを大事にする。	・全身を使った遊びをすることで自信を持ち、運動的な遊びを好んでする。（跳ぶ、走る、くぐる、転がる等） ・気の合った友達と一緒に行動することを喜ぶ。 ・身の回りの自然を使った遊び（集める、貼る、色を出すなど）に興味を持って楽しむ。 ・わらべうたでの簡単なルールのある遊びを保育者と一緒に楽しむ。	・遊びの中で手先を使う楽しい遊びを取り入れる。 ・木の実や落ち葉など入れる箱を用意したり、制作するのに必要と思われる材料を準備する。（散歩先にも制作時に必要な素材などを準備しておく）	・子どもがやりたいと思うような遊びを設定したり、保育者が時にリードしたりすることでやってみようという気持ちがわいたり、やりたくなるようにつなげていく。 ・自分でしようとする意欲を十分に認めながら、着せてもらいたがる子どもは全面的に受け入れていくようにする。 ・園庭の木々や落ち葉を集めておき、色の美しさ、形、量、数などにも興味持てるような言葉をかける。	・手洗い、うがい、予防接種 ・コンポストづくり	ととけっこー、いちっくたっちくたえもんさん、ここはとうちゃん
12月 1月 2月	・保育者が丁寧に手を洗ったり、うがいするのを見て、丁寧にやろうとする。 ・身の回りのことを自分でしようとしたり、食事の準備や片付けなど簡単な手伝いを喜んでしようとしたりする。 ・友達が困ったり、泣いたりしていると気になり、声をかけたり頭を撫でてあげたりする。	・興味を持ったお話の一部をごっこ遊びに取り入れ、保育者や友達と一緒にお話の世界で遊ぶことを楽しむ。 ・簡単なルールを知り、保育者と一緒に伝承遊びをする。 ・ごっこ遊びや模倣遊びを楽しみながら言語活動をさらに広げていく。 ・わくわく組との交流を深め、遊びを真似する。 ・はさみを使って繰り返し紙を切る。 ・わらべうたは保育者と楽しむだけでなく、子ども同士でも楽しめるようかかわりを大切にする。	・形、数、量、上下、裏表、色、音の大小など様々な違いを生活の中で関連付けて、気づきや興味を持たせる。 ・手伝いでは、食器の片付けなどやりやすい高さや位置を考える。 ・絵画表現の楽しさを広げる素材、道具をたくさん用意する。	・自分なりのイメージで表現しようとする姿を褒めたり、認めたりする。 ・手伝いをしたときには「嬉しい」「ありがとう」など、一生懸命に挑戦する子どもの気持ちを大切に受け入れていく。 ・子ども同士で楽しくやり取りをしたり、工夫したりしている場面を見守り、たくさん褒めるようにする。	・廃材を使った制作 ・幸也冬の自然に興味を持つ ・冬野菜を知る	なかなかほい、おえびすだいこく、ぽうず、せんべせんべ、からすかずのこ、さるのこしかけ、まるくなれわになれ
3月	・着脱や食事など一人でおこなおうとする。	・わくわく組と合同のごっこ遊びの中で言動に興味や関心を持ち、刺激を受けて真似しようとする。	・厨房と連携をとりながら、お盆を用意したり、残飯入れなど用意をする。	・進級への不安な気持ちを汲み取りながら、安心できるように気持ちに寄り添う。		

令和5年度 年齢別保育計画 月 グループ（3歳児）

園長	副園長	主任	副主任	作成者	作成日

年間目標	・健康で安全な習慣を身につけていく。 ・友達と思いを伝え合い、関りを深める。 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
クラスの特徴	
3歳児の終わりまでに 育ってほしい姿	・保育者や友だちとふれあい、安心感をもって行動する ・いろいろな遊びの中で、十分に体を動かす ・進んで戸外で遊ぶ ・様々な活動に親しみ、楽しみながら取り組む ・保育者や友だちと過ごすことの喜びを味わう ・自分で考え、自分で行動する ・自分でできることは自分でする ・友だちの良さに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう ・友だちと楽しく生活する中で、決まりの大切さに気づき、守ろうとする ・自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く ・生活の中で様々なものに触れ、その性質や仕組みに興味や関心を持つ ・身近なものを大切にする ・日常生活の中で、簡単な標語や文字などに関心を持つ ・保育者や友だちの言葉や話に、興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり話したりする

月	生活	遊び	環境構成	保育者の配慮	わらべ歌	SDGs
4月 5月	・自分の物の置き場所を覚え、新しい環境での生活に慣れる ・身の回りの片づけや整理整頓を保育者や友達と一緒に楽しんで行う ・新しい担任や周りの友達と関わり、安定感を持って過ごす	・色水遊び…子どもが自由な発想で色水を混ぜ、色が変わっていく様子を観察したり、様々な素材で色が作れることに気づく。 絵具遊び…道具などを使い、様々な表現があることを知る。 ・はさみなど道具の使い方を知る。 ・自然物や生き物との関わり…身近な自然をみて、ふれて、かんじる体験を大切にする。	・三原色の色水を用意。透明の容器もたくさん置いておく。・2階テラスの活用、ホール制作コーナー	・一人ひとりの作ったものに目を向けやり取りをしつつ、周りの子にも見せたりかかわりが楽しめるよう声を掛ける。・自分のロッカーの整理整頓を一緒に行ったり、物の置き場所がどこか覚えられるよう丁寧に関わっていく。	・林の中から ・おさらにぽたもち ・まるくなれ輪になれ	・ロッカーや持ち物の場所など、自らの生活を整える
6月 7月 8月	・身近な自然や季節の変化に気づく（梅雨、暑さ、夏の生き物や草花など） ・自分で最後までやり遂げる達成感を味わい、自分でできることを増やしていく	・廃材制作…廃材を自分でちぎったテープで繋げてみたりするところから始まり、少しずつそれを何かに見立てたり想像力を膨らませながら形にしていく楽しさを感じる。 ・水遊び…テラスでの水遊びを通し、体を動かしたり気持ちを発散させる。水などの感覚や水に浮かす・流すなどの遊び。 ・自然物や生き物との関わり…生き物の飼育や図鑑などで調べる、不思議に思ったことを出し合うといったことを大切にする。	・廃材は分けておいておく。ごっこ遊び（表現）などで発展しそうなものを時には保育者が作っておくなどする。・雨の日はカッパを着て外に出てみたり、感やカップなどを並べて、音の違いを楽しむ。	・テープの貼り方、道具の使い方、物と物との接着（テープ、のり、ボンド）の仕方など、子どもたちとのやりとりをしながら考えていけるようにする。また、1つの素材で様々な使い方がある事に気づいたり、表現の幅が広がるように関わっていく。・感じたことなどを子どもたちに聞いてみて表現できる喜びを引き出していく。	・さよならあんころもち ・うめぼしゅたべても ・うみだよかわだよ	・廃材制作 ・自分の体の大切さ
9月 10月 11月	・身近な人とのかかわりを深めるとともに、地域の方々とのやりとりを通して、親しみをもつ ・自分の思いや経験したことを自分なりの言葉で相手に伝えようとする	・ごっこ遊び…おうちごっこ、〇〇屋さん等を通して友だちとのやり取りを楽しんだり遊びを保育者と共に発展させていく。 ・自然物での遊び…落ち葉や木の実、枝などを実際に手に取って散歩先で遊んだり、持ち帰って制作物に取り入れていく。秋ならではの豊かな自然を感じられるようにする。 ・自然物や生き物との関わり…生き物の飼育や図鑑などで調べる、不思議に思ったことを出し合うといったことを大切にする。	・製作物をごっこ遊びに取り入れたり、なりきって遊べるものを一緒に用意する。 ・ネイチャーゲームカードの活用、図鑑などの掲示。 ・自然物での製作物を室内に飾る。	・遊びを通して子どもたちから出た声をどんどん拾い、一緒に実現していく。ごっこ遊びの中で工夫したり協力し合う楽しさを十分に味わえるようにしていく。 ・自然の中で五感を使いながらその変化に気づいたり、興味が持てるように関わっていく。	・かごめかごめ ・あぶくたった ・せんべやけた	・食物の大切さ（よそる量などを調節する） ・嫌いな食べ物にも関心を持つ
12月 1月 2月	・衣服の調節を自分で考えて行う（寒かったら着る、熱くなったら脱ぐなど）	・伝承遊び…日本の昔からある遊びを知り、寒さに負けず体を動かしたり、友達とのかかわりを楽しむ。 ・氷や霜、雪遊び…冬ならではの季節を感じ、氷が自然の中でできたり、溶けたりする性質を知る。また、それぞれの感触などの違いに気づく。 ・自然物や生き物との関わり…興味を持ったこと、不思議に感じたことを地域の方などに聞いて深める場をつくる。	・バケツや雑巾を用意し、自分でしぼったり拭いたり出来るようにする。 ・水をはったバケツや金属の容器など様々な素材の物でどう凍るのか色水で試したり、草花を入れて試したりする。	・きれいに片付けると気持ち良いことなどを言葉に出してみたり、子どもたちの姿を認めていく。 ・一人ひとり触れたり見たりして感じたことを言葉に出してもらったり、友だちと共有しながら楽しめるように関わっていく。	・たこたこあがれ ・おにわそと ・からすかずのこ ・なべなべそこぬけ	・植物を育てる ・絵本などを通して、野菜に親しむ
3月	・感謝の気持ちを持つ。伝えようとする。	・卒園児や保育者、友達などへのプレゼント制作（折り紙や廃材など）	・卒園する宙グループと一緒に遊んだり、昼食をとったり、関わるきっかけを作る。	・身近な人への感謝の気持ちを子どもたちと考えてみたり、子どもたちなりの表現で形にしたり、伝える手伝いをしていく。		

令和5年度 年齢別保育計画 星 グループ（4歳児）

園長	副園長	主任	副主任	作成者	作成日

年間目標	・年長児の姿から様々なことを学ぶ。 ・生活を通して自己を十分に発揮する。 ・思い通りにいかない不安や葛藤を経験し、相手の思いに気付いていく。
クラスの特徴	
4歳児の終わりまでに 育ってほしい姿	・保育者や友だちと食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心を持つ ・健康な生活のリズムを身につける ・身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする ・保育園における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しを持って行動する ・自分できることは自分でする ・いろいろな遊びを楽しみながら、物事をやり遂げようとする気持ちをもつ ・友だちと積極的にかかわりながら、喜びや悲しみを共感しあう ・季節により、自然や人間の生活に変化があることに気付く ・自然などの身近な事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ ・日常生活の中で、数量や図形などに関心を持つ ・日常生活の中で、簡単な標識や文字などに関心を持つ ・人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す ・生活の中で、言葉の楽しさや美しさに気付く ・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう ・感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由に描いたり作ったりする ・いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ

月	保育計画のねらいに応じた具体的な活動	環境構成	保育者の配慮	わらべ歌	SDGs
4月 5月	・散歩に行き、季節の花に触れ、美しさに気づく。気づいたことや感じたことなどを皆で伝え合う。採ってきた自然物や生き物などは部屋に飾ったりしながら興味、関心を深める。 ・気温の変化に気を付ける手段を身に着ける（衣服調整、帽子を被る、水分補給） ・ロフトなど少し難しい遊具にも挑戦する。	・花を飾る ・袋、ハサミ ・木製遊具 ・サーキット	・季節の自然、気温の変化に気付けるような声掛けをしていく。 ・子どもの挑戦を認め、安全に配慮する。	・はやしのなかから ・たけのこめだした	道具の使い方を考える
6月 7月 8月	・簡単なルールの集団遊びをおこなう（ルールを守る）。 ・周りの友達にルールを伝える、紙に書きポスターを作る。 ・地域社会の行事に触れる（七夕、お祭りなど）。 ・標識づくり。 ・秋野菜の種、苗を子どもと決めて植える。（野菜の苗や種などは直売所に買いに行く）	・ルールのある遊び ・わらべ歌	・保育者も一緒になりルールのある集団遊びやわらべ歌を楽しむ。 ・地域や日本の文化に気付けるような掲示をする。 ・野菜の旬に気付けるような声掛けをする。	・なかなかほい ・ひらいたひらいた ・あぶくたった	食べ物や物について興味を広げる
9月 10月 11月	・ダンス、サーキット遊び。 ・経験したことを絵画にする。 ・採れた野菜を調理する。 ・親しい人に感謝の気持ちを表現する。 ・イメージを表現し、形にする。（造形、絵画、自由制作など自分の表現したいもの、ことについて自由に表現できる場を作る。） ・不思議に感じたことなどを地域の方に聞いたり、公共施設に行って調べたりする機会を作る。	・クッキングの準備 ・サーキット ・絵具、筆 ・お手紙 ・お店屋さん	・様々な調理方法や下処理の方法に気付けるようにしていく。 ・経験したことを子どもと話し合いながら形にしていく。 ・絵本などから、子どものイメージを豊かにする。	・うちのうらの ・ぶーぶーぶー きーらすちょん	絵本などから野菜への興味を広げる
12月 1月 2月	・冬の自然物に触れる（霜、氷づくり【氷に色、色々な形、硬さ】）。実験的な要素を取り入れながら、子どもたちの気づきや興味、関心の移り変わりなどを視覚的に分かるように掲示する。 ・自然物のクラフト、製作。 ・動植物の冬の生態に興味を持つ。	・落ち葉、木の実 ・ボンド、紐、廃材 ＊散歩先にも持っていき、子どもたちがやりたいときに自由にできるようにする。	・子どもがイメージを形に出来るよう、色々な素材の材料を用意する。	・いちじくにんじん ・だんごにぽたもち	物の場所をわかりやすく配置する
3月	・星活（お別れ会準備） ・お仕事、安全パトロールを宙グループから引き継ぐ。	・部屋を分ける ・パトロールのリスト ・宙へのプレゼント	・子どもたちが自分の考えを話すことができるよう、集中できる環境を用意する。	・せっくんぼ ・あんたがたどこさ	整理整頓をし、きれいな環境で生活する

年齢別保育計画 宙 グループ（5歳児）

園長	副園長	主任	副主任	作成者	作成日

年間目標	・目標をもって挑戦し、諦めずにやり遂げる。 ・友達や地域など親しい人に、感謝の気持ちを表現する。
クラスの特徴	
5歳児の終わりまでに育ってほしい姿	・自分の健康に関心を持ち、病気の予防に必要な活動を進んで行う ・危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する ・友だちと楽しく行動する中で、共通の目的を見出し、工夫したり協力したりする ・良いことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する ・友だちとのかかわりを深め、思いやりをもつ ・友たちと楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする ・共同の遊具や用具を大切にし、みんなで使う ・高齢者をはじめ、地域の人々など、自分の生活に関係の深い、いろいろな人に親しみを持つ ・身近な動植物に親しみを持って接し、生命の尊さに気付き、いたわり合ったり、大切にしたりする ・日常生活の中で、地域社会や諸外国の様々な文化や伝統に興味や関心を持つ ・身近な遊具に興味を持ってかかわり、自分なりに比べたり関連付けたりしながら、考えたり試したりして、工夫して遊ぶ ・生活に関連の深い情報や施設などに、興味や関心を持つ ・保育園内外の表示や、国旗などに親しみ、友だちと一緒に調べたり、新しい知識を得ようとする ・日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう ・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう

月	保育計画のねらいに応じた具体的な活動	環境構成	保育者の配慮	わらべ歌	SDGs
4月 5月	・遊びや生活の中で思いを伝え合い、共にいる中で自己主張のぶつかり合いが起きた時に丁寧に思いを聞く。また、思いを言葉で伝え合えるようにする。その過程でハートの椅子を活用したり、他の5歳児にも相談をしながら一緒に考えていく。 ・サークルタイムを大切にし、個々に感じたことなどを言葉にして伝えたり、聞いたりする場を作っていく。	ハートの椅子 サークルタイム	・一人ひとりのペースにあわせ、多様な関わりが持てるようにする。 ・言葉にすることが難しい子には、じっくり待つことを大切にする。	おちゃらかホイ	道具の使い方について考える。
6月 7月 8月	・相手の気持ちに気付き、考えながら行動ができるようにする。ただ良し悪しを教え込むのではなく、子ども自身が自分なりに考えられるようにする。また、クラス内で相談、対話を行い、クラス全体で一緒に考える。その過程でポスター作りを行い、ポスターを基に帰りの会などの場で月、星グループに伝える場をつくる。(子ども社会、SDGsなど) ・当番活動を取り入れ、自分のお仕事に興味を持って、責任を持って取り組めるようにする。	ポスター、帰りの会	一人ひとりの考えを聞きながら対話をし、思いに気付けるようにする。	お茶をのみに	当番活動の中で水や生き物について深めていく。
9月 10月 11月	・生活や遊びの中で自分が話している言葉や歌を文字に起こし、自分の生活にとって親しみのあるものにしていく。活動を通して文字に関心を持ち、文字を通して関わりを取ることを楽しめるようにする。(わらべ歌の歌詞を文字に起こす手紙、敬老の日、小江戸すまいるへの手紙作成、敬老の日、勤労感謝の日に関する手紙)	便箋、手紙、封筒など	文字を正しく書くことよりも、人と人の繋がりを感じられるようにする。	トントントン	給食の残食量や野菜への興味を広げていく。
12月 1月 2月	・生活に親しみのある身近なことに対して知識を深めていく。園外活動(遠足)を通し社会の中での身振りを考えると共に様々なものに触れる。その中で外国の存在について感じられるようにしていき興味を持って確かめる。 ・就学に向けて期待を持てるように、入学する学校を訪問する（就学に向けての活動：小学校見学等）	就学に向けての活動(卒園制作、発表)	子ども自身が、身近な人に感謝の気持ちを表現できるよう、関わっていく。	お正月がええもんだ	社会見学でリサイクルセンターに行く。
3月	・生活や遊びの中で自分がしなければならないことに気付きを持ち、諦めずにやり遂げようとすることができるよう一人ひとりの実情に合わせながらやり取りをする。ゆとりのある生活の中で、難しい課題に対し、挑戦していく中で、子ども自身が主体を持って取り組む。	就学に向けての活動(宙活)	見通しが持てるようにカレンダーを使い、子ども自身が活動の進行を行う。	さらわたし	身近な人への感謝の気持ち

令和五年度分科会（案）

部会名	部会長	委員会	主な内容等	委員長	副委員長	伊佐沼	三・となり	鶴ケ岡	高階	開催頻度・備考
保育		環境ラボ委員会	保育環境（玩具・教具・環境）の改善							
		発達計画委員会	ICT化の推進【＊】 チャイルドケアウェブ・コドモン活用 発達理解・感覚統合・計画指導案作成							
研修		研修計画委員会	年間・個別・合同研修計画の周知と作成 富山先生トミーの日、井上先生ワークショップの計画、実践							
		次世代実践委員会 （On JT/Off JT）	ガイドライン改正・概念化 各委員会決定の実践研修 ICT化の推進【＊】　保護者コミュニケーション（グーグル・意見箱）							
安全		安全委員会	安全計画・マニュアル整備 ひやりはっと分析・安全訓練 保護者対応（オンラインQQ）							
		看護委員会	保健計画・保健だより 衛生管理指導・健康診断							
食育		保育食育委員会	食と健康・人間関係・文化・料理　命の育ちと食 食育・計画・たより							
		厨房委員会	食事の安全（アレルギー）衛生・調理技術や知識 食育指導、献立、食育だより							
総合		人権・監査委員会	園自己評価（年１回） クオーレ・行政監査対応 保護者・園児・職員の人権対応							
		事務委員会	各種業務マニュアル（手続・申請等） 人事労務ICT化（文書・データ管理）【＊】							
		広報オンライン委員会	子育て支援センター 広報資料作成（動画・資料他） ICT化の推進業務のフォローアップ【＊】							

令和５年度事業計画

伊佐沼すまいる保育園

2023年度全体的な計画

保育指針のポイント1	環境を通して行う	保育指針のポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子		
保育方針	1. 指針に基づく保育を行う　2. 子どもの人権を守る　3. 発達を適切に援助する 4. 家庭・地域と連携をする　5. 保護者の支援を行う		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を動かすことが大好きな子　・　頭を使うことが大好きな子　・　人と関わることが大好きな子）、関わる保育、凡事徹底		
令和5年度の保育テーマ	1. 感謝　2. 挑戦　3. 自然の変化		

家族の状況及び保護者への支援	地域の実態との関わり	環境設定		主な行事
コドモン、ポートフォリオ、CCW、保健便り、食育便り、ルクミー、保育参加、保護者懇談会、保護者会 ・オンラインで活動（子どもの様子など）の発信（行事だけでなく定期的に子どもたちの姿を知ってもらう機会を作る） ・園だよりは、子どもの様子などを写真を使って分かりやすく伝え、園に関心を持ってもらうようにする。 ・保育の様子をドキュメンテーションにて発信する。 ・ワークショップは保護者を巻き込みながら進められるよう、計画の段階からアイデアを募るなど保護者が参画できるようにする。ワークショップ当日も可能な方には参加してもらえるよう働きかける。 ・コドモンなどで気になる発信があった場合は、声を掛け必要に応じて個別面談を行う。 ・懇談会以外に茶話会のような意見交換の場を作る。 ・家庭に対する安全支援。 ・子育て講座 ・定期的なアンケートから園だよりにて発信	園便りの地域回覧、HP、 ＊行事への参加・招待、姉妹園交流、中学生社会体験、老人福祉施設交流、卒園児招待、他園交流（コロナ状況に応じて訪問ではなく、お手紙やオンラインでの交流とする） ＊SNSの充実⇒園と地域をつなぐ役割を作り、ブログなどSNSの発信頻度や内容を高める。 ＊自治会長とやり取りしながら、園と地域をつなぐイベントの取り組み（祭りの参加など）の計画を進める。 ⇒お散歩などの機会にて自然な地域の方との交流からの展開（挨拶、制作物を見せにいく） ＊地域の方に太鼓を叩いてもらうなど園児との交流の機会を持つ。 ＊ワークショップがあるときは、事前の園だよりにてボランティアを募る。また、振興のある方には直接声を掛けてみる。 ＊つどいの広場では伊佐沼の自然を活かせるようなイベントや散歩、誕生会などイベントを充実させていく。 ＊畑、田んぼなどの農業体験 ＊地域のお店にお買い物 ＊地域交流の機会を増やす（すまいる小江戸など）	井上寿氏　ワークショップ 自園、姉妹園でのワークショップ ＊環境整備した内容に関しては、子どもの姿などを写真や動画などでも発信する場を作る。 ＊パーテーションやロフトなどを利用して、コーナー（ゾーン）や遊具の充実。 ＊定期的にコーナー（ゾーン）の見直しを行う。（興味や関心、発達にあっているかなど） ⇒クオーレ、環境整備担当者による確認や提案 ＊環境整備についてはプロジェクトチームを立ち上げ、ワークショップ前に限らず、話し合い、整備を進めていく。 ＊保育者の想いや疑問など一つ一つ丁寧に拾い、自分gとして取り組めるようにする。		入園式 親子ふれあい遊び会 秋祭り ウインターフェスタ 卒園式
衛生・健康	**安全対策**	**職員の資質向上**		
内科検診（2回）歯科健診（1回） ＊健診については園医と相談 害虫駆除、歯磨指導、手洗指導 清掃、消毒、日光消毒	毎月避難初期消火訓練、総合防災訓練（2回）引渡訓練 普通救命救急講習、SIDS対応、不審者対応（警察と連携して指導してもらう機会をつくる） お散歩シュミレーション（災害時、不審者など）、地域との連携による合同不審者訓練（遠動公園） いのちのリスト、ﾏﾆｭｱﾙ・ｶﾞｲﾀﾞﾝｽの活用、アレルギーへの配慮、ヒヤリハットの分析と具体的な対策	すまいる委員会・ワーキングチーム、トミーの日、子ども観察、CCW、クオーレの日、園内研修・園外研修GT、臨床育児保育研究会、キャリアアップ研修、加藤繁美氏勉強会、自己評価制度、すまいるの会 ＊外部研修はオンライン研修での参加		

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		1. 気付く力　2. 工夫する力　3. 楽しく頑張る力							
保育目標		0歳児前半	0歳児後半	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
		・一人一人の子どもが快適に生活できるようにする　・ひとりひと健康で安全に生活できるようにする　・生理的欲求が十分満たされるようにする。							
養護	生命の保持	・授乳・睡眠・排泄など心地よく感じられるように関わり、生理的欲求を十分満たす。	・一人一人の生活リズムを大切にしつつ生理的欲求を十分満たす。	・応答的なかかわりにより食事排泄などの活動を通して自分でしようとする気持ちが芽生えるようにする。	・安全で快適な環境の中で、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを見守りながら援助をする。	・健康で安全な生活に必要な習慣が身につくように見守り個々に応じて援助する。	・健康で安全な生活に必要な習慣に関心を持ち、自ら出来ることの喜びを感じられるように援助する。	・健康で安全な生活に必要な習慣を身に付け、自ら意欲的に行動できるようにする。	
養護	情緒の安定	・視線を合わせ表情豊かに関わりながら、心地よく安心できる関係をつくっていく。	・要求や愛着行動をしっかりと受容し、安心して過ごせるようにする。	・言葉にならない行動の意味や気持ちを理解し、やり取りすることで安心して自分の気持ちを表すことができるようにする。	・自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちに共感し、自我の育ちを援助する。	・子どもの気持ちや考えを受け止め、自我の形成とともに主体的に活動できるように援助する。	・一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに自分への自信が持てるように見守り適切に働きかける。	・一人一人の子どもを主体として認め、肯定する気持ちを言葉や態度で伝え、自分への自信を獲得できるようにする。	
教育	健康	心身の発達 健康な心と体を育てる。 ・のびのびと体を動かす。食べることを楽しむ。十分に睡眠をとる。		・簡単な身の回りのことに興味を持ち、遊びの中で十分体を動かしたり、戸外を歩くことを楽しむ。	・身の回りの事を自分からしようとする。 ・全身を使って遊んだり、戸外を十分歩く。	・十分に体を動かしながら、様々な用具や遊具を使った遊びを楽しむ。 ・自分でできることは自分でしようとする。	・全身を使いながら、様々な遊具や用具で工夫して遊ぶ。 ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度に関心を持ち身に付けようとする。	・目標をもって挑戦したりあきらめずにやり遂げることで達成感を味わい、様々な生活や遊びに意欲的に取り組む。	健康な心と体 自立心
教育	人間関係	社会的発達 人と関わる力の基盤を培う ・身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 ・体の動き、表情、発声により気持ちを通わせようとする。 ・生活や遊びの中で、保育者や友達など身近な人との存在に気付く。		・保育者を仲立ちとして、友達とのやり取りを楽しみながら関心を広げていく。 ・困ったときに保育者に仕草や言葉で伝えようとする。	・友達と一緒に過ごす楽しさを知り、様々な遊びを通して友達との関わりを深めていく。	・友達と思いを伝え合ったり、関わりを深める中で、簡単なルールを守って遊ぼうとする。 ・困ったときにどうすれば良いのか自分で考える。	・思い通りにいかない不安や葛藤を経験する中で自分の思いを伝えようとし、相手の思いに気付く。 ・友達とイメージを共有し協力しながら遊ぶ。 ・困っている人に気づき、助けようとする。	・お友達と思いを伝え合う中で、協力して物事をやり遂げる大切さや充実感を味わう。 ・地域の人など自分の生活に関係の深い人々に親しみを持つ。	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
教育	言葉			・保育者の応答的な関わりや話しかけにより、自ら簡単な言葉を使おうとする。 ・伝えようとする思いに共感する。	・言葉への興味や関心を持ち、言葉のやりとりを楽しむ。 ・興味を持ったことを言葉で伝えようとする。 ・絵本や紙芝居を楽しみ簡単な言葉を繰り返したり模倣したりして遊ぶ	・経験したことや感じたことを、自分なりの言葉で伝えようとする。 生活や遊びに必要な言葉が分かり、使おうとする。	・自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりして会話を楽しむ。 ・絵本や紙芝居などを通して、ストーリーや言葉の面白さに気付く。	・友達と考え言葉で伝え合い、相手の話を聞こうとする意欲や態度を身に付け遊びを発展させる。	社会生活との関わり 思考力の芽生え
教育	環境	精神的発達 ・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を持つ。 ・見る、触れる、探索するなど身近な環境に自ら関わろうとする。 ・様々な素材に触れて楽しむ。 ・表情や手足、体の動きなどで自分を表現する。		・身近な自然に興味や関心を持ち、探索して遊ぶ。 ・身近な環境に親しみ保育者と共に生活や遊びを楽しむ。	身近な自然や事象に興味や関心を広げる。（四季を感じる、自然物を用いた制作活動） ・植物や生き物、土・水・泥などの自然物に興味を持ち触れたり遊んだりすることを楽しむ。	・生活の中で、様々自然や事象に触れ、親しみを持って自分から関わろうとする。 ・身の回りの物の色・量・形などに関心を持ち、分けたり集めたりする。	・自然や身近な事物に興味を持ち工夫して生活や遊びに取り入れる。 身の回りの物の色・量・形などに関心を持ち数えたり比べたりする。	・様々な事物や自然に主体的に関わり、試したり発見したりしながら、工夫して遊ぶ。 ・生活の中で物の性質や数量、図形、文字、時間などに関心を持ってかかわる。	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
教育	表現			・生活の中で、様々なものから刺激を受け、心行くまで関わることを楽しむ。	・様々な事象や出来事を通して、イメージを豊かにする。 ・生活や遊びの中で、興味あることや経験したことを自分なりに表現する	・生活の中で、様々な音や色や形手触り、動きなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	・感じたことや、イメージしたものを、自分なりに工夫して作ろうとする。 ・書いたり、作ったりすることを楽しみ、遊びに使ったり飾ったりする。	・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。 ・綺麗なものや素晴らしいものに触れ、自分の表現に生かそうとする。	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
食育		たっぷりとミルクを飲む。	・離乳を進める。 ・手づかみ食べを大切にする。	楽しく食べる。	・食材に興味を持つ。 ・クッキングに参加しながら他しさを味わう。	・畑の収穫に興味を持ち食べる楽しみにつなげる。	・食べ物や栄養に関して興味を持つ。 ・食のプロセスに興味を持つ。	・食べ物と体の健康との関係に興味を持つ。 ・食を通じて、自分の体に興味を持つ。	

令和5年度　年間保育計画（乳児）

園長	主任	副主任	担当

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育のテーマ	1. 感謝　2. 挑戦　3. 自然の変化
保育方針	1. 指針に基づく保育　2. 人権尊重　3. 適切な発達援助　4. 家庭・地域との連携　5. 保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子）、関わる保育		

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる						
保育のねらい		月齢	健やかに伸び伸びと育つ	身近な人と気持ちが通じ合う	身近なものと関わり感性が育つ	保護者支援	主な行事	10の姿
4月	・新しい環境に慣れる ・保育者に抱かれたり、話しかけてもらったりして心地よく過ごす ・水や泥に触れる	3～6か月	・一人ひとりの生活リズムに応じて、十分に午睡をする。 ・おむつ替えや体を拭いてもらい清潔になることに心地よさを感じる。 ・寝返りやお座りをする。 ・安心した環境の中で睡眠やミルクが飲める。	・応答的な触れ合いから、要求が満たされて安定感を持って過ごす。 ・保育者とのスキンシップ（触れ合い遊び）を楽しむ。 ・受容的な関わりを通じて自分を肯定する気持ちが芽生える。	・様々な物に興味を示して手を伸ばす ・手にしたものを口に入れてみる あやし遊びに機嫌よく応じる	食事の移行や発達について知らせる	入園式	健康な心と体 自立心
5月								協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月							親子ふれあい遊び会 保育参加	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・暑い夏を健康で快適に過ごす					懇談会	七夕	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月								言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月							敬老の日	
10月	・気候に応じて散歩等を取り入れ、自然に触れる ・保育者に見守られながら好きな遊びを楽しむ	7～12か月	・一人ひとりの生活リズムに応じて、十分に午睡をする。 ・おむつ替えや体を拭いてもらい清潔になることに心地よさを感じる。 ・這う、立つ、歩くなど十分に体を動かす。 ・探索活動を楽しむ。 ・様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。	・応答的な触れ合いから、要求が満たされて安定感を持って過ごす。 ・体の動きや表情、声や喃語で働き掛ける。 ・自分以外の存在に気付く（保育者、異年齢の友達など）。 ・優しく受けともてもらい、保育者等とのやり取りを楽しむ。	・様々な色彩や形のもの、絵本を見る。 ・指差しをし、要求を示したり共感を求める。 ・小さなものをつかむ、引っ張るなど手先を使った遊び（微細運動）をする。 ・わらべ歌や音楽に合わせて体を動かして楽しむ。	引取り訓練	秋祭り ハロウィン	
11月							焼き芋 勤労感謝の日	
12月							ウィンターフェスタ	
1月	・寒い時期を元気に過ごす ・保育者や友だちと関わる喜びを感じる							
2月						懇談会	節分	
3月							ひな祭り お別れ会	

令和5年度 年間保育計画（3歳未満児）

園長	主任	副主任	担当

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育のテーマ	1. 感謝　2. 挑戦　3. 自然の変化
保育方針	1. 指針に基づく保育　2. 人権尊重　3. 適切な発達援助　4. 家庭・地域との連携　5. 保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子）、関わる保育		

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる								
保育のねらい		健　康	人間関係	環　境	言　語	表　現	散歩先	地域連携	主な行事	10の姿
4月	・新しい環境に慣れて落ち着いて過ごす ・保育士に親しみ、安心して生活をする	歩く・走る　微細	保育者との信頼関係を築く	桜 菜の花 つくし　綿 毛 泥 土 虫探し（ダンゴムシ・テントウムシ）	花、友達の名前 挨拶をする 絵本、紙芝居 ごっこ遊び	手遊び 泥水の感触 歌	運動公園・・・桜（4月頃）、ドングリ（10月頃）、落ち葉（12月頃） 神社・・・りゅうの実、木の実（11月頃） 触れ合いセンター・・・ドングリ（10月頃） 木道・・・蓮（7月頃）、木道の下（11月頃） 農道・・・つくし、ダンゴムシ、テントウムシ、綿毛（4月頃）、オタマジャクシ（5月頃）カエル、ザリガニ（6月頃）、トンボ、バッタ、イナゴ（8月頃）、りゅうの実、オナモミ、大豆（11月頃）、雪、氷、霜（1月頃）、タンポポ、オオイヌノフグイ ホトケノザ（3月） 花畑・・・菜の花（4月頃）、アジサイ、ザリガニ（6月頃）、ひまわり（7月頃）、コスモス（9月頃） 田んぼ・・・オタマジャクシ（5月頃）カエル、稲（6月頃）、田んぼの凸凹、麦、大豆の収穫（11月頃） 伊佐沼・・・蓮（7月頃）、カルガモ（5月頃）、シロサギ（12月頃）、氷（1月頃）	地域との交流	入園式	健康な心と体 自立心
5月	・保育士に見守られながら、好きな遊びを楽しむ ・散歩や戸外遊びを楽しむ中で、草花や虫に触れたり春の自然に親しむ ・泥んこ遊びで水の冷たさを感じる		異年齢、同年代の子と関わる わくわくとの交流	水遊び こいのぼり おたまじゃくし	虫の名前 子どもの日のお話	こいのぼり 初夏の風				協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月	・梅雨の時期を快適に過ごしながら、季節の自然に興味や関心を持つ	網ですくう （手の動き）	仲の良い友達と手を繋ぐ	雨音　果物の匂い カエルの声　ザリガニ 水　消防車	カエルの鳴き声	雨の感触 雨音　夏の暑さ 色水 シャボン玉			親子ふれあい遊び会 保育参加	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・保育士やお友達と関わりながら夏の遊びを十分に楽しむ	ザリガニ釣り 衣類の着脱 ダンス（盆踊り） リズム		虫の声 伊佐沼の蓮 ひまわり　ザリガニの世話	七夕のお話	七夕飾り ボディペインティング 水の気持ちよさ 野菜スタンプ			七夕	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月	・適切な休息を取りながら、暑い時期を健康で快適に過ごす ・土や水、砂に触れながら全身を使って夏の遊びを楽しむ		おみこしを担ぐ	トンボ・バッタ 虫の声 ビニールプール遊び	暑い 冷たい	感触遊び （水・氷・片栗粉・寒天）　タンポ				言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月	・簡単な仕草や言葉で自分の思いを伝えようとする ・歩く、走る、跳ぶなど、全身を動かすことを楽しむ	サーキット （全身を使った動き）		コスモス　虫の声 月　トンボ・バッタ・コオロギ・カエル	祖父、祖母への思いやり	ダンス　氷 秋の風			敬老の日	
10月	・行事を通して地域の方との交流を深める ・散歩先や農道で秋の自然物に親しむ	歩く、ちぎる、貼る 芋を掘る、洗う、包む、投げる	地域の方との交流	虫の声 イナゴ・トンボ・バッタ 野菜の種　果物の木	ハロウィンのお話 米ぬかの感触遊び 野菜の形	米ぬか ハロウィンの製作 かぼちゃスタンプ		お菓子をもらう	秋祭り ハロウィン	
11月	・身近な素材や秋の自然物を使って自分なりの表現（製作等）を楽しむ	投げ入れる、拾う ダンス	わくわく組との散歩 お仕事	オナモミ、コスモス りゅうの実、どんぐり センダングサ、大豆 落ち葉	どんぐり お芋	焼き芋の香り 火・木の実の形・大きさ・色		一緒に焼き芋をする	焼き芋 勤労感謝の日	
12月	・保育士やお友達と簡単な言葉の模倣、やりとりを楽しむ	餅をつく 走る（風あげ）　身の周りの事を自分で行おうとする（清潔・排泄・着脱など）		枯れ葉、落ち葉	クリスマスのお話 歌絵本 おもちの感触	ダンス、福笑い 餅をつく （感触・変化）		一緒に餅つきをする	ウィンターフェスタ	
1月	・簡単な身の周りのことを自分でしようとする ・雪遊びや冬ならではの遊びを楽しむ	沼探検 大根を掘る		雪、氷、霜 冬の伊佐沼	冷たい 寒い 餅	雪・氷・霜などの感触、色、形				
2月	・寒い季節を元気に過ごす	豆（新聞紙）を投げる ジャンプをする		恵方巻 イワシ・柊	鬼は外 節分のお話	鬼の製作 ひな祭りの歌			節分	
3月	・進級に喜びや期待をもって過ごす ・見立て遊びやごっこ遊びを通して、保育士やお友達と言葉のやりとりを楽しむ	登る・渡る	お別れ会	たんぽぽ・オオイヌノフグリ・ホトケノザ おひなさま	ひなまつりのお話	ひな祭り製作・絵の具などの色遊び			ひな祭り お別れ会	

令和5年度保育計画　（3歳以上児）

園長	主任	副主任	担当

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育目標	1．感謝　2．挑戦　3．自然の変化
保育方針	1．指針に基づく保育　2．人権尊重　3．適切な発達援助　4．家庭・地域との連携　5．保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を動かすことが大好きな子　・　頭を使うことが大好きな子　・　人と関わることが大好きな子）、関わる保育		

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる							
保育のねらい		健　康	人間関係	環　境	言　語	表　現	保護者支援	地域連携	主な行事
4月	・健康で安全な生活に必要な習慣を身に付けていく。 ・十分に体を動かしながら、遊具や用具で工夫して遊ぶことを楽しむ。	安全パトロール 食事の始まりと終わりを自分で決める	お仕事（そうじなど） 帰りの会（朝の会）	桜が散る 水の冷たさ 火起こし	相手に分かるように伝える お仕事（昼食の配膳） 手紙遊び	泥の感触 季節の歌	保護者の不安な気持ちを受け止める		入園式
5月	・健康で安全な生活に必要な習慣を身に付けていく。 ・お友だちと言葉で思いを伝え合う。	震道マラソン ダンスで身体を動かす（新曲）	姉妹園との交流 共同の遊具や用具を使う	バッタ、カマキリ（生き物） 花・花瓶 畑活動（畑づくり、夏野菜）	挨拶 文字（自分の名前）	こいのぼり制作 ダンス サーキット作り	衣服・掛け布団 箸の使い方	およげ鯉のぼくん（大正ロマン通り）に鯉のぼりを飾る	
6月	・友だちとの関わりの中でルールがあることに気付き、意欲的に遊ぶ。 ・身近な自然の感触や変化に気付く。	自分の体について知る（内科・歯科） 衣服調整	姉妹園との交流 お仕事 新井さんとの関わり	梅雨（雨の日散歩） カエル 伊佐沼の水の量	触れ合い会の発表 看護師の話を聞く	音や音楽 雨の音	衣服・掛け布団	触れ合い遊び会会場連携	親子ふれあい遊び会 保育参加
7月	・日常生活の中で、地域社会の様々な文化や行事に触れ、地域へ親しみを持つ。	暑さ（安全） 室内遊び	姉妹園、地域へ手紙を送る	気温の変化 セミ、ザリガニ探し（釣り） 七夕、夏野菜収穫	短冊	七夕制作	夕涼み会について 懇談会		七夕
8月	・水遊びの安全な遊び方に気をつけながら、自分の身体を十分に動かし、進んで運動しようとする。			氷、かき氷 シロップ作り	お店屋さん	音 思い出画	上福岡の祭りの制作物	姉妹園、地域へ手紙を送る	
9月	・身近な人と親しみ、関わりを深めるとともに、地域の人々などの自分の生活に関係の深い人たちに親しみを持つ。		祖母、祖父母との交流 多世代交流	自然（変化、コスモス） バッタ、コウロギ（生き物） ザリガニ釣り	手紙	招待の手紙（塗り絵） 敬老の日の手紙 衣装づくり お店屋さん準備	敬老の日のお手紙 触れ合い遊び会について	小江戸交流	敬老の日
10月	・様々な事象の音、色、形などに興味を持ち、気付いたり感じたりして楽しむ。	林での遊び方 避難の仕方	他園の友だちとの交流	林の生き物 道路の標識、看板 きのこ・毒キノコ 木の実、どんぐり	なんでも会議	自然の楽器作り	総合防災訓練	ハロウィンで地域を巡る 消防署見学	秋祭り ハロウィン けやの森遠足
11月	・目標を持って挑戦したり、諦めずにやり通すことで達成感を味わう。	衣服調整	共通の遊具を使う 思いやりを持つ	数量や文字 生物の産卵 火起こし	相談、役割分担	火おこし ダンス	勤労感謝の手紙	博物館見学 川越巡り（菓子屋横丁）	焼き芋 勤労感謝の日
12月	・色々な素材に親しみながら、描いたり作ったりすることを工夫して遊んでいく。	大掃除 戸外遊び	地域との関わり	自然の変化	年賀状を書く 新年の挨拶	ダンス 凧制作	年賀状のお願い	お世話になった方に、年賀状を送る	ウィンターフェスタ
1月	・季節により、天気や気温、生活に変化があることに気付く。	伝承遊び 雪・水遊び 氷づくり	地域との関わり	コマの回し方 カルタの文字 福笑い	日常の挨拶 伝承遊びを教えてもらう	自然物制作	就学に向けての手紙	伝承遊びを教えてもらう 川越図書館 とらや工場見学	
2月	・友達と楽しく生活する中で、共通の目的を見出し、工夫したり、協力したりする。	卒園制作 卒園発表	友だちとオニを退治する	豆まき 恵方巻 火起こし	物語（節分について）	節分制作	お別れ遠足手紙 懇談会	節分に誘う お別れ遠足に行く	節分 お別れ遠足
3月	・色々な遊びを楽しみながら、物事をやり遂げようとする気持ちを持つ。	自己の存在感や充実感を味わう	友達、地域との関わり	様々な素材で制作	感謝の気持ちを持つ	ダンス プレゼント制作	卒園式手紙	一年間のお礼の手紙	ひな祭り 卒園式 お別れ会
10の姿		健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然とのかかわり・生命尊重、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現							

その他	
バスを使用する活動…動物がいる施設（生き物の命・大切さに触れるには哺乳類に触れることが大切） 自然学習センター 姉妹園との交流（月1回程度） 生活にかかわる施設（ごみ集積所、浄水場など） ＊鴨田駅より公共のバスを利用した活動もおこなう ＊地域との連携では、近隣のお祭り参加など自治会とも連携、相談をしながら参加できることがあるか検討する。	食育活動…クッキングでは昼食、午後食をメインに行い、全工程を経験する。 ＊畑活動に関しては、今年度より自分たちで苗植えや管理まで行う。そのために、自分たちでやりたいこと、やってみたいものなどを相談し、時には新井さんに相談しながら進める。

令和5年度　食育計画(1，２歳児)

園長	主任	副主任	担当

保育指針ポイント１	環境を通して行う	保育指針ポイント２	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育のテーマ	感謝 挑戦 自然の変化
保育方針	**1．指針に基づく保育　2．人権尊重　3．適切な発達援助　4．家庭・地域との連携　5．保護者支援**		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子）、関わる保育		
食育の目標・内容			
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる		

食育のねらい		健　康	人間関係	環　境	言　語	表　現	保護者支援	地域連携	主な行事	10の姿
4月	＊新しい環境や保育者に慣れ、見守られながら自分で食べようとする。	＊よく噛んで食べる。 ＊スプーンやフォークなどを使って、自分から意欲的に食べようとする。 ＊食事の前に手を洗い、手指消毒をする。 ＊様々な食材、味に慣れる。 ＊満腹したものを味わう。 ＊十分に体を動かし空腹感を得る。 ＊食べる量を自分で選択して食事をとる。	＊保育者や友達と一緒に楽しく食べる。	＊ふさのとう ＊新じゃが芋 ＊新玉ねぎ	＊食材の名前を知る。 ＊簡単な言葉で味を表現	＊ままごと (年間を通して)	＊食物摂取量の確認。測定での食事の様子の聞き取り(新入園児) ＊新年度行事お願い（保護者懇談）	園から周りの畑を見る	＊入園式 ＊どろんこ祭り	健康な心と体 自立心
5月	＊保育園の畑で育てている野菜の観察をしたり、水やりをする。		＊好きな席を自分で選び、食事をする。	＊室内、テラス等でお弁当を食べる	＊食事の時の挨拶	＊行事のぬりえ			＊端午の節句	協同性 道徳性＊規範意識の芽生え
6月	＊食前＊食後など汚れた時は顔や手を拭いて綺麗になった心地よさを味わう。		＊保育者や友達と一緒に様々な食材に触れる。 ＊好きなレシピを決める	＊いんげん ＊苗の成長を見に行く(散歩)	＊味についての言葉		＊人気のレシピを配布(厨房と連携)	園外の畑、田んぼを見に行く		社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・収穫した野菜をゴムんで食べる。		＊わくわくで収穫した野菜を見る＊触る	＊きゅうり ＊ピーマン ＊パプリカ ＊トマト	＊色、大きさ、感触を表す言葉	＊形や色の気付きを伝え合う。	＊朝食の大切さを伝える(個別配慮)		＊七夕 ＊夕涼み会	自然とのかかわり＊生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月	・食前の手洗い、あいさつなど食生活に必要な手順を発達に応じて、身につけていく。		＊おかわりなどのやり取りをする		＊「食べる」「食べない」などの意思表示が伝わるようにやり取りする	＊野菜スタンプ ＊氷クレヨン				言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月	＊夏野菜を見たり触れたりして、食べることに興味をもつ。			＊月見団子 ＊稲穂と米	＊好きな食べ物をお友達に伝える ＊見たことがある野菜を話す	＊粘土で団子つくり	＊離乳＊調理について		＊月見 ＊触れ合い遊び会	
10月	・いろいろな種類の食材に興味を持ち、聞いたり、答えたりしながら食べる。		＊友達と協力をしながら活動を行う	＊ゆず。ミカン。柿等。実のなる木への興味 ＊秋の季節に変化 ＊実ってる		＊「さのこ」「焼き芋ぐーちーぱー」等歌やリズムあそびを楽しむ。	＊弁当の日のお願い		＊ハロウィン	
11月	＊給食で使う野菜など、水で洗うなど活動に参加する。			＊さつま芋 ＊さのこ	＊「熱い」等温度を表す言葉	＊形や手触りなどに気付く	＊旬野菜の紹介(食育だより等)		＊焼き芋大会	
12月	＊冬野菜を見たり、触ったりしてみる。		＊九回の食べ物【冬野菜】を大切にし、みんなで触る	＊大根 ＊五平餅(お米) ＊にんじん	＊会話をたのしみながら食べる。	＊米の変化、蒸かした匂い、米の感触 ＊野菜スタンプ			＊クリスマスパーティ ＊餅つき	
1月	＊食前、食後の身支度を自ら進んでしようとし、友達と楽しく、落ち着いて食事をする。		＊友達と一緒に楽しく食事をする。	＊春の七草(七草がゆ) ＊白菜 ＊みかん		＊絵本や紙芝居を通して食べ物の名前に興味を持つ。	＊アレルギーについて			
2月	＊行事食を通して、日本の行事や食文化に触れる。			＊鬼力者、豆。 イワシ。カブ	＊冬野菜の名前を知る		＊節分豆の誤飲認識		＊節分	
3月	＊スプーン・フォークを使って一人で食べようとする気持ちを持つ。		＊食事の帯のやり取りをする。	＊ひなあられ		＊「ひな祭り」「やさいのうた」等。歌を楽しむ	＊行事食レシピの紹介		＊桃の節句	

令和5年度　年間食育計画　　（3～5歳児）

園長	主任	副主任	担当

保育指針ポイント１	環境を通して行う	保育指針ポイント２	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育のテーマ	感謝 挑戦 自然の変化
保育方針	**1．指針に基づく保育　2．人権尊重　3．適切な発達援助　4．家庭・地域との連携　5．保護者支援**		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を動かすことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子）、関わる保育		

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる							
食育のねらい		健　康	人間関係	環　境	言　語	表　現	保護者支援	地域連携	主な行事
4月	・健康で安全な食生活に必要な基本的習慣や態度を身に付ける。 ・新しい環境の中で、友達と一緒に食べる楽しさを知る。 ・種まきに向けて季節の野菜について知る。	・食事の前に手洗い、手指消毒をする。看護の手洗い指導を定期的に行う。 ・友達と楽しみながら食事をする。 ・食事のマナーを身につける ・収穫した野菜など、様々な食材に触れる。 ・クッキングの身支度をする。 ・戸外でたくさん遊び、空腹感を味わう。 ・食事の前の挨拶「いただきます」「ごちそうさま」 ・食具の使い方を知り、身に付ける。	食事のマナー 友達と食事を楽しむ 種まきについて話し合い	畑づくり 食事テーブルの名前を決める	会話を楽しむ 種まきについての話し合い、種を買いに行く	土の感触	お弁当の日のお願い クッキング（エプロン、マス	畑	
5月			種まきをする 新井さんの畑に行く	植え方を調べる、植えるそらまめ・たけのこ（旬）	植え方の伝え合い 芽などの観察	種や芽の形、色 えほん			夏野菜種まき
6月			水やりのやり方を伝える	必要に応じて間引きをする水やりをする おくら（旬）	芽や葉の変化に気付く	芽、葉や茎の形や色		新井さんにお礼の手紙	
7月	・意欲的に様々な食材や食べ物に触れる。 ・保育者と一緒に食の循環を知ると共に栽培を通して食物に興味を持つ。		収穫をする	収穫をする 畑の土づくりをする ピーマン・すいか・ナス	収穫したものをどうするのか話し合いをする 種まきについての話し合	収穫した野菜でクッキング		竹のお礼の手紙	春野菜収穫
8月			種まきをする	植え方を調べる。植えるとうもろこし・　めろん（旬）	植え方の伝え合い 芽などの観察	種や芽の形、色			夏野菜種まき
9月			水やりのやり方を伝える	必要に応じて間引きをする水やりをする 収穫をする	芽や葉の変化に気付く 収穫したものをどうするのか話し合いをする	芽、葉や茎の形や色 収穫した野菜でクッキング			夏野菜の収穫
10月	・育てた食材で調理活動をしながら、調理員等々食べ物を作ってくれる人、調理してくれる人に感謝の気持ちを持つ。		さつまいもを掘る 大きさを比べる	さつまいもの収穫 秋の七草	さつまいもをどうするのか子ども同士相談 秋の七草を知る	収穫したさつまいもでクッキング	さつまいも掘り	お礼の手紙	芋ほり ハロウィン 冬野菜種まき
11月			焼き芋、火起こし 柿	三上さん宅柿の収穫 火、さつまいも 畑作りをし、種まきをす	役割を決めて焼き芋会をする 豚汁に向けて話し合い	焼き芋の味やにおい、色の違いに気付く 芽や茎、葉の形や色	お弁当の日のお願い	焼き芋大会のお誘い 柿のお礼	焼き芋
12月			五平餅 水やりの仕方を伝える 餅つき（コロナの状況次第）	冬の七草 水やりを必要に応じてする	葉や芽の変化に気付く 冬の七草を知る	葉や茎の色や形		餅つきの食べ物を支援センター親子にふるまう	餅つき
1月	・日々の食事やクッキングを通して、食材や調理の過程に興味を持つ。 ・食材の大切さを知り、すべての命に感謝の気持ちを持つ。・行事食を通して、日本の伝統や食文化に触れ発見を楽しんだり、考えたりする。		鏡開き	春の七草の種類 正月料理	春の七草を知る 正月料理の意味を知る	春の七草の手触り			正月 春の七草 冬野菜収穫
2月			来年度の食事テーブルの名前決めの話し合い	恵方巻 豆まき みかん食べ比べ	恵方巻の食べ方など	恵方巻 ひいらぎいわし			節分 春野菜種まき
3月				ちらし寿司の具の意味	ひなまつりの食べ物について教え合う	ちらし寿司			ひな祭り お彼岸
	１０の姿	健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然とのかかわり・生命尊重、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現							

2023年度

安　全　年　間　計　画

伊佐沼すまいる保育園

月	安全関係行事	子どもへの働きかけ	園内・園外研修、職員周知	保護者発信	環境
4月	避難訓練 散歩の日 ※毎月28日を散歩の日として戸外での緊急対応訓練を行う	・安全パトロール ・地震、火災が起こったら ・火の危険性(火を使った活動) ・毒のある植物、生き物 ・遊具の安全な使い方 ・駐車場(園外)での危険性 ≪5月頃≫ ・熱中症の危険 ・帽子の大切さ ・園外活動での蚊 ・水遊びのルール	・アレルギー既往歴の確認 ≪研修≫ ・SIDS ・誤飲・誤嚥　・個人情報 SNS ・アレルギー ・ハラスメント ・水の事故 ・虐待(保護者・不適切な保育) ※セルフチェック ≪5月ごろ≫ ・熱中症について ・虫の危機 蚊(デング熱など)、毛虫など ・蜂について　・水遊びについて	≪年間を通して≫ ・すまいるカードのお願い ≪毎月≫ 避難訓練時に災害伝言ダイヤルの周知(毎月1日、15日無料)	≪4月≫ ・防犯設備の確認(セコム等) ≪5月頃≫ ・熱中症指数の掲示 ・虫よけの準備 ≪毎日行うこと≫ ・いのちのリスト ・ヒヤリハット ・気づきノート ・空気清浄機の使用 ≪毎月≫ ・避難訓練時に災害伝言ダイヤルの試験運用(15日の場合) ≪都度≫ ・嘔吐処理備品の確認 ≪防災訓練時6月・10月≫ ・防災設備の確認(通報装置等) ・非常食、防災備品の確認、展示 ≪11月頃≫ ・加湿器の使用開始 (水抜きは毎日行う)
5月	避難訓練 散歩の日 子どもがいなくなった訓練(園内)				
6月	総合防災訓練 散歩の日				
7月	避難訓練 不審者対応訓練 (警察立ち合い)		≪6月～7月≫ ・普通救命講習 ・竜巻について ・大規模災害時のマニュアルの周知、確認		
8月	避難訓練				
9月	避難訓練 散歩の日				
10月	総合防災訓練 引き取り訓練 散歩の日	・火の危険性(火を使った活動) ・衣服の安全、調節		≪11月≫ SIDS強化月間	
11月	避難訓練 散歩の日 子どもがいなくなった訓練(園内)		・感染症について インフルエンザ、嘔吐処理 ・SIDS強化月間		
12月	避難訓練 散歩の日				
1月	避難訓練 散歩の日		・虐待について		
2月	避難訓練 散歩の日				
3月	避難訓練 散歩の日				

☆避難訓練・散歩の日については別途計画を作成

令和5年度　　自衛消防訓練計画　　伊佐沼すまいる保育園

月　日	種別	発生場所	時間帯	避難場所	ねらい	内容
4月17日 （月）	地震 初期指導 年間指導 計画作成	関東北部にて 震度3程度の 揺れ	午前保育中 10:00	室内の安全な場所	・避難訓練に慣れる ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・安全場所に避難し、保育士の指示に従う ・紙芝居などを用いて避難の意味を知る ・避難訓練の意味・意義を伝える ・緊急時の放送・合図の周知 ・保育士の所に集まる練習 ・防災頭巾、避難靴の着用 ・避難リュックの中の点検 ・消火器類の確認、初期消火 ・人数確認・報告
5月15日（月）	地震 初期消火 不審者訓練	関東南部にて 震度4程度の 揺れ	午前保育中 10:00	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列	・避難訓練に慣れる ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・室内の安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・落下物・転倒防止などの確認 ・避難口に移動、整列する ・初期消火
6月15日 （木）	総合防災訓練 火災 初期消火	厨房より出火	午前保育中 10:00	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・火災の避難の仕方を知る ・避難滑り台での避難に慣れる(3,4,5歳) ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・室内の安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴を着用 ・避難口に移動、整列する ・園庭への速やかな避難 ・人数確認・報告 ・消火訓練、通報訓練 ・避難用滑り台による避難(3.4．5歳児) ・起震車、煙体験
7月14日 （金）	地震 水遊び時の避難 初期消火 水害	関東北部にて 震度3程度の 揺れ	午前保育中 10:30	安全な場所 ↓ 待機	・水遊び時の避難方法を知る ・衣服が濡れた時の状態を知る(4，5歳児) ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・プール遊び時の避難方法の周知 ・人数確認・報告 ・消火訓練 （着衣訓練→4.5歳児）
8月18日 （金）	火災 初期消火	厨房より出火	午後保育中 16:00	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・降園時の避難に慣れる ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・園庭への速やかな避難 ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・消火訓練
9月15日 （金）	地震 初期消火 水害	埼玉南部にて 震度4程度の 揺れ	午前保育中 9:15	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・登園時の避難に慣れる ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・室内の安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・落下物・転倒防止などの確認 ・登園直後、午前おやつ中の避難 ・避難口に移動、整列する ・園庭に避難 ・初期消火
10月13日 （金）	総合防災訓練 地震 広域避難場所への避難 初期消火 伝言災害ダイヤル体験	関東全域に 震度6程度	午後保育中 15:30	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合 ↓ 広域避難場所へ移動	・保育士の指示に従い、安全に避難する ・広域避難場所において、落ち着いて過ごす	・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・園庭への速やかな避難 ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・消火訓練、通報訓練
11月15日 （水） 予告なし	地震 初期消火 水害 不審者訓練	関東北部で直下型地震発生 震度7程度 伊佐沼の氾濫を想定	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する ・浸水を想定して避難場所までの移動をシュミレーションする	・保育士の指示に従い、避難する ・防災頭巾・避難靴を着用 ・避難経路の確認 ・人数確認・報告 ・消火訓練、初期消火 ・広域避難場所までの避難、誘導 ・園からの持ち出し物資の確認 ・洪水時の避難確保に切替える
12月15日 （金） 予告なし	火災 初期消火	月グループより出火	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する ・出火場所を考慮して安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる(人数の確認) ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火
1月15日 （金） 予告なし	地震 初期消火	埼玉県北部で 震度4程度	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・防災頭巾・避難靴の着用 ・避難経路の確認 ・人数確認・報告 ・初期消火
2月16日 （金） 予告なし	火災 初期消火	虹組より出火	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる(人数の確認) ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火
3月15日 （金） 予告なし	地震 初期消火 水害	埼玉県南部で 震度5程度 入間川、荒川の氾濫を想定	時間未設定	放送の指示による 注意体制確立 警戒態勢確立 非常態勢確立	・保育士の指示に従い、安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる(人数の確認) ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火

指導及び留意点

【職員の意思統一】
・非常災害対策責任分担表(火災予防の担当者、自衛消防隊編成組織表)を理解し、緊急事態発生に備えて確認をする。
・避難経路・消火器の設置場所・防災頭巾・避難靴・避難用持ち出し袋・避難時に持ち出さなくてはいけないもの・非常食の確認をする。
・地震、火災時の職員の対応の理解
・色々な災害発生場所を想定した避難経路の確認をとる。
・消火器の使い方の確認をする。(総合防災訓練時の水消火器訓練)

【火災・地震訓練】
①生命の安全を第一に考え、全職員が避難誘導する。
②保育士自身が落ち着いて避難誘導する。
③各自の任務を声を掛け合いながら遂行する。
④火元の確認・火元から遠ざかる。
⑤日頃より避難経路の確認、確保(荷物等で塞いでしまう事のないように)をする。
⑥保育中に防災頭巾をかぶる練習をする。又、乳児は保育の中で慣れるよう配慮する。
⑦日々、避難靴の有無、サイズの確認をする。幼児は靴の履き方、整列の練習を保育の中で行う。
⑧乳児担任はおんぶの仕方(おんぶ紐の仕方)を練習する。
⑨日々、避難リュックの中身の確認をする(携帯電話、笛、救急薬品、ティシュ、タオル、児童名簿、筆記用具、着替え、オムツ、おしり拭き、雑巾、ビニール袋、オンブ紐など)
⑩避難車、乳母車のタイヤの亀裂・空気の確認をする。
⑪火災の時は窓を閉める。(延焼を防ぐ)
地震の際は出入り口を開ける。非常口の扉や通路扉も開ける。カーテンは下ろす。(避難経路の確保、窓ガラスの散乱防止)
⑫地震の際は振動がおさまるまで静かに待機する。
⑬落下物・転倒防止器具の確認をする。(室内外の整理整頓)
⑭日頃より園内外、公園での安全な場所の確認をする。
⑮個別支援の必要な子どもには保育者が付く。
⑯避難する際は出来るだけまとまり、安全に速やかに誘導する。
(2次災害の防止)

【人数確認・報告】
・毎朝の出席人数を正確に把握し、事務所に知らせ出席簿に記入する。
・避難訓練の際は、誘導後、防火管理責任者に正確な人数の確認・避難状況の報告をする。一内線による報告可
・分担表に基づき、廊下・トイレ・ホールなど各部屋に子どもがいないか確認をする。

【救命救急講習(予定)】
・職員の講習会とし、状況に応じた救命方法を理解できるようにする。
・人工呼吸、心臓マッサージなど救命救急の方法を理解する。

【消火訓練(初期消火)】
・まずは身の安全の確保をする。
・消火器の使い方を知る。
・火元の確認・把握をする。
・初期消火に向かう際は、必ず大声で周りに状況を伝え、応援を求める。
・ピンは火元から5m程の距離にて抜くようにする。(力が入ってしまい、一度レバーを握ってしまうと、消化液が止まらなくなるため)
・火元の手前から徐々に近づいていく。

【引き取り訓練】
・防災頭巾・上履きを着用する。(訓練時)普段の訓練時も着用。
・引き取り時、保護者の確認をして、子どもを渡す。
(必ず「すまいるカード」の確認をする)

【広域避難場所までの避難】
・農業触れ合いセンターまで避難方法の周知。
・子どもの安全な誘導、職員の連携を取る。
・園からの持ち出し物資の確認をすることで、再度何を持ち出したらよいのか検討する。

【時間未設定での避難訓練】
・通常保育の中で、放送に指示に従い避難する。
・訓練時間、避難場所、避難方法に関しては、未設定とする。

【水害訓練】
・浸水を想定した避難訓練を行う。
・避難経路の確認。
・避難場所(川越高校・川越総合高校)までの移動および手段の確認。
・避難確保資器材の確認。
・情報伝達訓練。

2023(R5)年度　伊佐沼すまいる保育園　保健計画

年間目標：丈夫な身体づくりに向けた保育園での生活を送る

2023.2月更新（看護委員会作成）

月	保健目標	毎日・毎月・随時 ／看護分科会	子どもへの働きかけ ／保健行事	園内研修・職員周知	家庭・地域との連携 ほけんだより	家庭・地域との連携 保護者連絡・連携
4月	進級・入園に伴う 環境の変化に慣れる （生活リズムを整える ・園での生活に慣れる）	<毎日> ・視診（体調不良の早期発見） ・触診・検温 ・感染状況の把握・掲示 ・体調不良児、けが等の対応 ・医療棚・救急箱の整理/補充 ・内服状況の把握 <毎月> ・身体測定・記録 ・カウプ指数による発育確認 ・予防接種状況の把握・記録 ・保険証の期限チェック・管理 ・入園児の健康診断の結果 ・アレルギー疾患、 既往歴の把握 ・救急箱、預かり薬のチェック ・安全WTへの参加 ・看護委員会 ・検便検査（職員） <随時> ・体調変化に伴う連絡・対応 （保護者連絡の目安・緊急時等） ・感染症の掲示、 コドモンでの配信 ・体温計の管理 ・お散歩バック内 救急セット確認 ・健康診断の準備・結果配布 ・保険証・乳児医療受給者証 の期限確認・管理 ・嘔吐セットなどの備品管理 ・感染症発生時の対応・注意喚起 ・預かり薬の管理・書類管理	・入園時健康診断 <毎月> ・身体測定	・環境の変化に伴う事故発生に留意する ・戸外活動の注意点（熱中症・けが） <適時> ・新入園児のSIDS /SUDIの注意喚起 ・看護委員会からの連絡事項 ・感染症への注意喚起 ・手洗い指導	・生活リズム（活動と休息） ・園での生活 ・清潔について（爪・頭髪） ・薄着の勧め ・靴の選び方 ・午睡の必要性 ・発熱時の対応（適時）	・家庭調査票の提出・確認・活用 <適時> ・体調変化に伴う連絡 （保護者連絡の目安・緊急時等） ・感染症の掲示、キッズリーでの配信 ・予防接種状況把握 ・保険証・乳児医療受給者証の期限把握
5月	手洗いの大切さ 戸外で十分に遊ぶ		・熱中症対策（-11月まで） （帽子・水分補給 熱中症指数計測等）			
6月	感染症に注意する 歯を大切にする		・歯科健診 ・虫歯予防デー	・熱中症予防 ・虫刺され イカリジンでの虫よけ対策 （11月まで）	・熱中症　・衣類の選び方 ・虫歯予防 ・冷房使用について ・虫刺され（蚊）	・歯科健診の結果・治療の案内
7月	暑さに負けず、 元気に過ごす		・内科健診 ・皮膚疾患などの把握 ・水遊び時の注意事項	・水遊びの注意（感染・事故） ・誤飲・誤嚥について	・夏の感染症 ・皮膚の清潔	・内科健診の結果・治療の案内 ・夏の寝具・衣服の切り替え
8月					・夏を乗り切ろう ・夏の生活習慣	※支援センター「看護師の話」
9月	けがに気をつけて、 体を動かす			・緊急時の対応（救命講習）	・虫刺され（蜂・毛虫） ・救急の日 ・生活リズム・感染症	・お弁当への注意（安全WT）
10月	体を動かすことを楽しむ		世界手洗いデー ・目の愛護デー ・手洗い指導（わく） ・咳エチケット（わく）	・空気清浄機点検・整備 救急シュミレーション	・目の愛護デー ・デリケートゾーン ・予防接種 （日本脳炎・インフルエンザ） ・冬の服装（下着の着用）	・冬の寝具・衣類の切り替え
11月	薄着の習慣をつけ 丈夫な身体を作る		内科健診	インフルエンザの欠席について 嘔吐処理（職員研修）	・風邪予防 ・スキンケア ・鼻のかみ方・中耳炎	・内科健診の結果・治療の案内
12月	インフルエンザや 風邪の予防に努める				・インフルエンザ ・冬の感染症・予防	※支援センター「看護師の話」
1月	寒さに負けず外遊びを 楽しむ（体づくり）		手洗い指導（虹・わく）		・ノロウイルス・嘔吐の処理 ・丈夫な体を作る	
2月		・保健計画の評価・検討	デリケートゾーンについて		・冬のスキンケア（あかぎれ・しもやけ）・はなのかみ方	
3月	耳を大切にする 1年間の成長発達を確認する	・常備薬品の見直し・補充 ・医療用備品のチェック・補充 ・身体測定グラフの配布（検討中） （全園児）		・空気清浄機点検・整備	・耳の日 ・進学に向けて ・花粉症	

令和５年度事業計画

三丁目すまいる保育園

2023年度全体的な計画（三丁目すまいる保育園）

保育指針のポイント1	環境を通して行う	保育指針のポイント2	養護と教育の一体的展開	
保育理念	自分のことが好きな子ども　自分のことができる子ども		保育目標	多様性における生きる力の基礎を育む “自分らしさをもって生きる”を育む
保育方針	1．指針に基づく保育を行う　2．子どもの人権を守る　3．発達を適切に援助する 4．家庭・地域と連携をする　5．保護者の支援を行う			
すまいる保育園の目標	豊かな遊びの体験を通して自立心を育む（身体を使うことが大好きな子供・頭を使うことが大好きな子供・人と関わることが大好きな子ども）			
保護者支援（保護者と両輪となって）	地域の実態と関わり	連携施設との連携	主な行事	
保護者と保育者は、子どもを理解し、今必要なことを共に確認し合うチームとなります。暮らしの中の子どもの姿を保護者と共有する。	地域清掃への参加、HP、行事への参加・招待、姉妹園交流、敬老、七夕、三丁目祭り、埼玉ふじみ野ケアセンター、防災訓練	園交流、子どもの発達の共有、連携行事 他園交流、他園との研修		
連絡帳、キッズリー、ポートフォリオ 園だより、クラス便り、保健便り、食育便り、るくみー 保育参加、保護者懇談会、保護者会			入園式 懇談会 夕涼み会 三丁目祭り 触れ合い遊び会 ハロウィン ウインターフェスタ 伝承遊びウィーク 鶴ケ岡焼き芋・餅つき 懇談会 にぶんのいち卒園式	
衛生・健康	安全対策	職員の資質向上		
検温、内科検診（2回）歯科健診（1回）害虫駆除、手洗い、お茶を飲む、衛生検査	毎月避難初期消火訓練、総合防災訓練（2回） 普通救命救急講習、すまいるカード、食事見守り いのちのリスト、ﾏﾆｭｱﾙ・ｶﾞｲﾀﾞﾝｽの活用、不審者訓練、SIDS 感染症対策、手指消毒、清掃、玩具の消毒	一人ひとり職員が資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう務める すまいる委員会・ワーキングチーム、園内研修・園外研修、GT、クオーレ、 臨床育児研究会、キャリアアップ研修、自己評価制度、子ども観察、CCW、トミーの日、加藤しげみさん勉強会、井上先生のワークショップ		

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		1．気付く力　2．工夫する力　3．楽しく頑張る力					
保育目標		0歳児前半	0歳児後半	1歳児	2歳児	3歳児	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
養護	生命の保持	・一人ひとりの健康状態を把握し、感染症やSIDS・ブルーなどに備えて適切に対応する	・健康や安全に配慮し、一人ひとりの生活リズムを大切にしつつ、生理的欲求を十分に満たす	・保育者とかかわり欲求を満たし、生活リズムが形成される	・安全で快適な生活環境の中で、身の回りのことを自分でしようとする気持ちが育つ	・食事や排泄などの身の回りのことなどの基本的な習慣が身に付くように見守り、必要に応じて援助する	
養護	情緒の安定	・一人ひとりが保育者等に受け止められながら安心感をもって過ごせるようにする ・わらべ歌を通しコミュニケーションをはとる	・一人ひとりの子どもの状態を把握し、心身の疲れが癒されるよう心がける	・子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉がけを行う	・保育者等との暖かなやり取りやスキンシップを楽しみ、心の安定や身体感覚を育てる	・保育者との継続的な信頼感を基に、主体的に活動し、自分への自信が持てるように見守る	
教育	健康	【心身の発達】 ・保育者等による受情豊かな受容の下で、生理的、心理的欲求を満たし。心地よく生活する。 ・一人ひとりの発育に応じて、はう、たつ、歩くなど、十分に身体を動かす。 ・一人一人に生活リズムに応じて、十分に食べる、眠るなどのリズム感覚が芽生える。 【社会的発達】 ・応答的な触れ合いや言葉がけによって、欲求が満たされ、安心感をもって過ごす。 ・体の動きや表情、発声、喃語等を優しく受け止めてもらい、保育士等とのやり取りを楽しむ。 ・温かく、受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。 【精神的発達】 ・身の回りのものに対する興味や関心を持つ。 ・生活や遊び中で様々なものに触れ、感覚の働きを豊かにする。 ・保育者等と一緒に様々な色彩や形、絵本などを見る。 ・玩具や身の回りのものを手や指を使って遊ぶ。 ・保育者等の怪し遊びに機嫌よく応じたり、わらべうた、歌やリズムに合わせて手足や体を使って楽しんだりする。		・歩く、走る、ぶら下がるなど、自分の体を動かすことを積極的な楽しむ ・保育者等の助けを借りながら、身の回りのことをしようとする気持ちが芽生える	・基本的な動作が出来るようになり、全身を使って遊ぶことを楽しむ（十分に歩く、手を大きく振って走る） ・保育者等の見守りの中、身の回りのことを自分でしようとする	・体を使って動くことの子こと良さを感じながら積極的に遊ぶ ・十分に食べる、眠るといった生活リズムが身に付く（十分に空腹感を感じ、意欲的に食べる）	健康な心と体 自立心
教育	人間関係			・周囲との安定した関係の中で、身の回りの人に興味や関心を持ち、過ごすことの楽しさを知る	・保育者等の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方を少しずつ身に付ける ・いろいろな人を知る（他園交流、地域の人など）	・生活に、きまりがあることや、その大切さに気付く ・いろいろな人との関わりを楽しむ（他園交流、地域の人など）	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
教育	環境			・身近な自然に興味や関心を持ち、五感を豊かにする ・周りに興味を持ち自分の好きな遊びを見つける	・身近な自然に興味や関心を持ち、遊びに取り入れようとする ・自分の好きな遊びを見つけて、自分なりの使い方をする。	・身の回りのものや自然にかかわる中で、ものの性質などに興味を持ち、ためしてみようとする。 ・保育者など一緒に生き物の飼育や栽培などをすることで、親しみをもって関わる	社会生活との関わり 思考力の芽生え
教育	言葉			・保育者等の応答的な関わりや話しかけにより、ことばやなどで相手に伝えようとする ・絵本に興味を持ち、保育士等の言葉がけに応じたり、指差ししたりして楽しむ	・保育者等を仲立ちとして、生活や遊びの中で友達とのやり取りを楽しむ ・保育者等の読み聞かせを興味をもって聞いたり、一人で好きな絵本をじっくり見たりして楽しむ	・周囲の言葉や話に興味をもって、聞いたり、自分なりに伝えたりする（お休みの日のことや散歩でのことなどの伝え合い） ・物語などのお話も興味をもって集中して見る	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
教育	表現			・生活や遊びの中で、様々なものに興味を持ち、存分に関わる ・様々なことを体験する中で、自分なりに表現することを楽しむ	・興味のあることや経験したことを再現したり、真似したりして楽しむ ・わらべうた、音楽やリズムに合わせて身体を動かす	・経験したことや絵本の世界などを、自分なりにイメージをなげて、見たて遊びなどを楽しむ ・歌を歌ったり、わらべうたや簡単な手あそびや全身を使う遊びを楽しむ	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
食育		・食を楽しむ ⇒友だちと一緒に楽しく食べられるようにする ・咀嚼を行う。食具を使う。 ・姿勢を整える		・五感を使った遊び ⇒食材を見る、触れる、食べる、臭いをかぐ、調理などの音を聞く	・調理保育（厨房と連携） ⇒お米とぎやコンロやホットプレートなどを用いた簡単な調理体験を重ねることで、食への興味や関心を広げる	・プランターでの栽培 ⇒夏野菜、葉物、サツマイモなどプランターでの栽培活動を通して、直接体験ができるようにする	・食べる量の選択 ⇒ご飯やおかず、デザートなど保育者等とのやり取りの中で自分の好きな量を食べられるようにする

2023年度保育計画（乳児用）三丁目すまいる保育園

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子ども　自分のことができる子ども	保育目標	新しい生活様式や多様性における生きる力の基礎を育む “自分らしさをもって生きる”を育む
保育方針	1．指針に基づく保育　2．人権尊重　3．適切な発達援助　4．家庭・地域との連携　5．保護者支援		
すまいる保育園の目標	豊かな遊びの体験を通して自立心を育む（身体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人と関わることが大好きな子）		

保育の目標・内容　　豊かなコミュニケーション　「自分から・自分で」を育む、くらしの中の子どものを姿を保護者と共有する。自分らしさを持って生きる。

育みたい資質・能力の3つの柱		気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる					
保育のねらい（重点目標）		健やかに伸び伸びと育つ	身近な人と気持ちが通じ合う	身近なものと関わり感性が育つ	保護者支援	主な行事(地域を含む	10の姿
4月～6月	【特定の大人との応答的な関わりを大切にして過ごす】	・安心して過ごす （安心してミルクを飲んだり、食事を食べる。睡眠をとる。おむつ替えをして心地よさを感じる）（ハイハイで室内の探索を楽しむ） ・ゆったりと外気浴を楽しむ （散歩車に慣れる。） （草花に手を伸ばしてみる） ・雨を楽しむ （玄関先で雨に触れたり、音を楽しむ）	・安心して身近な人と過ごす わらべ歌・季節の歌 ・保育者以外の大人とのかかわりを楽 ・欲求を受け止めてもらう ・食事は落ち着いた環境で対人数で行う ・わらべ歌を通してスキンシップをとる	・室内でゆったりと過ごす ・歌やリズムに合わせて体の動きを楽しむ ・気になる玩具に手を伸ばしてみる ・保育者と一緒にゆったりとした気持ちで絵本を楽しむ ・春の自然に触れながら、戸外遊びを楽しむ	・慣れ保育 ・子育て状況アンケート ・保護者会総会（保護者会との連携） ・長期休み中の子どもや家庭の様子などのやり取り	・入園式(保) ・保護者総会(保) ・保護者懇談会(保)（zoom）	健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月～9月	【一人ひとりに合わせた安定した生活リズムで気持ちよく過ごす】	・水と触れ合う（室内で行う） ・熱中症に気を付ける	・身近な人と応答的な関わりを楽しむ ふれあい遊び、手遊び等 ・となりのすまいるとの交流	・歌に合わせて体を動かしたり、クレヨンなどで絵をかいたりして表現することを楽しむ。 ・夏の自然に触れる ・室内で感触遊びを楽しむ （絵の具・水・ミスト・泥・氷・新聞紙・ボール・砂・シャボン玉）	・行事を通しての子どもの育ちの共有 ・保育参加での共有 ・保育参加での共有 ・長期休み中の子どもや家庭の様子などのやり取り ・ポートフォリオ配布 ・保育参加での共有	・内科健診(保) ・歯科検診(保) ・ケアセンターの方と公共の場で交流(地) ・夕涼み会(保・地)(ウィーク)	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
10月～12月	【身近な人や物への興味や好奇心を持ち、十分に楽しめるようにする】	・ゆったりと探索活動を楽しむ	・保育者や友達と手を繋いで散歩する ・友達の存在に気付き少しずつ関わろうとする ・散歩を通して地域の方とあいさつをする ・わくわく組のお友だちと一緒に散歩に行く等しながら、異年齢交流を楽しむ	・身近な野菜に触れて、食育等とも絡めながら嗅覚・味覚・視覚等に意識的に働きかけていく ・秋の自然物に触れる （葉っぱ・ドングリ・枝・花） ・移行進級に向けて階段遊びをする	・保育参加での共有 ・ハロウィンの保護者参加の呼びかけ ・行事を通しての子どもの育ちの共有 ・ポートフォリオ配布 ・行事を通しての子どもの育ちの共有 ・行事満足度アンケート	・触れ合い遊び会(保)(ウィーク) ・ハロウィン(保・地)(ウィーク) ・内科健診（保）	
1月～3月	【生活や遊びの中で様々な物に触れ、気付きや感覚の働きを豊かにする】	・氷や雪に触れて感触を楽しむ ・たくさん体を動かして遊ぶ ・歩いて散歩を楽しむ	・わくわく組での環境に慣れ安心して過ごす。 （移行・食事・睡眠） （個々に合わせて対応） ・簡単な身支度や身の回りの事を一緒に行う	・冬の寒さを感じながら、雪や氷などとも触れてみる ・様々な素材で風を感じる （ビニール・風船・スズランテープ等） ・春の植物や花を見て春を楽しむ	・長期休み中の子どもや家庭の様子などのやり取り ・懇談会での交流、意見交換 ・来年度の保育計画作り ・ポートフォリオ配布 ・保護者アンケート	・焼き芋会(保・地) ・ウィンターフェスタ(保・地)(ウィーク) ・伝承ウイーク(保・地)(ウィーク) ・地域の方と公共の場で交流 ・節分(保・地) ・保護者懇談会(保)（zoom） ・1/2卒園式(保) ・ひな祭り(保) ・ケアセンターの方と公共の場で交流(地)	

2023年度保育計画　3歳未満児（三丁目すまいる保育園）

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開	
保育理念	自分のことが好きな子ども　自分のことができる子ども		保育目標	新しい生活様式や多様性における生きる力の基礎を育む “自分らしさをもって生きる”を育む
保育方針	1. 指針に基づく保育　2. 人権尊重　3. 適切な発達援助　4. 家庭・地域との連携　5. 保護者支援			
すまいる保育園の目標	豊かな遊びの体験を通して自立心を育む（身体を使うことが大好きな子ども・頭を使うことが大好きな子供・人と関わることが大好きな子ども）			

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる								
保育のねらい（重点目標）		健　康	人間関係	環　境	言　語	表　現	保護者支援	地域連携	主な行事	10の姿
4月 5月 6月	【安心できる人、安心できる場所】 ・新しい環境に慣れて落ち着いて過ごす ・特定の大人との応答的な関わりを大切にし、継続的な信頼関係を築く ・保育者に見守られながら、好きな遊びを楽しむ。 ・散歩や戸外遊びを楽しむ中で、草花や虫に触れたり春の自然に親しむ。 ・梅雨の時期を快適に過ごしながら、季節の自然に興味や関心を持つ。	・環境の変化に慣れる。 ・食事で姿勢や咀嚼を意識する。 ・体を動かして遊ぼうとする ・簡単な身のまわりのこと（手洗い、口拭き）を自分で行おうとする	・保育士等に慣れ安定して過ごす。 ・様々な年齢の友だちと関わる。 ・友達と手をつないでみる	・自分の持ち物に興味をもつ ・玩具、絵本、遊具等に興味を持ち、それらを使った遊びを楽しむ。 ・プランターの野菜を育ててみる ・花（チューリップなど）を見る→育ててみる ・生き物の観察をする	・絵本での言葉のやり取りを楽しむ。 ・親しみをもって日常の挨拶に応じる。	・身近な素材（砂、水）に触れてみる ・触れ合い遊びを十分に行う	・慣れ保育 ・保護者会総会（保護者会との連携） ・長期休み中の子どもや家庭の様子などのやり取り	・地域清掃（第一日曜）	・入園式 ・保護者総会 ・保護者懇談会	健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月 8月 9月	【しっかり食べる、しっかり眠る、しっかり遊ぶ】 ・保育者やお友だちと関わりながら夏の遊びを十分に楽しむ。 ・適切な休息を取り入れながら、暑い時期を健康で快適に過ごす。 ・一人一人に合わせた安定した生活リズムで気持ちよく過ごす ・水や砂に触れながら全身を使って夏の遊びを楽しむ。 ・簡単な仕草や言葉で自分の思いを伝えようとする。 ・歩く、走る、跳ぶなど、全身を動かすことを楽しむ。	・衣服の着脱を自分で行おうとする ・様々な食材に触れる ・自ら考えて行動する ・水遊び等、全身を使った遊びを楽しむ	・友だちの遊びに気付き、興味を持ち始める。 ・好きな遊びを通して友達と一緒に遊ぼうとする。	・近隣の生活や季節の行事や文化等に興味や関心を持つ。 ・自ら好きな遊び（虫探しなど）を見つけ遊ぼうとする。	・保育者の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉で話してみる。	・様々な素材、道具を使って表現してみる（クレヨン、絵の具、小麦粉、片栗粉など）	・行事を通しての子どもの育ちの共有 ・行事満足度アンケート ・保育参加での共有 ・ポートフォリオ配布	・地域清掃（第一日曜）	・夕涼み会 ・内科健診	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
10月 11月 12月	【たくさん関わり、たくさん歩く】 ・身近な人や物への興味や好奇心を持ち、十分に楽しめるようにする。 ・散歩先で秋の自然に親しむ。 ・身近な素材や秋の自然物を使って自分なりの表現（制作など）を楽しむ。 ・保育者やお友だちと簡単な言葉の模倣、やりとりを楽しむ。 ・友達と関わる楽しさを知る	・草花や生き物などに関わる。 ・友達と誘導ロープをつないで歩く	・ルールがあることに気付く ・ルールのある遊びに挑戦する ・生活や遊びの中で、友だちや保育者の真似をしたり、ごっこ遊びを楽しんだりする。	・身近な生き物に気付き、親しみを持つ。 ・公共施設や買い物に行き、様々な場所や人と関わる。 ・チューリップを植える	・絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣をしたりして遊ぶ。	・様々な素材の違いに気付く。 ・音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。	・保育参加での共有（・ハロウィンの保護者参加の呼びかけ） ・ポートフォリオ配布 ・行事を通しての子どもの育ちの共有 ・行事満足度アンケート	・地域清掃（第一日曜） ・ハロウィン ・ウィンターフェスタへの招待	・触れ合い遊び会（にこわくweek） ・ハロウィン ・歯科健診 ・ウィンターフェスタ（week）	
1月 2月 3月	【五感の働きを豊かに】 ・生活や遊びの中で様々なものに触れ、気付きや感覚の働きを豊かにする 【自己主張が出来る】 ・自分の気持ちを安心して表せるようにする ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・雪や氷など冬ならではの遊びを楽しむ。 ・寒い季節を元気に過ごす。 ・進級に喜びや期待をもって過ごす。 ・見立て遊びやごっこ遊びを通して、保育者やお友だちと言葉のやり取りを楽しむ。	・排泄に興味を持ち、自らトイレに行こうとする。	・自分の気持ちを相手に伝えてみる ・伝承遊びを通し、集団遊びを楽しむ	・見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わう等の感覚を使いながら、変化や違いに気付く。	・生活や遊びの中で友だちとの言葉のやり取りを楽しむ（ごっこ遊びなど）	・生活や遊びの中の出来事を通して、イメージを豊かにしたり、自分なりに表現したりする。	・長期休み中の子どもや家庭の様子などのやり取り ・懇談会での交流、意見交換 ・来年度の保育計画作り ・ポートフォリオ配布 ・保護者アンケート	・地域清掃（第一日曜）（・地域の店に行ってみる） ・図書館利用 ・節分（施設交流） ・ひな祭り ・伝承遊びウィーク ・園バス（虹）	・お正月 ・節分 ・保護者懇談会 ・1/2卒園式 ・ひな祭り ・伝承遊びウィーク	

2023年度　食育計画（乳児用）　　三丁目すまいる保育園

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開	
保育理念	自分のことが好きな子ども　自分のことが出来る子ども		保育目標	新しい生活様式や多様性における生ける力の基礎を育む “自分らしさをもって生きる”を育む
保育方針	1. 指針に基づく保育　2. 人権尊重　3. 適切な発達援助　4. 家庭・地域との連携　5. 保護者支援			
すまいる保育園の目標	自立心を育む（身体を使うことが大好きな子ども・頭を使うことが大好きな子ども・人と関わることが大好きな子ども）			

食育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる						
	食育のねらい	健やかに伸び伸びと育つ	身近な人と気持ちが通じ合う	身近なものと関わり感性が育つ	保護者支援	主な行事	実際の活動	10の姿
4月 5月 6月	・少しずつ新しい環境に慣れていく ・保育者との愛着関係をはぐくむ ・お腹が空き、食事を食べ、午睡するリズムに慣れていく ・食事は対人数で行い離乳食は落ち着いた環境で行っていく。	安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる	自分の欲求を保育者に受け止めてもらう 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする	新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる コップから水分を取ってみる	・慣れ保育中、家庭での様子を聞きながら、連携が大切と伝えていく ・食物確認表 ・食べた事のない食材は、家庭で2回以上食べてから ・献立表の食材確認をするように伝える ・朝食の大切さを伝えていく ・栄養士、保育者、保護者の三者で面談をしながら、離乳食を進めていく	入園式 慣れ保育 お誕生日のリクエスト食材 子どもの日 懇談会（zoom）	・タケノコ、アスパラに触る。	健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月 8月 9月	・日中の活動で体を十分に動かし、お腹が空き、食事を食べる、ミルクを飲む ・色々な食材そのものの味や舌ざわりを楽しむ ・食べ物の食感や感触を楽しむ	日中の活動を楽しむ 一定のリズムでお腹が空くように整えていく 食べ物を手でつかみ、口元に運ぶ 手洗いをする	あいさつを保育者と一緒にしてみる 食材の名前などを聞く	さまざまな食材に触れてみる 色々な食材を口に入れてみる		七夕 夕涼み会 上福岡七夕まつり 三丁目夏祭り 十五夜	・氷に触れる ・きゅうり、とうもろこし、いんげんに触る ・カレー粉の匂いを感じる	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚 言葉による伝え合い
10月 11月 12月	・旬の食べものなどに接する機会を持ち、楽しく食べる ・一人ひとりの発達に応じて、少しづつ歯ごたえのある食材を取り入れ、よくかむことを身につけていく ・手づかみをしたり、食具を使って、意欲的に食事をする	様々なものを食べてみようという意欲を持つ 自分の食べたい物やおかわりの意志を伝える。	一人ひとりの発達に応じて食材の固さなどを選ぶ 友だちや一緒に食べる人の姿に気づく	手づかみ食べから一口量を知る 前歯でかじりとる経験をしてみる		十三夜 ハロウィン 勤労感謝の日 ウインターフェスタ 冬至、クリスマス	・数人ずつでテーブルを囲み、ゆったりとした環境で食事をする。 ・栗、みかん、ブロッコリー、カリフラワー、かぼちゃ、ごぼうに触る。	★アレルギー対応 ・個々のアレルギーの状況を指示書、医師の診断書をもとに把握し、全職員共通認識。その他アレルギー食提供までの手順に沿って配膳していく
1月 2月 3月	・行事食を通して、日本の行事や、食文化に触れる ・食事の前には、手を洗うことや、食後の口拭きなど、自分でやってみる ・みんなで食べる楽しさを知る	自分の汚れを自ら拭こうとする 色々な食べ物に挑戦する エプロン、口拭きを自分のカゴに片付ける	保育者や友だちと一緒に楽しい雰囲気の中で食事をする 友だちと簡単なやりとりを楽しむ	行事などの食文化に触れる 食具の使い方に慣れる		お正月 伝承遊びウィークリー 七草 焼き芋会 節分 懇談会(zoom) ひな祭り	・おやつと同じ野菜の調理前を実際に触る ・かぶ、ブロッコリー、にんじん等冬野菜に触ったり匂いをかいだり、重さを感じる	

2023年度食育計画（1、2、3歳児）

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開	
保育理念	自分のことが好きな子ども　自分のことができる子ども		保育目標	新しい生活様式や多様性における生きる力の基礎を育む “自分らしさをもって生きる”を育む
保育方針	1. 指針に基づく保育　2. 人権尊重　3. 適切な発達援助　4. 家庭・地域との連携　5. 保護者支援			
すまいる保育園の目標	豊かな遊びの体験を通して自立心を育む（身体を使うことが大好きな子ども・頭を使うことが大好きな子ども・人と関わることが大好きな子ども）			
食育の目標・内容	楽しく食べる			
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる			

	食育のねらい	健康	人間関係	環　境	言　語	表　現	保護者支援	地域・保護者連携	主な行事	10の姿
4月	・園での生活リズムに少しずつ慣れていく ・園での食事や色々な食材に慣れていく	・水分補給をこまめにする ・手洗い ・様々な食材や味を知る ・よく噛んで食べる ・姿勢を整える	・保育者と情緒の安定を図る	・プランター（きゅうり・オクラなど）での栽培を行ってみる ・自らのペースで食事を行う	・食事のあいさつをする ・食材の名前を知る ・行事食を通して日本の文化を知る	・味覚・食感を感じる	・慣れ保育中、食事の様子を見てもらう ・献立表、食材の確認、連携 ・連休中の様子、疲れ具合等連携 ・懇談会での午後食試食	・近隣の方へ入園のお知らせをする	入園式 慣れ保育 お誕生日のリクエスト食材	健康な心と体 自立心
5月									子どもの日	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月									懇談会	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・日中の活動で身体を十分に動かし、自ら進んで食事を食べる ・さまざまな食材に触れる	・十分に体を動かし、空腹を感じる ・水分補給をこまめに行う ・姿勢を整える	・食材の名前を保育者や友達と話しながら知る	・栽培したものを食べてみる ・季節の食材に触れる ・口拭きなど身の回りを整える	・野菜の特徴に気づく ・冷たい感触「つめたい」 ・食事の挨拶をする。	・食材を触ったりしながら食育を知る	・水遊びに伴って朝食の大切さを伝える ・幼児食・完了食は月1回のお弁当（子どもが食べやすいお弁当を伝える）	・地域の方との交流 ・夕涼み会に招待 ・近隣の店に行ってみる	七夕 夕涼み会	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月									上福岡七夕まつり 三丁目夏祭り	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月									十五夜	
10月	・食具を正しく使おうとする ・散歩先の実のなる木や身近な食べ物を知る ・食器の片付けを少しずつ自分たちでやってみようとする	・季節の食材を食べてみる ・姿勢を整える	・一緒に図鑑や写真を見て食べ物を知る ・友達と食事を楽しむ	・おやつを自分で運び、下げる ・食材を購入し、受け取りに行く ・冬野菜を育ててみる	・ありがとう（簡単な言葉）を伝えてみる ・「にぎにぎ」	・食材を使って、制作等を行ってみる（野菜スタンプなど）	・2園合同ふれあい遊び会 ・幼児食の子どもは月1回のお弁当（子どもが食べやすいお弁当を伝える） お弁当ではアレルギーに気を付ける ・ウインターフェスタに招待する	・ハロウィンを通して地域の方と子どもたちとのやり取りを楽しめるようにする ・近隣の店などに「ありがとう」の気持ちを伝える ・ウインターフェスタに招待する	ふれあい遊び会 十三夜 ハロウィン	★アレルギー対応 ・個々のアレルギーの状況を指示書、医師の診断書をもとに把握し、全職員共通認識その他アレルギー食提供までの手順に沿って配膳していく
11月									勤労感謝の日	
12月									ウインターフェスタ 冬至、クリスマス	
1月	・多くの食材に触れ、味覚の経験を広げる ・季節を感じながら食事をする ・行事食を通して、日本の伝統的な食事に触れる	・日本の伝統的な行事食を食べてみる ・虹グループはセルフおにぎりを行ってみる。 ・姿勢を整える	・友だちと食事を楽しむ	・給食のお皿を下げる ・盛り付けされたお皿を自分で選んで持っていく ・様々な感触を楽しむ	・行事食を通して日本の文化を知る ・「ぺったん」 ・自ら「いただきます」をする。	・様々な感触に触れてみる	・伝承遊びウイークリー ・豆まき交流 ・懇談会で午後食試食 ・お弁当ではアレルギーに気を付ける。	・伝承遊びウイークリー ・豆まき交流	お正月・七草 伝承ウィーク 焼き芋会	
2月									節分 懇談会	
3月									ひな祭り	

2023年度　三丁目すまいる保育園　年間安全計画

月	安全関係行事	子どもへの働きかけ	園内・園外研修 職員周知	環境	分科会
4月	・避難訓練	・安全パトロール ・地震・火事が起こったら ・手洗い、うがいの呼びかけ ・散歩先の安全確認 ・散歩時の注意確認	・SIDS ・誤飲・誤嚥・日中の睡の掛け方 ・来客者・業者の対応マニュアル作成 ・園内清掃・消毒の徹底　・すまいるカード確認強化・アレルギー・既往歴の確認 ・散歩マニュアルの確認、植物の危険 ・新型コロナウィルス感染症対策（手洗い、うがい、消毒、検温）	・いのちのリスト(毎日) ・ヒヤリハット集計(月1) ・気づきノートの活用　・怪我歴の活用 ・SIDS強化　・嘔吐処理備品確認 ・玩具消毒の徹底 ・防災整備（セコム・火災探知機）の確認	W：　日 委：　日
5月	・避難訓練 ・災害伝言ダイヤル71体験(1、15日) すまいるカード呼びかけ	・熱中症の危険(指数、顔マーク を掲示) ・水遊びのルール確認	・熱中症について、誤飲・誤嚥、虐待 ・虫などの危険 蚊(デング熱など)・毛虫など ・非常ベルを使用した避難訓練 ・普通救命講習	・虫よけの準備 ・熱中症指数掲示 ・SIDS強化	W：　日 委：　日
6月	・総合防災訓練、災害伝言ダイヤル体験 ・不審者対応訓練	・園外活動での蚊、虫対策（衣服の安全）	・蜂の事故について ・水の事故について ・夏の感染症について ・普通救命講習		W：　日 委：　日
7月	・避難訓練 ・子どもがいなくなった訓練		・竜巻について ・すまいるカードの呼びかけ ・清掃マニュアルの確認 ・普通救命講習		W：　日 委：　日
8月	・避難訓練 ・不審者対応訓練		・室内の危険個所の確認 ・大規模災害時のマニュアルの確認・周知 ・普通救命講習		W：　日 委：　日
9月	・避難訓練、すまいるカード呼びかけ		・すまいるカードの呼びかけ	・いのちのチェックリストの見直し ・非常食、発電機の試験運転 非常用品確認	W：　日 委：　日
10月	・総合防災訓練 ・伝言ダイヤル体験		・非常ベルを使用した避難訓練		W：　日 委：　日
11月	・避難訓練	・衣服の安全・調節	・感染症について インフルエンザ 嘔吐処理１	・加湿器の管理　・嘔吐処理備品確認 ・SIDS強化	W：　日 委：　日
12月	・避難訓練 ・不審者対応訓練の実施		・凍結防止のやり方 ・嘔吐処理２ ・すまいるカードの呼びかけ	・凍結防止	W：　日 委：　日
1月	・避難訓練				W：　日 委：　日
2月	・避難訓練、すまいるカード呼びかけ		・すまいるカードの呼びかけ	・いのちのチェックリストの見直し	W：　日 委：　日
3月	・避難訓練		・年間まとめ ・入園当初のSIDSについて		W：　日 委：　日

2023年度　三丁目すまいる保育園　保健計画

年間目標：丈夫な身体づくりに向けた保育園での生活を送る

月	保健目標	毎日・毎月・随時 /看護分科会	子どもへの働きかけ ／保健行事	園内研修・職員周知	家庭・地域との連携	
					buru-	保護者連絡・連携
4月	進級・入園に伴う 環境の変化に慣れる （生活リズムを整える ・園での生活に慣れる）	<毎日＞ ・視診（体調不良の早期発見） ・触診・検温 ・感染状況の把握・掲示 ・体調不良児、けが等の対応 ・医療棚・救急箱の整理/補充 ・内服状況の把握 ・病欠・体調不良の子どもの把握 <毎月＞ ・身体測定・記録 ・カウプ指数による発育確認 ・予防接種状況の把握・記録 ・保険証・乳児医療受給者証の期限チェック・管理 ・入園児の健康診断の結果 ・アレルギー疾患、既往歴の把握 ・救急箱、預かり薬のチェック ・安全ＷＴへの参加 ・看護委員会 ・検便検査（職員） <随時＞・体調変化に伴う連絡・対応 （保護者連絡の目安・緊急時等） ・感染症の掲示、 コドモンでの配信 ・体温計の管理 ・お散歩バック内 救急セット確認 ・健康診断の準備・結果配布 ・嘔吐セットなどの備品管理 ・感染症発生時の対応・注意喚起	・入園時健康診断 <毎月> ・身体測定	・環境の変化に伴う事故発生に留意する ・戸外活動の注意点（熱中症・けが） <適時> ・新入園児のSIDS /SUDI・ブルーの注意喚起 ・看護委員会からの連絡事項 ・感染症への注意喚起	・生活リズム（活動と休息） ・園での生活 ・清潔について（爪・頭髪） ・薄着の勧め ・靴の選び方 ・午睡の必要性 ・発熱時の対応（適時）	・家庭調査票の提出・確認・活用 <適時> ・体調変化に伴う連絡 (保護者連絡の目安・緊急時等) ・感染症の掲示、コドモンの配信 ・予防接種状況把握 ・保険証・乳児医療受給者証の期限切れ案内
5月	手洗いの大切さ 戸外で十分に遊ぶ		・熱中症対策 （帽子・水分補給等）			
6月	感染症に注意する 歯を大切にする		・歯科健診 ・虫歯予防デー ・内科健診	・熱中症予防 ・虫刺され・イカリジンでの虫よけ対策 （11月まで）	・熱中症 ・虫歯予防 ・冷房使用について ・虫刺され（蚊）	・歯科健診の結果・治療の案内
7月	暑さに負けず、 元気に過ごす		・皮膚疾患などの把握 ・水遊び時の注意事項	・水遊びの注意（感染・事故）	・夏の感染症 ・皮膚の清潔	・内科健診の結果・治療の案内 ・夏の寝具・衣服の切り替え
8月					・夏を乗り切ろう ・夏の生活習慣	
9月	けがに気をつけて、 体を動かす			・緊急時の対応 （救命講習）	・虫刺され(蜂・毛虫) ・救急の日 ・生活リズム・感染症	・お弁当への注意（安全WT）
10月	体を動かすことを楽しむ		・世界手洗いデ ー ・目の愛護デー ・内科健診	・空気清浄機点検・整備	・目の愛護デー ・予防接種 (日本脳炎・インフルエンザ) ・冬の服装（下着の着用）	・冬の寝具・衣類の切り替え
11月	薄着の習慣をつけ 丈夫な身体を作る		・手洗い指導 ・咳エチケット	インフルエンザの欠席について	・風邪予防 ・スキンケア ・鼻のかみ方・中耳炎	・内科健診の結果・治療の案内
12月	感染症や 風邪の予防に努める				・インフルエンザ ・冬の感染症・予防	
1月	寒さに負けず外遊びを 楽しむ（体づくり）				・ノロウイルス・嘔吐の処理 ・丈夫な体を作る	
2月		・保健計画の評価・検討			・冬のスキンケア（あかぎれ、しもやけ）	
3月	耳を大切にする 1年間の成長発達を確認する	・常備薬品の見直し・補充 ・医療用備品のチェック・補充 ・身体測定グラフの配布 （全園児）		・空気清浄機点検・整備	・耳の日 ・進学に向けて ・花粉症	

令和５年度事業計画

鶴ケ岡すまいる保育園

2023年度全体的な計画

保育指針のポイント1	環境を通して行う	保育指針のポイント2	養護と教育の一体的展開		
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子				
保育方針	1. 指針に基づく保育を行う　2. 子どもの人権を守る　3. 発達を適切に援助する 4. 家庭・地域と連携をする　5. 保護者の支援を行う			すまいるのポイント	すまいるガイドライン
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を動かすことが大好きな子　・　頭を使うことが大好きな子　・　人と関わることが大好きな子）				
2023年度保育テーマ	主体的に関わる（①自然の中で思い切り遊ぶ。②多様性を認め、自他ともに大切にする。③自分で考え判断できる力を育む）　音を楽しむ(わらべ歌・歌・手遊び・リズム・楽器)				
家族の状況及び保護者へ	地域の実態との関わり		環境設定	小学校との連携	主な行事
連絡帳、キッズリー、ポートフォリオ、CCW、園たより、保健便り、食育便り、ルクミー保育参加、保護者懇談会、保護者会	園便りの地域回覧、HP、姉妹園交流 行事への参加・招待、、中学生社会体験、老人福祉施設交流、卒園児招待、他園交流 ＊コロナの状況により実施		井上寿氏　ワークショップ	学校訪問、連絡会議	入園式 親子ふれあい遊び会 ハロウィン ウインターフェスタ 卒園式
衛生・健康	安全対策		職員の資質向上		
内科検診（2回）歯科健診（1回）害虫駆除、歯磨指導、手洗指導清掃、消毒	毎月避難初期消火訓練、総合防災訓練（2回） 普通救命救急講習、SIDS対応、不審者対応　戸外活動緊急対応(毎月28日散歩の日) いのちのリスト、ﾏﾆｭｱﾙ・ｶﾞｲﾀﾞﾝｽの活用		すまいる委員会・ワーキングチーム、トミーの日、子ども観察、CCW、 クオーレの日、園内研修・園外研修GT、臨床育児保育研究会、 キャリアアップ研修、加藤繁美氏勉強会 自己評価制度		

保育の目標・内容

みたい資質・能力の3つの		1. 気付く力　2. 工夫する力　3. 楽しく頑張る力				
保育目標		乳児		3歳未満児	3歳以上児	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
養護		・一人一人の子どもが快適に生活できるようにする　・ひとりひと健康で安全に生活できるようにする　・生理的欲求が十分満たされるようにする。				
養護	生命の保持	・授乳・睡眠・排泄など心地よく感じられるように関わり、生理的欲求を十分満たす。		・応答的なかかわりにより食事排泄などの活動を通して自分でしようとする気持ちが芽生えるようにする。 ・安全で快適な環境の中で、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを見守りながら援助をする。	・健康で安全な生活に必要な習慣が身につくように見守り個々に応じて援助する。 ・一人一人の発達や生活リズムに合わせて食事・排泄・睡眠などの援助をしていく。	
養護	情緒の安定	・視線を合わせ表情豊かに関わりながら、心地よく安心できる関係をつくっていく。		・言葉にならない行動の意味や気持ちを理解し、やり取りすることで安心して自分の気持ちを表すことができるようにする。 ・自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちに共感し、自我の育ちを援助する。	・一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに自分への自信が持てるように見守り適切に働きかける。 ・いつでも安心して休息できるスペースを確保し、心身の疲れを癒すことができるようにする。	
教育	健やかに伸び伸びと育つ	・ゆったりとした環境の中で、保育者や友達と一緒に過ごす。 ・自分でやりたいという気持ちを表す。 ・はう、立つ、歩くなど十分に体を動かす。	健康	・散歩など戸外で伸び伸び遊ぶ。 ・様々な動きを楽しむ。 ・様々な食品に触れるなど、食事を楽しむ。 ・衣服の着脱などを自分でしようとする。 ・進んで手洗いをするなど自分の健康に関心を持つ。	・保育者や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。 ・戸外遊びなど、十分に体を動かして遊ぶ。 ・友達と食べることを楽しみ、食への興味や関心を広げる。 ・身の回りを清潔にする為に必要な活動をし、健康な生活リズムを身につける。 ・自分の健康に関心を持ち、予防に必要な活動をおこなう。 ・危険な場所、遊び方に気づき、安全に行動する。	健康な心と体 自立心
教育	身近な人と気持ちが通じ合う	・保育者や友達と一緒に遊ぶ。 ・優しい語りかけや、応答的な関わりにより言葉の理解や喃語の意欲が育まれる。 ・肌の触れ合いなどのスキンシップを通して、安定感をもって過ごす。	人間関係	・自分の思いや相手の気持ちに気付く。 ・異年齢の関りの中で真似をしたり、ごっこ遊びをする。 ・きまりがあることや大切さに気付く。 ・他児や身近な大人に興味を持ち、関わることを楽しむ。	・自分でできることを考え、自分で行動する。 ・相手の思いに気付き、自分の思いを相手に伝える。 ・一緒に遊ぶなかで、共通の目的を持ち、工夫しながらやり遂げる。 ・決まりの大切さに気づき、守ろうとする。 ・共有の遊具や場所を大切にし、みんなで使う。 ・地域の人に親しみを持ち、関わろうとする。	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
教育			環境	・季節ならではの現象に触れる。 ・形、色、大きさ、量などの性質に気付く。 ・自然物に触れ、感触や表現することを楽しむ。 ・生き物や玩具など身近なものを大切にする。 ・五感を使い、様々なものに触れる。	・自然に触れ、美しさや不思議さに気付く。 ・様々なものに触れ、性質や仕組みに興味を持つ。 ・季節を知り、その生活や変化に気付く。 ・身近な動植物に親しみを持ち、生命の尊さに気付き、大切にする。 ・文化や伝統、行事に触れ、親しみを持つ。	社会生活との関わり 思考力の芽生え
教育	身近なものと関わり感性が育つ	・身近な玩具や絵本に対する興味や関心を持つ。 ・生活の中で様々な物に触れる。 ・歌やリズムに合わせて、手足や体を動かす。 ・音や匂いに興味を持ち、五感を働かせる。	言葉	・自ら挨拶をするなど、言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵本や手遊び、言葉遊びに興味を持つ。 ・自分の思いを言葉で伝える。	・自分が経験したことを、自分なりの言葉で表現する。 ・相手の話を注意して聞く。また、して欲しいこと、困っていることを言葉で伝える。 ・親しみを持ち、日常のあいさつをする。 ・オノマトペなど言葉の面白さに気付く。 ・文字などを使い、伝える楽しさを味わう。 ・絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わう。	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
教育			表現	・日常の生活を通して、イメージが豊かになる。 ・季節の歌やわらべ歌・童謡等興味のある歌に親しむ。 ・体操や音楽、リズム遊びを一緒に楽しむ。 ・自分のイメージを製作等で表し、また遊びに取り入れる。	・形、色、音、手触り、匂いなど五感で感じることを楽しむ。 ・様々な出来事に触れ、感動を伝え合ったり、イメージを豊かにしたりする。 ・感じたことを音や動きで表現する。 ・季節の歌やわらべ歌・童謡等興味のある歌に親しむ。 ・様々なもので作ることを楽しみ、作ったものを遊びに使う。 ・劇遊びなどイメージしたことを演じる。	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
食育		たっぷりとミルクを飲む。食べることを楽しむ。		食べることを楽しみ、食に興味を持つ。	・食への興味を広げ、理解を深めることで作ることや食べることに喜びを持つ。 ・コンポストの活動から食べ物の大切さや、循環を知る。	

2023年度保育計画（乳児用）

園長	副園長/主任	副主任	担当

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1.指針に基づく保育　2.人権尊重　3.適切な発達援助　4.家庭・地域との連携　5.保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子）		
2023年度の保育テーマ	主体的に関わる（①自然の中で思い切り遊ぶ。②多様性を認め、自他ともに大切にする。③自分で考え判断できる力を育む）　音を楽しむ(わらべ歌・歌・手遊び・リズム・楽器)		
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる		

保育のねらい		健やかに伸び伸びと育つ	身近な人と気持ちが通じ合う	身近なものと関わり感性が育つ	保護者支援	主な行事	乳児のわらべうた
4月	・保護者と一緒に保育者と関わり、新しい環境・新しい保育者に慣れる ・室内外で十分身体を動かす。 ・たっぷりとミルクを飲む。 ・発達に応じて、離乳食を楽しみながら食べる。	【年間を通して】 ・保育士等による愛情のこもった応答的な関わりによって心身共に満たされ穏やかで安定した生活を築く ・安心した雰囲気の中で授乳、食事をする。 ・室内、テラス、園庭の探索 室内：マットの山、太鼓橋、平均棒、ソフトブロック、ロノジー等全身を使って遊ぶ 園庭：築山（タイヤの階段、斜面）、砂場	・保護者とともに保育士に手を伸ばす 友達の存在に気づく 【年間を通して】 ・体の動きや表情、発声、喃語などをやさしく受け止めてもらい保育者とのやり取りを楽しむ。 ・わらべ歌、絵本、ふれあい遊び。 ・保育者や友達の真似をする。 ・異年齢の子に興味を示す。	【年間を通して】 ・様々なものに手を伸ばす （操作できる玩具、人形、箱と小物、ボール、型はめ、ガラガラ、小物玩具、積み木） ・散歩 ・自然物に触れる （水、草、花、虫、砂、土） ・様々な感触を楽しむ （水、氷、クレヨン、新聞紙ちぎり、タンポ） ・感覚遊び ・季節の変化を感じる	・きめ細やかな連絡を取り合い、信頼関係を築く ・離乳食のやり取り	入園式	・ちょちちょちあわわ ・いっぽんばしこちょこちょ ・おせんべいやけたかな ・だいこんづけ ・あがりめさがりめ ・おでこさんをまいて ・あんよはじょうず
5月				音の出るおもちゃに触れる	・薄着のお願い ・保育参加のお願い	子どもの日 クラス懇談会	
6月				・水や土に触れる 水遊び、氷遊び、ミスト ・花を見る ・虫の動きを見る ・シャボン玉 ・日差し、影、光、雨、風を		内科検診 歯科検診 ふれあい遊び会 総合防災訓練	
7月	・室内外で十分身体を動かす。 ・様々な物に触れ感触を楽しむ。 ・たっぷりとミルクを飲む。 ・発達に応じて、離乳食を楽しみながら食べる。				夏の感染症の注意喚起	七夕	
8月			・散歩に出かけ、地域の人と関わる （声掛けに反応する） ・ふれあい遊び会に向けて		異年齢保育を伝えていく		
9月	途中入園があった時は、上記のねらいを繰り返す。					歯科検診	
10月			・地域の人とやり取りをする。	・焼き芋 ・トンボ ・落ち葉、どんぐり、松ぼっくり		ハロウィン サツマイモ堀 秋祭りウイーク	10の姿
11月					焼き芋会への参加 ベストなどの準備依頼 冬の感染症の注意喚起	焼	健康な心と体 自立心
12月				・クリスマスの雰囲気を味わう ・ウインターフェスタで製	ウインターフェスタへの参加	ウインター4フェスタ お餅つき	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
1月						正月あそび	社会生活との関わり 思考力の芽生え
2月				・氷 ・園庭の霜、霜柱、氷 ・雪が降ったら	懇談会にて来年度に向けて情報発信	クラス懇談会 節分	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
3月					一年間の成長を喜び合う	ひな祭り	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現

園長	副園長/主任	副主任	担任

2023年度　鶴ケ岡すまいる保育園 保育計画（1、2歳児）

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1.指針に基づく保育　2.人権尊重　3.適切な発達援助　4.家庭・地域との連携　5.保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子）		
2023年度の保育テーマ	主体的に関わる（①自然の中で思い切り遊ぶ。②多様性を認め、自他ともに大切にする。③自分で考え判断できる力を育む）　音を楽しむ(わらべ歌・歌・手遊び・リズム・楽器)		
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる		

保育のねらい		健康	人間関係	環境	言語	表現	保護者支援	地域連携	主な行事	10の姿
4月	・好きな遊びを見つけて楽しむ ・（新入園児）園庭や室内でゆっくりと過ごし、安心して保育園での生活に慣れていく	【年間を通しての活動】 ・園庭を歩く、走る、築山を登る ・園庭の固定遊具（※滑り台、ロープのぼり、アスレティック） ・三輪車やストライダーなどの遊具で体のバランスを整える。 ・鉄棒、平均台、太鼓橋などの運動遊具 ・野菜の栽培を通して食べ物への興味関心を持つ ・散歩 （子どもひろば・六丁目公園・駅・コミニケテイセンター・赤松公園）	【年間を通しての活動】 ・保育者とのかかわり 気持ちを受け止めてもらう 手伝い ・友達との関わり ままごと 見てまねる 同じ遊びをしようとする ・地域の方との関わり あいさつ ・集団遊び	【年間を通しての活動】 ・身近な昆虫や小動物に触れる ・季節を感じる（草花、自然現象） ・桜（お花見） ・身近な昆虫探し ・夏野菜の苗を植える ・こいのぼり	【年間を通して】 ・挨拶 ・ものの名前、保育者や友達の名前を知り、言葉で表す。 ・絵本、紙芝居、パネルシアター、ペープサートなど ・保育者や他児との言葉での伝え合い ・感じたことを言葉にする ・身近な音を言葉で表現する ・様々な経験の中で語彙数を増やす。（言葉で表現する）	【年間を通して】 ・泥、砂、水などの感触 ・給の具、クレヨンなどで様々な表現 ・様々な素材に触れ表現する ・手遊び、歌、ダンス、リズム遊び ・音遊び	家庭状況の把握 園庭遊びの説明（服の汚れ等）	地域への挨拶	入園式	健康な心と体 自立心
5月	・保育者に見守られながら、さまざまに工夫し集中して遊ぶ ・草花や昆虫などに触れ、自然に親しむ	・夏野菜の苗を植える		・カタツムリ、ザリガニ、バッタ、かえる、ダンゴムシ、クワガタ、カブトムシ ・あじさい ・シャボン玉		・雨の中での遊び ・染紙　・にじみ絵 ・鳴子をならす	クラス懇談会のご案内 レインコートの依頼	夏野菜の苗の購入	子どもの日 クラス懇談会	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月	・梅雨の時期を快適に過ごしながら自然に興味関心をもつ ・保育者等に手伝ってもらいながら身の回りの事を行っていく	・水遊び ・ボール遊び（大・中・小）		・水、泥、砂などに触れる ・シャボン玉遊び ・水槽の生き物 ・栽培活動		・ボディペインティング 色水 ・夏野菜スタンプ ・寒天	保育参加	消防署との連携	内科検診 歯科検診 ふれあい遊び会 総合防災訓練	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・保育者や他児と関わりながら、水遊びなどの夏の遊びを存分に楽しむ	・微細遊び ・ロフトに登る ・夏野菜の収穫と調理 ・水を利用した遊具でダイナミックに遊ぶ。	お店屋さん（かき氷	・笹の葉 ・水遊び、色水遊び ・水遊び（水車、ミストなど） ・泥遊び ・夢テラスで水遊び		・風船	保育参加 水遊びにおける準備、安全対策		七夕	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月	・適切な休息や水分補給、着替えをして、健康に過ごす ・全身を使って外・室内での遊びを楽しむ			・ロフト下 （プロジェクター遊び）			保育参加 夏の感染症の注意喚起 家庭休みの理解を促す ふれあい遊び会への参加			言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月	・気づいたこと、感じたことなどを簡単な言葉で表現して楽しむ ・他児と一緒に遊びを楽しむ						保育参加	敬老の日	歯科検診	わらべうた
10月	・行事などを通して地域の方との交流を深める ・自分の思いや気持を相手に伝えようとする	・親子で体を動かすことを楽しむ ・ハロウィンで地域を訪問	ハロウィンで地域の方との関わり	・お芋ほり（焼き芋） ・トンボ ・落ち葉、どんぐり、松ぼっくり ・レジスター買い物ごっこ	・「トリックオアトリート」など言葉の響きを楽しむ ・地域の人に挨拶をしたり、やり取りをする。	・好きな衣装を作る（切る、貼る等） ・自然物を使った製作・（どんぐり、落ち葉、、松ぼっくり等）	保育参加 災害時の緊急連絡の確認	ハロウィン	ハロウィン サツマイモ堀 秋祭りウイーク	・くまさんくまさん ・いっぽんばし ・だいこんづけ ・げんこつやまのたぬきさん ・てるてるぼうず ・なべなべそこぬけ ・アルプス一万尺 ・おてらのおしょうさん ・ちゃちゃつぼ ・だるまさんがころんだ ・あがりめさがりめ ・むっくりくまさん ・ずいずいずっころばし ・あぶくたった ・おせんたく など
11月	・考えや思いを伝え合う経験を重ねていく ・季節の自然に触れ、遊びのなかに取り入れる						保育参加 焼き芋会への参加 ベストなどの準備の依頼 冬の感染症の注意喚起	焼き芋会	焼き芋会	
12月	・保育者や他児と挨拶などの簡単な言葉の模倣や やり取りを楽しむ		親子で製作を楽しむ	・クリスマス装飾		・クリスマス製作（オーナメントなど） ・ウインターフェスタでの製作等 ・はさみ活動	ウィンターフェスタへの参加 保護者との相互理解	お餅つきボランティア	ウインター4フェスタ お餅つき	
1月	・身の回りの事を自分でしようとする ・雪・氷などを使った遊びを通して冬の自然に親しむ	・お正月遊び（凧あげ） ・氷作り ・雪遊び		・正月遊びを楽しむ（凧、コマ。 ・氷作り ・園庭の霜、霜柱、氷 ・雪が降ったら雪遊び	・お正月の挨拶	・お正月遊び（福笑い、等）		伝統文化ウィークリー	正月あそび	
2月	・戸外・室内共に全身を使って遊ぶことを楽しむ ・少し先の見通しを持ちながら生活したり遊んだりする	・鬼探し ・氷作り ・雪遊び		・節分	豆まき（鬼は外、福は内）	節分にの製作	懇談会にて来年の備品や見通しを持った 姿を伝える		クラス懇談会 節分	
3月	・気の合った他児と遊ぶことを楽しむ ・見立て遊びやごっこ遊びをして、保育者や他児と言葉のやり取りを楽しむ		進級を通して、わくわくさんに興味をもって遊んだり、新しい友達の	・お雛様 ・春を感じる（風の変化、暖かさ		・ひな祭り製作	一年間の成長を喜び合う		ひな祭り	

※新型コロナウイルス感染症の感染状況による

2023年度　鶴ケ岡すまいる保育園 保育計画（3歳以上児）

園長	副園長/主任	副主任	担任

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1.指針に基づく保育　2.人権尊重　3.適切な発達援助　4.家庭・地域との連携　5.保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子）		
2023年度の保育テーマ	主体的に関わる（①自然の中で思い切り遊ぶ。②多様性を認め、自他ともに大切にする。③自分で考え判断できる力を育む）　音を楽しむ(わらべ歌・歌・手遊び・リズム・楽器)		
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる		

	保育のねらい	健康	人間関係	環境	言語	表現	保護者支援	地域連携	主な行事	10の姿
4月	・好きな遊びを見つけて、友だちや保育者と十分に楽しむ ・身近な春の自然に触れ興味をもつ	・いろいろな遊びの中で存分に体を動かす ・望ましい食習慣の形成 ・宙グループ少数で散歩	畑を作る遊びの選択をする自分で考え自分で行動する	足元の草花・桜 野鳥、水耕栽培 園庭の土台 お花見、春探し	朝の会や帰りの会の中で言葉による伝え合いを楽しむ絵本や物語に親しむ 宙活・星活	感動体験を増やす 身近な環境十分に関わる 専門講師による指導 絵本・音楽	子どもの日々の様子の伝達と収集	姉妹園交流 体操配信	入園式 伊佐沼泥んこ祭り お花見、バス	健康な心と体 自立心
5月	・好きな遊びを見つけ、さまざまに工夫し、集中して遊ぶ ・友だちとの関わりを広げ、一緒に楽しむことを知る	野菜チップスづくり 熱中症について知る 色々なスポーツ ・カプラ	苗を植える 共通の目的の実現に向けて取り組む 公共の交通機関を使う	園庭の畑のレンガ裏の虫	苗購入の際のお店屋さんとの対話 野菜のかんばんつくり	水遊び 雨どい、平均台を工夫する プロジェクト保育（内容決定） 絵画・おままごと	連休中の様子の伝え合い 遠足への参加 築山改修のワークショップ	夏野菜の苗の購入(種七園芸)	伊佐沼公園	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月	・友だちと共通の目的をもって遊ぶことを喜び、十分に楽しむ ・季節の変化や特徴に気づき、興味や関心をもつ	自分の健康に関心をもつ 外国の料理 ペープサート（食育）	野菜を作るという共通の目的に向けて試行錯誤する コミュニティーセンターの人と連携	梅雨の時期 七彩公園の紫陽花 ダンゴ虫産卵期 水遊び 書道	梅活動について気付きや発見を伝え合う ・手紙遊び	雨の中でも戸外で楽しめる工夫をする（コート製作） プロジェクト保育（作成開始） 衣装づくり「布&ビニール	懇談会、保育参加 保育の意図（価値）の説明 大井よさこい祭り	嘱託医との連携 消防署との連携	大井祭り、クラス懇談会 内科、歯科検診 総合防災訓練、大井祭り	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・友だちと共通の目的をもって遊ぶ中で、自分の思ったことを相手に伝え、相手の思いにも気づく ・夏の遊びを存分に楽しむ	十分に体を動かす気持ちよさを体験する 夏の感染症について知る シロップづくり		命の不思議さ伊佐沼ザリガニ釣り 世界地図（料理） 残飯の処理（食事の大切さ）	短冊にお願いを書く 文字で伝える楽しさ	絵本の中の泳ぎの表現を真似たりして楽しむ 物語月間	水遊びにおける準備 安全対策	七夕動画	七夕 伊佐沼ザリガニ釣り かき氷	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月	・友だちと共通の体験をすることで、イメージを共有しながらさまざまな遊びを楽しむ ・適切な休息や水分補給、着替えをして、健康に過ごす	夏野菜の収穫と調理食べ物への興味・関心 全身を使って踊る	収穫した野菜の使い道を考える	とんぼ、くわがた西中央公園のドングリの出来始め 色水あそび ○道	自分の意見を文字に表す 劇あそび	興味のある音楽に合わせて踊る プロジェクト保育（完成予定）	夏の感染症の注意喚起	自然発表（ZOOM）	上福岡七夕祭り	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月	・気づいたこと、感じたことなどをさまざまな方法で表現して楽しむ　・身近な自然に親しみ、季節の変化に気づき、関心をもつ	親子で体を動かす気持ちよさを体験する 散歩活動	高齢者をはじめ地域の人に親しみを持つ 近隣施設訪問	各公園のドングリ集め ひまわり、朝顔の種 月の観察	図鑑を使って調べる 名前、重さ	感じたことや考えたことを音や動きで表現する（体操、サーキット） 敬老の日の手紙作り	秋祭り、ふれあい遊び会への参加 保護者との相互理解	冬野菜の種購入、ワークショップ	お月見 智光山公園	わらべうた
10月	・気づいたこと、感じたことなどをさまざまな方法で表現して楽しむ　・身近な自然に親しみ、季節の変化に気づき、関心をもつ	安全な生活に必要な習慣に気付く、食の大切さに気付く	ハロウィンで地域のお宅を訪問する	けやの森の林遊び西中央公園のイチョウ　色、大きさ、量 山登り キンモクセイ香りの十外	トリックオアトリート 言葉の響きや使う楽しさ	自分の好きな衣装を、身に付け地域を回る、さまざまな素材を、工夫する	災害時の緊急連絡の確認	嘱託医との連携消防署との連携、ハロウィン動画、図書館へいこう 郵便局見学	ハロウィン 総合防災訓練 触れ合い遊び会 内科検診バス	4月：たんぽぽ とんぼさん
11月	・友だちと共通の目的をもって遊び、お互いの考えや思いを伝え合う経験を重ねていく ・季節の自然に触れ、遊びのなかに取り入れる	米の種類,産地,買い物, 炊飯 焼き芋の,匂い,色,形	焼き芋会を地域に案内する 一緒に活動し愛情や信頼をもつ	落ち葉、ドングリの根 生命の不思議さ 赤松公園 編み物	危険やルールについて伝え合う	焚火の煙と臭い、炎の色、熱さを サンタへの手紙（カナダ）	焼き芋会への参加 遠足への参加	勤労感謝ウィーク ごみ収集車 →ごみ処理施設見学 焼き芋会	焼き芋、日和田山登山	6月ひよりにあめがふりゃ 7月でんでんむしでむし
12月	・友だちと協力しながら活動に取組む充実感や満足感を味わう　・季節の行事や伝統文化に触れ。興味・関心を深める	友だちや保護者と共に時間を過ごすことの喜びを味わう	親子で製作を楽しむ 家族を大切に思う 郵便配達（子どもの手紙配り）	亀久保西公園の寒桜	演じて遊ぶ	子ども達によるファッションショー さまざまな素材を使い、衣装を発展させる 和紙の感触　習字	ウィンターフェスタへの参加 保護者との相互理解	お餅つき	ウィンターフェスタ お餅つき	8月ほたるこい 9月まつぼっくりがあったとさ
1月	・自分のやりたいことに自信をもって意欲的に取り組む ・季節の行事に親しみ、その意味や由来に興味・関心をもつ	やりたいことに向かって頑張る	近隣保育園との交流 規範意識の芽生え	正月あそび 伝統的な遊びに親しむ 園庭の霜と霜柱 自然の変化	正月遊びを楽しむ （かるた、すごろく）	正月遊びを楽しむ （独楽回し、羽根つきなど） 名人認定証の発行	冬の感染症についての注意喚起	お正月　伝承遊び会 資源回収施設（今昔村）	伝承あそび会、凧あげ	10月せんまいづけ 11月あぶくたった
2月	・自分のやりたいことに自信をもって意欲的に取り組む ・冬にふさわしい生活の仕方を知り、健康に気をつけて生活する	節分の絵本を通し自ら生活に必要な習慣や態度を考える	節分という文化や伝統に親しむ 姉妹園交流	雪 七彩の街の梅 （梅の種類）	絵本や物語に親しみ、想像を巡らせたり、言葉のリズムを楽しむ	春の訪れを感じる （春一番の風の音 草木の新芽の色など）	懇談会への参加、保育所保育の意図（価値）の相互理解	小学校訪問 幼保小連絡会 梅祭り	節分 クラス懇談会	12月あわんどりゃほー 1月たこたこあがれ
3月	・進級・就学への期待をもって生活する ・友だちと共通の目的をもって遊ぶ中で、お互いの考えや気持ちを伝え合い、自信や信頼感を高めていく。	交通安全の習慣を身につける	共通の目的に向かって考えたり、工夫したりする	ひな壇を飾る伝統文化に触れる 亀久保中央公園の桜	お別れ会、卒園に向けてアイディアを出し合い表現する	卒園製作	成長展 一年間の成長を喜び合う		ひな祭り、お別れ会 卒園式	2月おにはそと 3月しがこわたりこ

2023年度食育計画（乳児用）

園長	副園長/主任	副主任	担当

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1.指針に基づく保育　2.人権尊重　3.適切な発達援助　4.家庭・地域との連携　5.保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子）		
2023年度の保育テーマ	主体的に関わる（①自然の中で思い切り遊ぶ。②多様性を認め、自他ともに大切にする。③自分で考え判断できる力を育む）　音を楽しむ(わらべ歌・歌・手遊び・リズム・楽器)		
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる		

	食育のねらい	健やかに伸び伸びと育つ	身近な人と気持ちが通じ合う	身近なものと関わり感性が育つ	保護者支援	主な行事	わらべうた
3カ月	・ミルクを飲みたい時に飲みたいだけ飲む ・一人一人の状態に合わせ、離乳食を進める	【一人ひとりの発達に応じて】 ・一人一人のリズムに合わせミルクを飲む ・咀嚼の様子を観察し、適宜声を掛けていく ・食べ物に興味を持ち、手を伸ばす ・手づかみで食べようとする ・口を動かし、よく噛んで食べる ・離乳食の形状を確認し、ミルクの量・時間帯の調整をしていく ・水分補給をしっかり行う ・様々な食材をよく噛んで食べる ・自ら手を伸ばして食べようとする ・睡眠と食事のリズムを整える ・食前「食後の身支度を自ら進んでしようとする	【一人ひとりの発達に応じて】 ・ゆったりと授乳が行えるようにする ・楽しい雰囲気の中で食事ができるようにする ・友達や保育者と一緒に楽しく食事をする ・空腹のサインを見逃さずに気持ちを受け止める	【一人ひとりの発達に応じて】 ※1，2歳児の活動を見ながら、出来るところに参加する。 ・食事の挨拶を真似ようとする ・食材を見たり触ったりする ・季節の食材に触れる（畑活動含めて） ・クッキングの雰囲気を楽しむ（絵本、写真、参加、見る等） ・エプロン、口拭き（食器）の片づけ（個々の様子に応じて） ・食べ物の歌などを楽しむ ・野菜スタンプ ・行事食を見たり、季節の食材に触れる。 ・旬野菜に触れたり、感触遊びを通して食物に触れる。	・慣れ保育にて家庭での食事形態を聞き取る（食物確認表の確認） ・毎月献立表を確認してもらう ・食事の量を共有していく	4月　入園式 慣れ保育 誕生日会	1，2歳児の様子を見ながら一緒に楽しむ
4カ月	・離乳食を喜んで食べる ・手づかみで自ら食べようとする ・様々な食材や味・形状に慣れる ・水分をしっかりとる ・様子を見ながら完了食へ移行していく					5月	
5カ月						6月　ふれあい会	
6カ月						7月　七夕	
7カ月	・季節の食材、色々な味覚に親しめるようにする					8月	
8カ月						9月　秋（仮）	
9カ月	・食べたい物や好きな食べ物が増え楽しく食事をする					10月　ハロウィン	
10カ月						11月　焼き芋	
11カ月						12月　ウインターフェスタ 餅つき	
12カ月	・色々な食べ物に興味、関心を持ち、楽しい雰囲気の中で食事をする					1月	
1才1カ月						2月　節分	
1才2カ月						3月　ひな祭り	

10の姿
健康な心と体
自立心
協同性
道徳性・規範意識の芽生え
社会生活との関わり
思考力の芽生え
自然とのかかわり・生命尊重
数量・図形、文字等への関心、感覚
言葉による伝え合い
豊かな感性と表現

鶴ケ岡すまいる保育園2023年度食育計画(1,2歳児)

園長	副園長/主任	副主任	担当

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1.指針に基づく保育　2.人権尊重　3.適切な発達援助　4.家庭・地域との連携　5.保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む(体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子)		
2023年度の保育テーマ	主体的に関わる(①自然の中で思い切り遊ぶ。②多様性を認め、自他ともに大切にする。③自分で考え判断できる力を育む)　音を楽しむ(わらべ歌・歌・手遊び・リズム・楽器)		
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる		

	食育のねらい	畑活動	健康	人間関係	環境	言語	表現	保護者支援	地域連携	主な行事	10の姿
4月	・新しい環境や保育者に慣れ、見守られながら自分で食べようとする ・食材に触れる経験や体験を通して、五感の働きを豊かにする ・わくわく組の畑活動を観察して、野菜や畑活動への期待を高める ・食事を通して食材の硬さや食感の変化に気付き、よく噛むようにする	ほうれん草 青梗菜 大根・ニンジン	・よく噛んで食べる ・食前に手を洗う ・様々な食材、味に慣れる ・自ら収穫し、味わう ・十分に体を動かし空腹感を感じる。	・年間を通して「保育者や友達と一緒に楽しい雰囲気の中で食べる(クッキング含む)」 ①厨房の人との関わりを通し、食材、調理に興味を持つ ②他職種や地域の方との関わりの中で食材や環境に興味を持つ ・わくわく組と一緒にクッキング ・セルフおにぎり(2月から宙と一緒に) ・朝おやつの手伝い(12月ごろより)	水耕栽培・再生栽培 夏野菜の種まき ①季節の食材の下処理を手伝う ・キャベツ剥き(形、色、大きさの違いに気付く) ②楽しい雰囲気の中で食材に関わる ・米とぎ	年間を通して「食材名を知る。楽しい雰囲気の中で保育士と言葉のやりとりをする」 ①簡単な言葉で自身が感じたことを表現する。	年間を通して「おままごとを行い、身近な人の模倣をし、再現する」 ・野菜スタンプ	・食物確認表の確認、家庭での食事の様子の聞き取り(新入園児) ・お弁当のお願い ・試食会、食育だより	・散歩を通して農家さんに挨拶をして畑への興味を持つ	・入園式 ・お花見	健康な心と体 自立心
5月							・午前おやつの選択			・こどもの日 ・八十八夜(お茶)	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月		きゅうり収穫 ツルムラサキ					・食感、音を感じて楽しむ	・保育参加		・虫歯予防デー ・食育月間(埼玉の味を知ろう) ・ふれあい会	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・お友達や保育者と一緒に意欲的に楽しく食べる ・食前の手洗い、あいさつなど食生活に必要な手順を発達に応じて、身につけていく ・畑の活動を通して、夏野菜に興味を持ち、収穫した野菜を喜んで食べる	収穫			・畑(夏野菜) ①トウモロコシの皮むき	①色、大きさ、感触	①季節の食材に触れ、五感を豊かにする ①夏野菜を通して色や形、感触を知る(赤、緑、紫、大きい、小さい、とげとげ、つるつる等)	・朝食の大切さを知らせる	・流しそうめん交流 ・かき氷交流 ・すいか割り交流		自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月		収穫				①シロップの味、色 ①スイカの色、音				・すいか割り ・流しそうめん ・かき氷	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月		大根 ほうれん草			・サトイモ(芋名月) ②すすきを飾り、行事への興味関心を持つ ・りんごの食べ比べ		①さつまいも団子を作る中で感触やにおいを感じる			・十五夜 (お月見)	わらべうた
10月	・様々な食べ物に接する機会を持ち、楽しく食べる ・絵本やぬりえなどを通して畑の野菜や旬な食材に興味を持ち、様々な違いに気付く ・収穫した野菜などを様々な方法で楽しく食べる				・さつまいも掘り ①いも洗い、きのこの子房分け		・ぬりえを通し、行事へ興味を持つ(餅つき、世界の料理、節分、雛祭り)	・お弁当のお願い	・ハロウィン交流	・ハロウィン ・さつまいも掘り	・おべんとう箱の歌 ・野菜バリバリ元気っこ ・カレーライスの歌 ・パン屋さんにお買い物 ・野菜の歌 ・ピクニック ・フルーツパフェ
11月		収穫　収穫			・焼いも会を通して作り方や地域の方との交流を楽しむ ・みかん絞り	①温度や味を言葉にする	①いもの変化、焼けるにおいに気付く		・焼きいも交流	・焼きいも大会	
12月					・臼と杵の準備に参加する ・餅つき ①もち米とぎ		①もち米の形状の変化、蒸かしたにおい、お餅の感触		・餅つき交流	・ウインターフェスタ ・餅つき	
1月	・食事前後の身支度を自ら進んでしようとし、友達と楽しく、落ち着いて食事をする ・行事食を通して、日本の行事や食文化に触れる				・春の七草 (七草がゆ) ・冬野菜種まき	ごますり (プチプチするね) バナナをバターナイフで	①お餅に触れ、硬さに気付く ①冬野菜の色や形、感触を知る			・鏡開き ・年明けうどん ・世界、家庭の料理	
2月					・恵方巻、(豆)、鰯 ・方角を知る	わかめを戻す (形が変わったね)	①鰯のにおい ②みかんしぼり 匂い、味			・節分(恵方巻)	
3月					ちらし寿司 (にんじん型抜き) ・バイキングへ参加		・菱餅の色			・雛祭り ・お別れ会	

2023年度　鶴ケ岡すまいる保育園 食育計画　（3歳以上児）

園長	副園長/主任	副主任	担当

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1.指針に基づく保育　2.人権尊重　3.適切な発達援助　4.家庭・地域との連携　5.保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子）		
2023年度保育テーマ	主体的に関わる（①自然の中で思い切り遊ぶ。②多様性を認め、自他ともに大切にする。③自分で考え判断できる力を育む）　音を楽しむ(わらべ歌・歌・手遊び・リズム・楽器)		

食育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる										
食育のねらい	畑活動	健康	人間関係	環境	言語	表現	保護者支援	地域連携	主な行事	10の姿
4月	・保育者や友だちと一緒に楽しい雰囲気の中で食べる（クッキングを含む） ・自ら行いたい食育活動を選び、考えて実行してみよう ・畑活動を通して、野菜に対して興味をもつ	ほうれん草・きゅうり・とまと	・食事の前に手洗い、うがいをする。	ジャガイモを植える 畑活動について相談をする	水耕栽培 畑を作る 種から栽培 バケツ稲を作る（発泡スチロール）	会話を楽しみながら食事をする	土の感触、砂場、築山との違い	食育だより　弁当の日	つどいの広場での試食会	入園式	健康な心と体 自立心
5月		オクラ		野菜の種類を知る 水やり当番	苗の買い物 葉っぱの形の違い 大きさ、豆の数	お店屋さんとの言葉のやりとり （苗屋、お茶屋）	お茶の葉の匂い、色、作り方の違い 国旗を作る（描く）文化の違い	弁当の日 活動の可視化	夏野菜の苗の購入 （種七園芸） お茶の購入	八十八夜（茶） バス遠足	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月		さつまいも 収穫		野菜を作るという共通の目的にむけ試行錯誤する ジャガイモ堀り	埼玉県の市町村地図、自分が住んでいる場所 害虫について考える	畑や稲の様子を友だち同士伝え合う	fdfv	保育参加、懇談会		食育月間埼玉の味を食べよう 内科検診・歯科検診 大井祭り	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月			・力いっぱい体を動かし、空腹感を味わう	流しそうめんの準備 工夫、他児への思いやり	とうもろこしの皮むき 流しそうめん 食材の産地、県名、日本地図	絵本を通して名産や県名を知る	煙と臭い炭の色、炎の色、熱さ そうめんの水の量 野菜クイズ	流しそうめんへの、保護者参加	そうめんの購入 流しそうめん ボランティア	郷土料理を食べよう 七夕ウィーク	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月	・夏野菜の収穫を通し、食べる意欲をもつ ・夏の味、食材、行事を楽しむ	じゃがいも		かき氷の準備 工夫、他児への思いやり	夏野菜収穫 かき氷・スイカ割り 料理、食材の原産国 国旗、世界地図	看板つくり かき氷の話し合い	かき氷シロップの色、味		かき氷シロップの購入 （KASUMIスーパー）		言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月				共同の用具を大切に使う （包丁等）	種の大きさ、色の違い ピーマンの色の変化 カレー作り	苗屋さんとの言葉のやりとり	御萩（粒あん） さつまいも団子		冬野菜の種の購入 （種七園芸）	秋祭り お月見、お彼岸、バス遠足	3つの大好きを育む ▼体を使うのが大好きな子 ▼頭を使うのが大好きな子 ▼人と関わるのが大好きな子
10月	・世界食糧DAYから、食べ物の大切さを知る ・秋から冬の味、食材を味わいながら行事を楽しむ		・食材を前歯で噛み切る。食事の姿勢（両足がつく姿勢）	世界食料DAY 食の大切さに気付く （残食量の計測） 手洗いの大切さを知る	芋ほり、稲刈り 収穫祭 世界の食べ物	米屋さんとの言葉のやりとり	掘った芋の大きさ、形、重さ 紫玉葱の実験	弁当の日	米の購入	芋ほり・ハロウィン ・世界食糧DAY 世界手洗いDAY	
11月				焼き芋会の準備 工夫、他児への思いやり	たき火と安全	焼き芋屋さんのチケット作成	焚火の煙と臭い炭の色、炎の色、熱さ	焼き芋への　保護者参加	焼き芋 ウィークへの参加呼びかけ	焼き芋ウィーク	
12月			・3色食品群分類表で、食材の役割を知る	餅つき会を地域に案内する	米は炊く、もち米は蒸すの違いを知る	餅つき会の案内を作る	米と もち米 食感の違い		もち米購入 お餅つきへの参加	お餅つき クリスマス	わらべうた おべんとうばこのうた
1月	・行事を通して、その行事の内容と意味を知り、食文化への理解を深める ・食べ物や食べ物に関わった人々に感謝の気持ちをもつ			家庭の味があることを知り、それを作ったり食べたりする	七草の種類 料理、食材の原産国 国旗、世界地図	お節料理の意味（言葉からくるもの） 絵本やカードを通して国名や国旗を知る	国旗を作る（描く） 文化の違い			正月あそび・春の七草 世界の料理 家庭の味を食べよう	大きな栗の木の下 やきいもグーチーパー
2月			・食具の使い方を知り、身につける（調理器具に触れる）	料理を作り、人の役に立つ喜びを味わう	保存食（昔の知恵）、恵方巻	保存食の意味（お餅、干し芋）	今年の方角 鰯の匂い			伝統文化ウィーク クラス懇談会	カレーライスのうた やさいのうた
3月				共通の目的に向かって考えたり、工夫したりしながら調理を楽しむ	パン作り	絵本の中の料理	牡丹餅（こしあん） ひし餅の色			ひな祭り お楽しみ会	お正月 まめまき

2023年度　鶴ケ岡すまいる保育園　保健計画

年間目標：丈夫な身体づくりに向けた保育園での生活を送る

2022.2月更新（看護委員会作成）

月	保健目標	毎日・毎月・随時 ／看護分科会	子どもへの働きかけ ／保健行事	園内研修・職員周知	家庭・地域との連携	
					ほけんだより	保護者連絡・連携
4月	進級・入園に伴う 環境の変化に慣れる （生活リズムを整える ・園での生活に慣れる）	<毎日> ・視診（体調不良の早期発見） ・触診・検温 ・感染状況の把握・掲示 ・体調不良児、けが等の対応 ・医療棚・救急箱の整理/補充 ・内服状況の把握 <毎月> ・身体測定・記録 ・カウプ指数による発育確認 ・予防接種状況の把握・記録 ・保険証の期限チェック・管理 ・入園児の健康診断の結果 ・アレルギー疾患、 既往歴の把握 ・救急箱、預かり薬のチェック ・体温計の管理 ・安全WTへの参加 ・看護委員会 ・検便検査（職員） <随時> ・体調変化に伴う連絡・対応 （保護者連絡の目安・緊急時等） ・感染症の掲示、 コドモンでの配信 ・お散歩バック内 救急セット確認 ・健康診断の準備・結果配布 ・保険証・乳児医療受給者証 の期限確認・管理 ・嘔吐セットなどの備品管理 ・感染症発生時の対応・注意喚起	・入園時健康診断 <毎月> ・身体測定	・環境の変化に伴う事故発生に留意する ・戸外活動の注意点（熱中症・けが） <適時> ・新入園児のSIDS /SUDIの注意喚起 ・看護委員会からの連絡事項 ・感染症への注意喚起	・生活リズム（活動と休息） ・園での生活 ・清潔について（爪・頭髪） ・薄着の勧め ・靴の選び方 ・午睡の必要性 ・発熱時の対応（適時）	・家庭調査票の提出・確認・活用 <適時> ・体調変化に伴う連絡 （保護者連絡の目安・緊急時等） ・感染症の掲示、コドモンでの配信 ・予防接種状況把握 ・保険証・乳児医療受給者証の期限把握
5月	手洗いの大切さ 戸外で十分に遊ぶ		・熱中症対策 （帽子・水分補給等・暑さ指数の把握）			
6月	感染症に注意する 歯を大切にする		・内科健診 ・歯科健診 ・虫歯予防デー	・熱中症予防 ・虫刺され・イカリジン成分スプレー （11月まで）	・熱中症 ・虫歯予防 ・冷房使用について ・虫刺され（蚊）	・内科健診・歯科健診の結果・治療の案内
7月	暑さに負けず、 元気に過ごす		・皮膚疾患などの把握 ・水遊び時の注意事項 ・プライベートパーツ指導	・水遊びの注意（感染・事故）	・夏の感染症 ・皮膚の清潔	・夏の寝具・衣服の切り替え
8月					・夏を乗り切ろう ・夏の生活習慣	
9月	けがに気をつけて、 体を動かす			・緊急時の対応　（救命講習）	・虫刺され（蜂・毛虫） ・救急の日 ・生活リズム・感染症	・お弁当への注意（安全WT）
10月	体を動かすことを楽しむ		・内科健診 ・世界手洗いデー ・目の愛護デー ・手洗い指導	・空気清浄機点検・整備	・目の愛護デー ・予防接種 （日本脳炎・インフルエンザ） ・冬の服装（下着の着用）	・内科健診の結果・治療の案内 ・冬の寝具・衣類の切り替え
11月	薄着の習慣をつけ 丈夫な身体を作る		・咳エチケット指導	・インフルエンザの欠席について	・風邪予防 ・スキンケア ・鼻のかみ方・中耳炎	
12月	インフルエンザや 風邪の予防に努める				・インフルエンザ ・冬の感染症・予防	
1月	寒さに負けず外遊びを 楽しむ（体づくり）		・プライベートパーツ指導		・ノロウイルス・嘔吐の処理 ・丈夫な体を作る	
2月		・保健計画の評価・検討	・歯磨き指導		・冬のスキンケア	
3月	耳を大切にする 1年間の成長発達を確認する	・常備薬品の見直し・補充 ・医療用備品のチェック・補充		・空気清浄機点検・整備	・耳の日 ・進学に向けて ・花粉症	

2023年度

安　全　年　間　計　画

鶴ケ岡すまいる保育園

月	安全関係行事	子どもへの働きかけ	園内・園外研修、職員周知	保護者発信	環境
4月	避難訓練 散歩の日 ※毎月28日を散歩の日として戸外での緊急対応訓練を行う	・安全パトロール ・地震、火災が起こったら ・野外調理の安全 ・毒のある植物、生き物 ・遊具の安全な使い方 ≪5月頃≫ ・熱中症の危険 ・帽子の大切さ ・園外活動での蚊 ・水遊びのルール	・アレルギー既往歴の確認 ≪研修≫ ・SIDS　・誤飲・誤嚥　・個人情報 SNS ・アレルギー　・ハラスメント　・水の事故 ・バス乗車マニュアルの確認 ・虐待(保護者・不適切な保育) ※セルフチェック ≪5月ごろ≫ ・熱中症について ・虫の危機 蚊(デング熱など)、毛虫など ・蜂について　・水遊びについて	≪年間を通して≫ ・すまいるカードのお願い ≪毎月≫ 避難訓練時に災害伝言ダイヤルの周知 ≪11月≫ SIDS強化月間	≪4月≫ ・防犯設備の確認(セコム等) ≪5月頃≫ ・熱中症指数の掲示 ・虫よけの準備 ≪毎日行うこと≫ ・いのちのリスト ・ヒヤリハット ・気づきノート ・空気清浄機の使用 ≪毎月≫ ・避難訓練時に災害伝言ダイヤルの試験運用(15日の場合) ≪都度≫ ・嘔吐処理備品の確認 ≪防災訓練時6月・10月≫ ・防災設備の確認(通報装置等) ・非常食、防災備品の確認 ≪11月頃≫ ・加湿器の使用開始 (水抜きは毎日行う)
5月	避難訓練 散歩の日 子どもがいなくなった訓練				
6月	総合防災訓練 散歩の日				
7月	避難訓練 不審者対応訓練 (警察立ち合い)		≪6月～7月≫ ・普通救命講習 ・竜巻について ・大規模災害時のマニュアルの周知、確認		
8月	避難訓練				
9月	避難訓練 散歩の日				
10月	総合防災訓練 散歩の日	・野外調理の安全			
11月	避難訓練 散歩の日 子どもがいなくなった訓練	・衣服の安全、調整	・感染症について インフルエンザ、嘔吐処理 ・SIDS強化月間		
12月	避難訓練 散歩の日				
1月	避難訓練 散歩の日		・虐待について		
2月	避難訓練 散歩の日				
3月	避難訓練 散歩の日				

☆避難訓練・散歩の日については別途計画を作成

2023年度　自衛消防訓練計画

鶴ケ岡すまいる保育園

月　日	種別	発生場所	時間帯	避難場所	ねらい	内容
4/14 （金）	地震 初期消火	関東北部にて 震度３程度の 揺れ 厨房より出火	午前保育中 １０:00	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列	・避難訓練に慣れる ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・安全場所に避難し、保育士の指示に従う ・紙芝居などを用いて避難の意味を知る ・避難訓練の意味・意義を伝える ・緊急時の放送・合図の周知 ・保育士の所に集まる練習 ・防災頭巾、避難靴の着用 ・避難リュックの中の点検 ・消火器類の確認、初期消火 ・人数確認・報告
5/15 （月）	地震 初期消火 子どもがいなくなった際の訓練	関東南部にて 震度４程度の 揺れ 厨房より出火	午前保育中 １０：００	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・避難訓練に慣れる ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・室内の安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・落下物・転倒防止などの確認 ・避難口に移動、整列する ・初期消火
6/15 （木）	火災 初期消火 ※総合防災訓練 不審者対応訓練	厨房より出火	午前保育中 １０：００	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・火災の避難の仕方を知る ・非常階段での避難に慣れる（3,4,5歳） ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・室内の安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴を着用 ・避難口に移動、整列する ・園庭への速やかな避難 ・人数確認・報告 ・消火訓練、通報訓練 ・水消火器
7/14 （金）	地震 水遊び時の避難 初期消火 警察立ち合いのもと不審者訓練	関東北部にて 震度３程度の 揺れ 厨房より出火	午前保育中 １０：30	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・水遊び時の避難方法を知る ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・消火訓練
8/15 （火）	火災 初期消火	厨房より出火	午後保育中 １６：00	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・降園時の避難に慣れる ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・園庭への速やかな避難 ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・消火訓練
9/15 （金）	地震 初期消火	埼玉南部にて 震度４程度の 揺れ 事務所より出火	午前保育中 ９：１５	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・登園時の避難に慣れる ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・室内の安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・落下物・転倒防止などの確認 ・登園直後、午前おやつ中の避難 ・避難口に移動、整列する ・園庭に避難 ・初期消火
10/16 （月）	地震 初期消火 ※総合防災訓練	関東全域に 震度６程度 厨房より火災	午後保育中 １５：30	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・保育士の指示に従い、安全に避難する ・出火場所を考慮して安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる（人数の確認） ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火 ・通報訓練 ・水消火器
11/15 （水）	地震 初期消火 子どもがいなくなった際の訓練	関東北部で直下型地震発生 震度７程度 厨房より火災	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する ・出火場所を考慮して安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる（人数の確認） ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火
12/15 （金）	火災 (突風時の避難) 初期消火 不審者対応訓練	わくわく組 より出火	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する ・出火場所を考慮して安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる（人数の確認） ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火
1/16 （月）	地震 初期消火	埼玉県北部で 震度４程度 厨房より出火	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する ・出火場所を考慮して安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる（人数の確認） ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火
2/15 （木）	火災 初期消火 不審者訓練	にこにこ組 より出火	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する ・出火場所を考慮して安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる（人数の確認） ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火
3/15 （金）	地震 初期消火	埼玉県南部で 震度５程度 厨房より火災	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する ・出火場所を考慮して安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる（人数の確認） ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火

指導及び留意点

【職員の意思統一】
・非常災害対策責任分担表（火災予防の担当者、自衛消防隊編成組織表）を理解し、緊急事態発生に備えて確認をする。
・避難経路・消火器の設置場所・防災頭巾・避難靴・避難用持ち出し袋・避難時に持ち出さなくてはいけないもの・非常食の確認をする。
・地震、火災時の職員の対応の理解
・色々な災害発生場所を想定した避難経路の確認をとる。
・消火器の使い方の確認をする。（総合防災訓練時の水消火器訓練）
・災害伝言マニュアルの試験運用を行う。

【火災・地震訓練】
①生命の安全を第一に考え、全職員が避難誘導する。
②保育士自身が落ち着いて避難誘導する。
③各自の任務を声を掛け合いながら遂行する。
④火元の確認・火元から遠ざかる。
⑤日頃より避難経路の確認、確保(荷物等で塞いでしまう事のないように)をする。
⑥保育中に防災頭巾をかぶる練習をする。又、乳児は保育の中で慣れるよう配慮する。
⑦避難靴の有無、サイズの確認をする。
⑧乳児担任はおんぶの仕方（おんぶ紐の仕方）を練習する。
⑨日々、避難リュックの中身の確認をする（携帯電話、笛、救急薬品、ティシュ、タオル、児童名簿、筆記用具、着替え、オムツ、おしり拭き、雑巾、ビニール袋、オンブ紐など）
⑩避難車、乳母車のタイヤの亀裂・空気の確認をする。(命のリストで毎日確認)
⑪火災の時は窓を閉める。（延焼を防ぐ）
地震の際は出入り口を開ける。非常口の扉や通路扉も開ける。カーテンは下ろす。（避難経路の確保、窓ガラスの散乱防止）
⑫地震の際は振動がおさまるまで静かに待機する。
⑬落下物・転倒防止器具の確認をする。（室内外の整理整頓）
⑭日頃より園内外、公園での安全な場所の確認をする。
⑮個別支援の必要な子どもには保育者が付く。
⑯避難する際は出来るだけまとまり、安全に速やかに誘導する。（２次災害の防止）
⑰紙芝居や絵本などによる安全指導を適宜行う。

【人数確認・報告】
・毎朝の出席人数を正確に把握し、事務所に知らせ出席簿に記入する。
・避難訓練の際は、誘導後、防火管理責任者に正確な人数の確認・避難状況の報告をする。→内線による報告可
・分担表に基づき、トイレ・ホールなど各部屋に子どもがいないか確認をする。

【救命救急講習（予定）】
・職員の講習会とし、状況に応じた救命方法を理解できるようにする。
・人工呼吸、心臓マッサージなど救命救急の方法を理解する。

【不審者対応訓練】
・不審者と判断した場合の連絡方法を確認、把握をする。
・相手に刺激を与えないようにし、建物内に侵入させないよう時間をかせぐ。
・110番通報・セコム通報・保護者、地域、保育課への連絡

【消火訓練（初期消火）】
・まずは身の安全の確保をする。
・消火器の使い方を知る。
・火元の確認・把握をする。
・初期消火に向かう際は、必ず大声で周りに状況を伝え、応援を求める。
・ピンは火元から５m程の距離にて抜くようにする。（力が入ってしまい、一度レバーを握ってしまうと、消化液が止まらなくなるため）
・火元の手前から徐々に近づいていく。

【広域避難場所までの避難】
・鶴ケ丘小学校まで避難方法の周知。
・子どもの安全な誘導、職員の連携を取る。
・園からの持ち出し物資の確認をすることで、再度何を持ち出したらよいのか検討する。

【時間未設定での避難訓練】
・通常保育の中で、放送に指示に従い避難する。
・訓練時間、避難場所、避難方法に関しては、未設定とする。

鶴ケ岡すまいる保育園 散歩訓練計画

月	にこにこ	確認事項	わくわく	確認事項
4月	天候急変	・避難先の確認 ・事務所の対応確認	不審者	・合言葉で集まる。 (体操ゲームはじめるよ) ・事務所の対応確認
5月	子どもが動けない (散歩先で)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認	子どものけが (救急要請無)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認
6月	子どものけが	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認	天候急変	・避難先の確認 ・事務所の対応確認
7月				
8月				
9月				
10月	子どもが動けない (散歩先の途中で)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認	不審者	・合言葉で集まる。 (体操ゲームはじめるよ) ・事務所の対応確認
11月	不審者	・子どもたちを集めて不審者から遠ざける	子どもが動けない (散歩先で)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認
12月	行方不明 (散歩先で)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認	子どもの病気 (救急要請必要)	・救急要請の確認 ・園への連絡確認
1月	子どもの病気 (救急要請必要)	・救急要請の確認 ・園への連絡確認	不審者	・合言葉で集まる。 (体操ゲームしよう) ・事務所の対応確認
2月	不審者	・子どもたちを集めて不審者から遠ざける	行方不明 (散歩の途中で)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認
3月	指定なし		指定なし	

・毎月28日を「散歩の日」として、緊急時の訓練を行う。(天候等を考慮し、(28日前後に行う)
・散歩マップ(冊子)にある、緊急時対応マニュアルに沿って、動きを確認する。
・散歩マップは、随時更新されるものなので、気づいたことはその都度記録し、定期的に改定していく。

令和５年度事業計画

高階すまいる保育園

園長	主任	副主任	担任

2023年度　高階すまいる保育園　全体的な計画

保育指針のポイント1	環境を通しての教育・保育(豊かな遊びの展開)	保育指針のポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きなこども　　自分のことができるこども		
保育方針	1. 保育所保育指針を遵守する　2. 子どもの人権を守る　3. 発達を適切に援助する　4. 家庭・地域と連携する　5子育ての伴走者として保護者を支援する		
すまいる保育園の目標	自立心を育む3つの大好き　(体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子)		
2023年度の保育目標	①身近な地域や自然と関わり、周囲の物や人を大切にする気持ちを育む　②自身で考えて行動し、やり抜く力を育む　②コミュニケーション力や思いやりの心を育む ※保護者様アンケートより		

家族の状況及び保護者への支援・地域の実態との関わり	小学校との連携	主な行事
保護者参加の研修、電子連絡帳、コドモン、ポートフォリオ、園だより、保健便り、食育便り、ルクミー、保育参加、保護者懇談会、保護者とのワークショップ、園便りの地域回覧、HP、ブログ、行事の参加や招待、姉妹園交流、他園交流、一時保育預かり事業、つどいの広場	近隣小学校との交流、学校訪問、幼保小連携連絡会議、散歩時に校庭で遊ぶ機会、親子ふれあいフェスの会場(小学校体育館)、教員と保育士の情報交換、保育所児童保育要録の送付	入園式 親子ふれあいフェス 秋祭り ハロウィン ウインターフェスタ 卒園式

衛生・健康	安全対策	職員の資質向上
内科健診(2回)歯科健診(1回)、害虫駆除、歯磨指導、咀嚼・嚥下の指導、手洗指導、感染拡大防止策(毎日の消毒の徹底)、行政との連携、来園者の対応	毎月避難初期消火訓練、総合防災訓練(2回)、普通救命救急講習　引き取り訓練、いのちのリスト(職員による毎日の安全点検)、マニュアル・ガイダンスの活用、不審者訓練(警察指導)、子どもがいなくなった時の訓練、毎月28日は散歩の日	井上先生(環境)、富山先生(クオーレの日)、コドモンカレッジ研修、すまいる委員会・ワーキングチーム、園内研修・園外研修、GT・臨床育児研究会、Zoom研修の活用、キャリアアップ研修、自己評価(保育者の自己評価、園の自己評価)

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		1. 気付く力　2. 工夫する力　3. 取り組む力　(保育指針の5領域を通じて、非認知的能力と自己肯定感を育てる)							
保育目標		0歳児前半	0歳児後半	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
養護		・一人一人の子どもが快適に生活できるようにする　・ひとりひと健康で安全に生活できるようにする　・生理的欲求が十分満たされるようにする。							
養護	生命の保持	・授乳・睡眠・排泄など心地よく感じられるように関わり、生理的欲求を十分満たす。	・一人一人の生活リズムを大切にしつつ生理的欲求を十分満たす。	・応答的な関わりにより食事排泄などの活動を通して、自分でしようとする気持ちが芽生えるようにする。	・安全で快適な環境の中で、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを見守りながら援助をする。	・健康で安全な生活に必要な習慣が身につくように見守り、個々に応じて援助する。	・健康で安全な生活に必要な習慣に関心を持ち、自ら出来ることの喜びを感じられるように援助する。	・健康で安全な生活に必要な習慣を身に付け、自ら意欲的に行動できるようにする。	
養護	情緒の安定	・目を合わせ表情豊かに関わりながら、心地よく安心できる関係をつくっていく。	・要求や愛着行動をしっかりと受容し、安心して過ごせるようにする。	・言葉にならない行動の意味や気持ちを理解し、やり取りすることで安心して自分の気持ちを表すことができるようにする。	・自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちに共感し、自我の育ちを援助する。	・子どもの気持ちや考えを受け止め、自我の形成とともに、主体的に活動できるように援助する。	・一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信が持てるように見守り適切に働きかける。	・一人一人の子どもを主体として認め、肯定する気持ちを言葉や態度で伝え、自分への自信を獲得できるようにする。	
教育	健康	**心身の発達** ・健康な心と体を育てる。 ・のびのびと体を動かす。 ・食べることを楽しむ。十分に午睡をする。 ・身近な自然に触れる。		・簡単な身の回りのことに興味を持ち、遊びの中で十分体を動かしたり、戸外を歩いたりすることを楽しむ。 ・体幹や感覚遊びを楽しむ。	・身の回りの事を自分からしようとする。 ・全身を使って遊んだり、戸外を十分歩く。	・十分に体を動かしながら、様々な用具や遊具を使った遊びを楽しむ。 ・自分でできることは自分でしようとする。	・全身を使いながら、様々な遊具や用具で工夫して遊ぶ。 ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度に関心を持ち、身に付けようとする。	・目標をもって挑戦したり、あきらめずにやり通すことで達成感を味わい様々な生活や遊びに意欲的に取り組む。	健康な心と体 自立心
教育	人間関係	**社会的発達** 人と関わる力の基盤を培う ・身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 ・体の動き、表情、発声により気持ちを通わせようとする。 ・生活や遊びの中で、保育者や友達など身近な人との存在に気付く。 ・わらべ歌、ふれあい遊びを楽しむ。		・保育者を仲立ちとして、友達とのやり取りを楽しみながら関心を広げていく。	・友達と一緒に過ごす楽しさを知り、様々な遊びを通して友達との関わりを深めていく。	・友達と思いを伝え合ったり、関わりを深める中で、簡単なルールを守って遊ぼうとする。	・自分の意見を持ち、相手に伝える中で、相手の意見も聞いて受け入れる。 ・友達とイメージを共有し協力しながら遊ぶ。	・友達と思いを伝え合う中で、協力して物事をやり遂げる大切さや充実感を味わう。 ・地域の人など、自分の生活に関係の深い人々に親しみを持つ。	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
教育	言葉			・保育者の応答的な関わりや話しかけにより、言葉を理解し、自ら簡単な言葉を使おうとする。	・言葉への興味や関心を持ち、言葉のやりとりを楽しむ。 ・絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして遊ぶ。	・経験したことや感じたことを、自分なりの言葉で伝えようとする。 ・生活や遊びに必要な言葉が分かり、使おうとする。	・自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりして会話を楽しむ。 ・絵本や紙芝居などを通して、ストーリーや言葉の面白さに気付く。	・友達と考え言葉で伝え合い、相手の話を聞こうとする意欲や態度を身付け遊びを発展させる。	社会生活との関わり 思考力の芽生え
教育	環境	**精神的発達** ・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を持つ。 ・見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自ら関わろうとする。 ・表情や手足、体の動きなどで自分を表現する。 ・気に入った絵本を繰り返し保育者に読んでもらうことを喜ぶ。		・身近な自然に興味や関心を持ち、探索して遊ぶ。 ・身近な環境に親しみ、保育者と共に生活や遊びを楽しむ。	身近な自然や事象に興味や関心を広げる。 ・植物や生き物、土・水・泥などの自然物に興味を持ち、触れたり遊んだりすることを楽しむ。	・生活の中で、様々自然や事象に触れ、親しみを持って自分から関わろうとする。 ・身の回りの物の色・量・形などに関心を持ち、分けたり集めたりする。	・自然や身近な事物に興味を持ち工夫して生活や遊びに取り入れる。身の回りの物の色・量・形などに関心を持ち数えたり比べたりする。	・様々な事物や自然に主体的に関わり、試したり発見したりしながら、工夫して遊ぶ。 ・生活の中で物の性質や数量、図形、文字、時間などに関心を持ってかかわる。	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
教育	表現			・生活の中で、様々なものから刺激を受け、心行くまで関わることを楽しむ。 ・自分の気持ちを身振りや言葉で表現する。	・様々な事象や出来事を通して、イメージを豊かにする。 ・生活や遊びの中で、興味あることや経験したことを自分なりに表現する	・生活の中で、様々な音や色や形手触り、動きなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	・感じたことや、イメージしたものを、自分なりに工夫して作ろうとする。 ・書いたり、作ったりすることを楽しみ、遊びに使ったり飾ったりする。	・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。 綺麗なものや素晴らしいものに触れ、自分の表現に活かそうとする。	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
食育		空腹を感じて飲みたいだけのミルクを飲む	離乳を進める	楽しく食べる	食材に興味を持つ	・野菜の収穫に興味を持ち、食べる楽しみにつなげる	・食べ物や栄養に関して興味を持つ	・食べ物と体の健康との関係に興味を持つ	SDGs:持続可能な発展のための目標
ツール		発達確認(CCW・ポートフォリオ)、コドモンによる園からの情報発信、指導案、園バス、タブレット、Zoomによる会議の活用							

※ 7, 8, 9月は熱中症のリスクが高いため、子どもたちが室内遊びをいかに楽しめるかを考え、環境を工夫する

2023年度　高階すまいる保育計画（乳児用）

園長	主任	副主任	担任

保育指針ポイント1	環境を通しての教育・保育(豊かな遊びの展開)	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きなこども　　自分のことができるこども	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1. 保育所保育指針を遵守する　2. 子どもの人権を守る　3. 発達を適切に援助する　4. 家庭・地域と連携する　5子育ての伴走者として保護者を支援する		
すまいる保育園の目標	自立心を育む3つの大好き （体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子）		
クラスの年間目標	保育者との愛着関係を基盤として、生理的・情緒的な欲求が満たされることで安心して生活する		

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる			
		3か月～6か月未満	6か月～9か月未満	9か月～12か月未満	
養護と教育	健やかに伸び伸びと育つ	・オムツを替えることに慣れる ・3回寝になる ・抱かれたり体に触れられていると安心して眠る	・保育者とのふれあいを楽しみながら、オムツを替えてもらう ・オムツを外すと自分から足を上げる ・2回寝に移行する ・保育者がそばにいると安心して入眠する	・言葉をかけ、体に触れるとおしりや足を自分から上げる ・2回寝になる ・午前の睡眠時間が短くなる ・自分で食べるようとする意欲	**幼児期の終わりまで育ってほしい10の姿（保育所保育指針より）**
	身近な人と気持ちが通じ合う	・首がすわり、腹ばいにすると手を床に着けて、頭や肩を持ち上げる ・手に触れたものや自分の手を口にいれたり舐めたりする。 ・機嫌がよい時は盛んに喃語を発し、目が合うと自ら微笑みかける	・腹ばい、寝返り、おすわりなど活発に動く ・欲しいものに向かって、ハイハイをする ・親しい人と同じものを見て心を通わせ、応答的な関わりを楽しむ ・わらべ歌遊び、ふれあい遊びなどを通して、言葉や保育者との関わりを楽しむ	・はう、つかまり立ち、伝い歩きなど、移動運動が活発になる ・喃語を受け止めてもらい、保育者とのやりとりを楽しむ ・指差しで自分の要求や思いを訴える ・つまむ、叩く、引っ張るなど、手や指を使って楽しむ	健康な心と体 自立心 協同性
	身近なものと関わり感性が育つ	◆五感（触覚、味覚、嗅覚、視覚、聴覚）を刺激出来るように環境を整える ◆前庭覚、固有覚(感覚統合）の発達を意識した遊びの提供 室内：手押し車、操作できる玩具、人形、ボール、型はめ、ままごと、ブロック、積み木、絵本、粘土、クレヨン、筆、スポンジ、風船、墨、花紙、絵具 室外：コンビカー、バイク、シャボン玉、水風船 自然：日差し、光、影、風、雨、水、砂、土、石、草、花、虫、氷、雪、落ち葉、枝、どんぐり、松ぼっくり 食育：野菜、果物、魚			道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え
保育者の関わりと配慮		・落ち着いた雰囲気の中で、安心して過ごせるようにする ・睡眠中は事故のないようにこまめに観察する ・子どもの気持ちや要求に応じて、たくさん話しかけたりして、発語を促す ・特定の人との安定した関わりを持てるようにし、ふれあいを十分にする	・授乳や離乳食は一人ひとりの子どもの健康状態や食欲に応じてすすめる ・落ち着いた明るい表情で語りかけ、発語や喃語に応答する ・人見知りや甘えの感情が出てくるので、気持ちを受け止め、子どもの思いが十分に出せるように関わる ・形や大きさ、素材の違う様々な遊具を準備し、触ったり舐めたりする遊びを十分に楽しむ	・子どもが手づかみで食べられる食材を提供する ・言葉で知らせ、見通しを持たせる ・指先を使う玩具を用意し、手や指の動きを促す ・まわりの安全を確認し、探索活動が十分できるよう援助する ・わらべうたを通して情緒の安定を図る	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現

年間		保育のねらい	行事	保護者支援		保育のねらい	行事	保護者支援
	4月	保護者と一緒に保育者と関わり、新しい環境に慣れる 春の自然に触れる	入園式 慣れ保育	きめ細やかな連絡を取り合い、信頼関係を築く	10月	友達と手を繋いで散歩に行く 様々な香りを知る	ふれあい遊び会 ハロウィン 内科検診	相互理解
	5月	様々なものに興味を持ち、見つめたり、手に取ったり、口に入れたりする		薄着のお願い	11月	子ども同士のふれあいを経験する	焼き芋	
	6月	少しずつ水に慣れ親しむ	保育参加 懇談会 歯科健診、内科健診	保育の意図の説明、相互理解（懇談会）	12月	冬の自然に触れる	ウィンターフェスタ 餅つき	ウィンターフェスタへの参加の呼びかけ、相互理解
	7月	室内で十分に身体を動かす	七夕	夏の感染症の注意喚起	1月	日本の伝統文化に触れる	お正月 伝統文化	冬の感染症の注意喚起
	8月	様々な感触を楽しむ	夕涼み会	離乳食相談	2月	自分のことを自分でやってみようとする	節分 懇談会	
	9月	秋の自然に触れる	お月見	配慮が必要な家庭への支援	3月	進級に向けて	ひな祭り 卒園式	進級に向けての説明、相互理解

※ 7. 8. 9月は熱中症のリスクが高いため、子どもたちが室内遊びをいかに楽しめるかを考え環境を工夫する

園長	主任	副主任	担任

2023年度　高階すまいる保育園　保育計画（1、2歳児）

保育指針ポイント1	環境を通しての教育・保育(豊かな遊びの展開)	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きなこども　　自分のことができるこども	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1. 保育所保育指針を遵守する　2. 子どもの人権を守る　3. 発達を適切に援助する　4. 家庭・地域と連携する　5子育ての伴走者として保護者を支援する		
すまいる保育園の目標	自立心を育む3つの大好き （体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子）		
クラスの年間目標	①保育者との安定した関わりのもとで、自分でやりたいこと、楽しいことをみつけられる力を育む。 ②大好きな遊びをみつけて友だちとのやりとりを楽しむ。 ③身の回りのことを自分でしようとする。		

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる								
保育のねらい	健　康	健　康	人間関係	環　境	言　語	表　現	保護者支援	地域連携	主な行事	10の姿
4月	・好きな遊びを見つけて遊ぶ ・ゆったりとした雰囲気の中で安心して過ごす	いろいろな遊びの中で存分に体を動かす	友達と手をつなぐ	散歩 散歩先の公園の桜	絵本・紙芝居 言葉を繰り返す チューリップの歌	手遊び・ダンス 歌・楽器・わらべうた 様々な感触	家庭状況の把握	掲示による情報発信	入園式	健康な心と体 自立心
5月	・保育者に見守られながら、好きな遊びを楽しむ ・散歩や戸外遊びを楽しむ中で、草花や虫に触れたり春の自然に親しむ	水・絵の具遊び	異年齢、同年齢でかかわる	こいのぼり 風の強さ、向き	こいのぼりの歌		お弁当の依頼 内容・持ち物の説明	つどいの広場による地域連携	お弁当の日 こどもの日	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月	・梅雨の時期を快適に過ごしながら、季節の自然に興味や関心を持つ ・保育者に手伝ってもらいながら身の回りのことをする	簡単な身の回りのこと（手洗い）を行う	着替えや片付けを通して、保育者と関わる	雨の音、風	絵本や紙芝居のイメージをもって楽しむ かえるの歌	雨の音・雨だれの落ちる音の違いを感じる（トタン）	保育参加	園外保育による地域交流	総合防災訓練 保育参加 懇談会	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・保育者や友達と関わりながら、夏の遊びを楽しむ ・保育者や他児と一緒に水に親しみ、水遊びを楽しむ	衣類の着脱を自分でしようとする 体を拭こうとする		七夕の竹 笹の葉	七夕の歌	竹をたたく音 笹の葉の音	夏の感染症の注意喚起	地域の方から竹をいただく（伊佐沼より）	七夕 夕涼み会	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月	・土や水に触れながら全身を使って夏の遊びを楽しむ ・適切な休息をとりながら、暑い時期を健康で快適に過ごす	水分補給 落ち着いた雰囲気の中で休息をとる			海の歌	氷の冷たさに触れる	熱中症に関する注意喚起			言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月	・簡単な言葉で思いを伝える ・他児と一緒に体を動かし遊ぶことを楽しむ		地域の方との交流		どんぐりころころ	ごっこ遊び （むっくり熊さん） 保育者の真似をし体を動かす	生活移行について伝えていく	多世代交流 （敬老の日）	お月見	
10月	・行事を通して地域の方との交流を深める ・言葉を使って自分の要求を伝える	体を動かすことを楽しむ		イチョウ もみじ 葉の変化	トリックオア トリートの言葉 の響きや使う 楽しさ 虫の声	自分の好きな衣装をつくり、行事を楽しむ 自分のロッカーに口拭きを片付ける	お弁当の依頼	ハロウィン 総合防災訓練	ふれあい遊び会 ハロウィン	
11月	・秋の自然に触れる ・いろいろなイメージを持ちながら遊ぶ	秋の味覚の匂い 色、形		どんぐり 松ぼっくり 落ち葉 秋の味覚	厨房スタッフとコミュニケーションをとる まつぼっくりの歌	落ち葉を握る 感触、音		勤労感謝の日 秋の味覚	焼き芋	
12月	・秋から冬への季節の変化を感じる ・保育者や他児と簡単な言葉の模倣、やり取りを楽しむ	友だちや保護者と共に楽しい時間を過ごす	友だちとイメージを共有して遊ぶ		身近な仕事を知る（厨房見学） 経験したことを言葉で表現する クリスマスソング お正月の歌	マラカスや鈴で音を出すことを楽しむ さまざまな素材に触れ親子で製作を楽しむ	ウィンターフェスタへの参加		ウィンターフェスタ 餅つき	
1月	・簡単な身の周りのことを自分でしようとする ・雪遊びや冬遊びならではの遊びを楽しむ	氷の冷たさ、感触	地域の方との交流	霜柱・氷・雪	雪の歌	伝統遊びを楽しむ 自分のベストと帽子をかぶる	冬の感染症の注意喚起	伝統文化を伝える	お正月	
2月	・戸外、室内ともに全身を動かして遊ぶことを楽しむ ・少し先の見通しを持ちながら生活したり活動に参加したりする			おに探し	絵本や物語に親しみ、想像を膨らませる 鬼のパンツ 豆まき	絵本のイメージを持った遊びをする おにごっこ・かくれんぼ	懇談会にて来年度の備品や見通しを持った姿を伝える	伊佐沼（バス） ※虹	節分 懇談会	
3月	・気の合った他児と遊ぶことを楽しむ ・見立て遊びやごっこ遊びを通して、保育者や他児と言葉のやり取りを楽しむ			お雛様の衣装や色に興味をもつ	うれしいひなまつり			消防署見学 （バス）※虹	ひな祭り	

年間の環境	室内：操作出来る玩具、微細の玩具、人形、ボール、型はめ、ままごと、ブロック、積み木、粘土、のり、絵の具、シール、クレヨン、筆、画用紙、花紙、片栗粉、墨 室外：コンビカー、バイク、シャボン玉、水風船 自然：陽射し、光、影、風、水、砂、土、石、草、花、虫（ダンゴムシ、クワガタ、カブトムシ、コオロギ）、氷、枝

※ 7、8、9月は熱中症のリスクが高いため、子どもたちが室内遊びをいかに楽しめるかを考え環境を工夫する

園長	主任	副主任	担任

2023年度　高階すまいる保育園　保育計画（3歳以上児）

保育指針ポイント1	環境を通しての教育・保育(豊かな遊びの展開)	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きなこども　　自分のことができるこども	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1. 保育所保育指針を遵守する　2. 子どもの人権を守る　3. 発達を適切に援助する　4. 家庭・地域と連携する　5子育ての伴走者として保護者を支援する		
すまいる保育園の目標	自立心を育む3つの大好き（体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子）		
クラスの年間目標	①安心して生活し、いろいろな経験を遊びの中で表現しながら意欲的に楽しむ　②さまざまな活動の中で、仲間同士でいることの喜び、楽しさを味わう		
育みたい資質・能力の3つの柱	1. 気付く力　2. 工夫する力　3. 取り組む力　（保育指針の5領域を通じて、非認知的能力と自己肯定感を育てる）		

	保育のねらい	生命　情緒	健　康	人間関係	環　境	言　語	表　現	保護者支援	地域連携	主な行事
4月	・好きな遊びを見つけて、友だちや保育者と十分に楽しむ ・身近な春の自然に触れ興味をもつ	・一人ひとりに応じて適切に対応し、安定した生活を送る。 ・清潔で安全な環境を整える。 ・子どもの気持ち、欲求をしっかり受け止め、安定した信頼関係のもと安心して過ごす。	いろいろな遊びの中で存分に体を動かす 望ましい食習慣の形成	遊びの選択をする 自分で考え 自分で行動する	近隣公園の桜 足元の草花 野鳥、めだか 園庭、室内のロフト	朝の会や帰りの会で言葉による伝え合いを楽しむ 絵本や物語に親しむ	感動体験を増やす 身近な環境十分に関わる	子どもの日々の様子の伝達と共有	掲示板を活用した情報発信	入園式
5月	・好きな遊びを見つけ、さまざまに工夫し、集中して遊ぶ ・友だちとの関わりを広げ、一緒に楽しむことを知る		十分に体を動かす 気持ちよさを体験する	クラスの友だちとの関係を深める お当番活動を始める	プランターで草花や野菜を育てる 命の不思議さ ザリガニ釣り （伊佐沼）	苗購入の際のお店屋さんとの対話	野菜の花の色 葉っぱの形など 表現してみる	水遊びにおける準備 安全対策	花や夏野菜の苗の購入	お弁当の日
6月	・友だちと共通の目的をもって遊ぶことを喜び、十分に楽しむ ・季節の変化や特徴に気づき、興味や関心をもつ		手洗い・うがいの大切さを　知り自ら行う 暑さの中での遊び方を工夫する 親子で体を動かす気持ちよさを体験する	野菜を作るという共通の目的に向けて　試行錯誤する	梅雨の時期 幼虫やダンゴ虫 色水遊び	畑活動について気付きや発見を伝え合う	雨の中でも戸外で楽しめる工夫をする（コート製作）	親子ふれあいフェスへの参加 夏の感染症の注意喚起	嘱託医との連携	親子ふれあいフェス 総合防災訓練 （消防立ち合い） 内科健診 歯科健診
7月	・友だちと共通の目的をもって遊ぶ中で、自分の思ったことを相手に伝え、相手の思いにも気づく ・夏の遊びを存分に楽しむ	・子どもが先の見通しをもって主体的に活動できるよう、一日の流れを配慮する。 ・子どもの動線や視線に配慮した環境を整える。	熱中症について知る 夏の感染症について　知る	のこぎりなど共同の用具を使う （竹を切る）	ルールのある遊びを楽しむ	短冊にお願いを書く 文字で伝える楽しさ	七夕の物語を表現してみる	懇談会、保育参加 保育の意図の説明 相互理解	地域の方から竹をいただく	七夕 懇談会
8月	・友だちと共通の体験をすることで、イメージを共有しながらさまざまな遊びを楽しむ ・適切な休息や水分補給、着替えをして、健康に過ごす		夏野菜の収穫と調理　食べ物への 興味・関心	共通の目的の実現に向けて踊りの練習をする	ドングリの出来始め 色水あそび	踊りを通じて心を通わせる	音楽に親しみながら楽器に触れたり衣装を作ったりするなど楽しさを味わう	熱中症に関する注意喚起	行事、活動の写真掲示	普通救命講習
9月	・気づいたこと、感じた事などをさまざまな方法で表現して楽しむ ・身近な自然に親しみ、季節の変化に気づき、関心をもつ		親子で体を動かす 気持ちよさを体験する	高齢者をはじめ地域の人に親しみを持つ	形、大きさ 色水の色 公園のドングリ集め	図鑑を使って調べる 名前、重さ	感じたことや考えたことを音や動きで表現する	保護者と共に半年間の成長を喜ぶ	（多世代交流）	お月見
10月	・気づいたこと、感じた事などをさまざまな方法で表現して楽しむ ・身近な自然に親しみ、季節の変化に気づき、関心をもつ ・SDGs：持続可能な発展のための目標　No.2　飢餓をゼロに	・手洗い、うがい、衣服の調整など、その意味を理解し、自分でしようとする。 ・保育者との信頼関係を基盤に、自分の考えに自信をもってさまざまな活動に主体的に取り組む。	安全な生活に必要な習慣に気付く 食の大切さに気付く 手洗い・うがいの大切さを　知り自ら行う	ハロウィンで地域のお宅を訪問する 道徳性の芽生え	けやの森の林遊び 西中央公園のイチョウ　色、大きさ、量	トリックオアトリート言葉の響きや使う楽しさ	自分の好きな衣装を身に付け地域を回るさまざまな素材を工夫する	災害時の緊急連絡の確認	嘱託医との連携 消防署との連携 ハロウィンウィーク	秋祭り ハロウィン 総合防災訓練 内科検診
11月	・友だちと共通の目的をもって遊び、お互いの考えや思いを伝え合う経験を重ねていく ・季節の自然に触れ、遊びのなかに取り入れる		米の種類（産地） 買い物 炊飯を体験する 焼き芋の匂い、色、形を観察する	鶴ケ岡の焼き芋会に参加する	落ち葉、ドングリの根 生命の不思議さ	危険やルールについて伝え合う 観劇を通して、言葉の　やりとりを楽しむ	焚火の煙と臭い 炎の色、熱さを感じる	ウィンターフェスタへの企画相談 保護者との相互理解	勤労感謝（身近な仕事への参画） 焼き芋会	焼き芋会 観劇会（宙）
12月	・友だちと協力しながら活動に取組む充実感や満足感を味わう ・季節の行事や伝統文化に触れ。興味・関心を深める		友だちや保護者と共に時間を過ごすことの喜びを味わう	親子で製作を楽しむ 家族を大切に思う	枠の重さや臼の大きさに触れる	ペープサート人形劇 演じて遊ぶ	さまざまな素材を使い、工夫して遊ぶ	ウィンターフェスタへの参加 保護者との相互理解	お餅つき	ウィンターフェスタ お餅つき
1月	・自分のやりたいことに自信をもって意欲的に取り組む ・季節の行事に親しみ、その意味や由来に興味・関心をもつ	・生活の流れを見通し、手洗い、食事、排泄、着替えなどをすすんでしようとする。 ・進んで友だちを助けたり、助けてもらったりして、協力してようとする、また人の役に立つ喜びを感じる。	やりたいことに向かって頑張る	公共施設への訪問 規範意識の芽生え	正月あそび 伝統的な遊びに親しむ 園庭の霜と霜柱 自然の変化	正月遊びを楽しむ （かるた、すごろく）	正月遊びを楽しむ （こま回し、羽根つきなど） 十二支の折り紙	冬の感染症についての注意喚起	お正月 伝承遊び 書初め	伝承あそび 凧あげ
2月	・自分のやりたいことに自信をもって意欲的に取り組む ・冬にふさわしい生活の仕方を知り、健康に気をつけて生活する		節分の絵本を通し自ら生活に必要な習慣や態度を考える	節分という文化や伝統に親しむ 姉妹園交流	雪や霜柱といった冬の自然に触れ 不思議さを感じる	絵本や物語に親しみ、想像を巡らせたり、言葉のリズムを楽しむ	春の訪れを感じる （春一番の風の音 草木の新芽の色など）	懇談会への参加 保育所保育の意図 （価値）の相互理解	小学校訪問 幼保小連絡会	節分 懇談会
3月	・進級・就学への期待をもって生活する ・友だちと共通の目的をもって遊ぶ中で、お互いの考えや気持ちを伝え合い、自信や信頼感を高めていく。		交通安全の習慣を身につける（交通安全紙芝居） 歯磨き指導	共通の目的に向かって考えたり工夫したりする	ひな壇を飾る 伝統文化に触れる	お別れ会、卒園に向けてアイディアを出し合い表現する	卒園製作	感謝の気持ちを伝える 一年間の成長を喜び合う	歯磨き指導 紙芝居	ひな祭り 卒園遠足 卒園式

※　7, 8, 9月は熱中症のリスクが高いため、子どもたちが室内遊びをいかに楽しめるかを考え環境を工夫する

園長	主任	副主任	担当

2022年度　　高階すまいる保育園　　食育計画（乳児）

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育のテーマ	上半期：子ども自ら新しい環境に積極的にかかわる　下半期：子ども自ら周囲の子どもや大人とかかわりながら、様々な経験を積んでいく。
保育方針	1．指針に基づく保育　2．子どもの人権を守る　3．適切な発達援助　4．家庭・地域との連携　5．保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子）		

食育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる					
	食育のねらい	健やかに伸び伸びと育つ	身近な人と気持ちが通じ合う	身近なものと関わり感性が育つ	保護者支援	主な行事	10の姿
4月 5月 6月	・おなかがすき、ミルクを飲みたいときに飲みたいだけゆったりとした環境の中で安心して飲む。 ・離乳食を喜んで食べる。 ・一人ひとりの状態に合わせ、離乳を進める。	・一人ひとりのリズムに合わせたっぷりとミルクを飲む。 ・咀嚼の様子を観察し、適宜声をかけていく。 ・様々な食材をよく噛んで食べる。	・ゆったりと授乳が行えるようにする。 ・友だちや保育者の見守りの中で楽しく食事をする。	・食事の時の挨拶を見て真似をしようとする。 ・食に関する絵本の読み聞かせをして、食べ物への関心を高める。	・慣れ保育の期間に家庭での状況を聞き取る。（食物確認表の確認） ・家庭での離乳の進み具合など連携をとっていく。（食物確認表を毎月確認） ・個々の子どもの発育・発達状況を把握し、家庭と連携して個人差に配慮する。 ・朝食の大切さを伝えていく。	・入園式 ・慣れ保育	健康な心と体 自立心
						・夏野菜	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
						・内科検診 ・歯科検診	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月 8月 9月	・手づかみで自ら食べようとする。 ・様々な食材や味、形状に慣れる。 ・水分補給をしっかり行う。 ・いろいろな食べ物を見る、触る,味わうなどの体験を通して自分で進んで食べようとする。 ・様子を見ながら普通食(完了食)へ移行する。	・食べ物に興味を持ち、手を伸ばす。→　手づかみで食べようとする。 ・口をしっかり動かす。→よく噛んで食べる。 ・離乳食の量とミルクの量を調節していく。 ・水分補給をしっかり行う。	・おなかがすいたら泣く、または喃語によって、ミルクや食べ物を催促する。 ・個人差に応じて授乳を進めていく中で、様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。	・食べ物の玩具に興味を持ち、食事への関心を高める ・食事の挨拶を保育者と一緒にやってみる。 ・季節の野菜やわくわく組が収穫する野菜を見たり触れたりする。		・七夕 ・懇談会	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
						・夕涼み会	
						・お月見	
10月 11月 12月	・様々な食べ物に接する機会を持ち、楽しく食べる。 ・園の周りにある食物、身近な食べ物をしる。 ・丁寧に関わりながら、少しづつ歯ごたえのある食材を取り入れ、よく噛むことを身に着けていく。	・様々なものを食べてみようという意欲が育つ。 ・椅子に座る、口を動かす、手を動かす、身体の動きができるようになる。	・かぼちゃについて絵本を見たり、歌遊びを楽しんだり、大きなかぼちゃを、一緒に触って、季節の食材に触れる。	・ハロウィン行事に向けて、かぼちゃに触れたり、かぼちゃ料理を食べたりする。 ・厨房職員と一緒に配膳を通して、「ありがとう」の気持ちを伝える。		・触れ合い遊び会　・ハロウィン	
						・焼き芋会	
						・ウィンターフェスタ ・餅つき	
1月 2月 3月	・行事食を通して、日本の行事や、食文化に触れる。 ・食事前には、手を洗う事や、食後の口拭きなど、自分でやってみる。 ・みんなで食べる楽しさを知る。	・食具を持って、口まで運んで食べられるようになる。 ・食べ物の命に感謝し、様々な食に触れ、口を拭いたり、食器やタオル、エプロンを片づけるなど、自分でやってみようとする。 ・食事、睡眠などの生活のリズム感覚がめばえる。	・節分の行事に触れる。 ・「いただきます」「ごちそうさま」「モグモグ」「おいしいね」など、保育者と言葉を交わしながら食べる。 ・テーブルを囲んで友だちと一緒に食べる。	・落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする。 ・みかん、イワシなど、季節の食材の匂いや香りを感じる。		・お正月	
						・節分 ・懇談会	
						・ひなまつり	

2022年度　高階すまいる保育園　食育計画(1，2歳児)

園長	主任	副主任	担当

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育のテーマ	上半期：子ども自ら新しい環境に積極的にかかわる 下半期：子ども自ら周囲の子どもや大人と関わりながら、様々な経験を積んでいく。
保育方針	1. 指針に基づく保育　2. 子どもの人権を守る　3. 適切な発達援助　4. 家庭・地域との連携　5. 保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子）		
食育の目標・内容			
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる		

食育のねらい		健　康	人間関係	環　境	言　語	表　現	保護者支援	地域連携	主な行事	10の姿
4月	・新しい環境や保育者に慣れ、見守られながら自分で食べようとする。 ・保育園の周りにある野菜や食べられる植物に興味を持つ。 ・畑の野菜に興味を持ち、収穫した野菜を喜んで食べる。 ・もっとほしい、もういらないの意思表示ができる。	・よく噛んで食べる。 ・スプーンやフォークなどを使って、自分から意欲的に食べようとする。 ・食事の前に手を洗う（感染症の拡大対策）。 ・様々な食材、味に慣れる。 ・収穫したものを味わう。 ・十分に体を動かし空腹感を感じる。	・保育者や友だちと一緒に楽しく食べる。	・テーブルとイスの高さ ・スプーンを使って食べようとする	・食材の名前を知る ・簡単な言葉で味を表現する	・ままごとを楽しむ（年間を通して）	・食物確認表の確認、家庭での食事の様子の聞き取り(新入園児)	・掲示板の活用	・入園式	健康な心と体 自立心
5月					・食事の時の挨拶					協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月				・夏野菜の生長の様子 ・ジャガイモを洗う	・「おいしい、甘い、ほくほく」等の言葉	・ジャガイモの色や形、感触	・保育参加			社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・友達や保育者の見守りの中で、一緒に意欲的に楽しく食べる。 ・食前の手洗い、あいさつなど食生活に必要な手順を発達に応じて、身につけていく。 ・夏野菜に興味を持ち、収穫した野菜を喜んで食べる。			・スイカ ・ナス ・キュウリ	・色、大きさ、感触を表す言葉	・夏野菜の色や形、感触(赤、緑、紫、丸い、大きい、小さい、とげとげ、つるつる等)	・朝食の大切さを知らせる ・懇談会で子どもの姿を共有する		・七夕	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月				・ブロッコリー ・水栽培(さつま芋) ・氷	・冷たい感触「冷たい」	・野菜スタンプ			・夕涼み会	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月				・キノコに触れる ・稲穂と米		・粘土で団子つくり			・お月見	
10月	・様々な食べ物に接する機会を持ち、楽しく食べる。 ・畑の野菜や保育園の周りにある果物の木に興味を持ち、身近な食べ物を知る。 ・収穫した野菜などを様々な方法で楽しく食べる。 ・食べたい物、好きな物が増え、自分で進んで食べようとする。		・ハロウィン（交流）	・さつまいも洗い ・ゆず、ミカン、柿等、実のなる木への興味 さまざまな種類のカボチャに触れる	「にぎにぎ」		・弁当の日のお願い	・ハロウィンでお菓子をもらう	・ハロウィン ・触れ合い遊び会	
11月										
12月			・餅つき	・大根 ・もち米、餅 ・にんじん	・「ぺったん　ぺったん」	・もち米の変化、蒸かした匂い、餅の感触 ・野菜スタンプ		・餅つき	・ウインターフェスタ ・餅つき	
1月	・食前、食後の身支度を自ら進んでしようとし、友達と楽しく、落ち着いて食事をする。 ・行事食を通して、日本の行事や食文化に触れる。 ・食具を持っていない方の手で、ちゃわんを支えて食べる。		・七草	・春の七草（七草がゆ）		・餅の硬さに気づく ・冬野菜の色や形、感触			・鏡開き	
2月			・豆まき	・恵方巻、豆 イワシ		・イワシの匂い	・懇談会で一年の子どもの成長を喜び合う	・豆まき	・節分	
3月				・ひなあられ		・ひし餅の色			・桃の節句	

2022年度　高階すまいる保育園　食育計画　（3～5歳児）

園長	主任	副主任	担当

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育のテーマ	上半期：子ども自ら環境に積極的にかかわる 下半期：子ども自ら周囲の子どもや大人と関わりながら、様々な経験を積んでいく。
保育方針	1. 指針に基づく保育　2. 子どもの人権を守る　3. 適切な発達援助　4. 家庭・地域との連携　5. 保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を動かすことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子）		

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる							
食育のねらい	健　康	人間関係	環　境	言　語	表　現	保護者連携	地域連携	主な行事
4月 ・健康で安全な食生活に必要な基本的習慣や態度を身に付ける。 ・新しい環境の中で、友達と一緒に食べる楽しさを知る。 ・食物アレルギーについて知る。 ・三食食品群分類表で食材の役割を知る。	・食事の前に手洗い、うがいをする（新型コロナウィルス感染拡大対策）。 ・感染症拡大対策のためのテーブル配置を工夫する。 ・友達と楽しみながら食事をする。 ・野菜など、様々な食材に触れる。 ・戸外でたくさん遊び、空腹感を味わう。 ・食事の前の挨拶「いただきます」「ごちそうさま」 ・食具の使い方を知り、身に付ける。	自分の食べたい量を伝える（セミバイキング）	ランチルームでの食事に慣れる（月グループ）	会話を楽しむ メニューに興味をもつ	土の感触 種芋の形、色	食事の様子、食具の使い方などの確認	地域の方に畑を借りる	
5月		食事のマナー 友達と楽しく食事をする	夏野菜の苗を植える 葉っぱの感触、花の色	成長を伝え合う、発表する	夏野菜の生長の写真を撮る 絵を描いてみる	お弁当の日のお願い		お弁当
6月			じゃがいもを洗う じゃがいもの大きさ、形、重さ	成長を伝え合う、発表する 日本の郷土料理		フードドライブ （SDGs:飢餓をゼロに） 懇談会　保育参加		
7月 ・身近な自然に関わり、世話をしたりする中で、食材に対する感覚を豊かにする。 ・意欲的に様々な食材や食べ物に触れる。 ・自然の恵みとしての食材や食の循環に興味を持つ。		夏野菜の調理方法など、厨房の職員と話す。	夏野菜の収穫	夏野菜の調理法、味わい方など調べる		朝食の大切さを知らせる		七夕
8月		スーパーに米を買いに行く	洗米、炊飯をする 米の形、色	米の種類、名前を知る 産地、県名		家庭での米の種類や汁の具在などを調べる		夕涼み会
9月		給食メニューを厨房職員と相談する		給食のメニューを自分たちで考える 十五夜の由来を知る	献立をイラストにしてみる			月見 お彼岸（おはぎ）
10月 ・野菜の栽培を通して、植物が育つ環境に興味を持ち、命を大切にする心を持つ。 ・食べ物を作ってくれる人、調理してくれる人に感謝の気持ちを持つ。 ・行事食を通して、日本の伝統や食文化に触れ発見を楽しんだり、考えたりする。			月、宇宙、萩、牡丹 世界食糧DAY	残食の量の計測 （SDGs：飢餓をゼロに）		お弁当の日のお願い	ハロウィンのお菓子をもらう	ふれあい遊び会 ハロウィン
11月		焼き芋や干し柿の作り方を教えてもらう	焼き芋、干し芋 干し柿	世界の料理				焼き芋 お弁当
12月		餅をつく			鏡餅をつくる			餅つき ねぎ、大根 ウィンターフェスタ
1月 ・日々の食事やクッキングを通して、食材や調理の過程に興味を持つ。 ・食材の大切さを知り、すべての命に感謝の気持ちを持つ。		鏡開き （どのようにしたら割れるのか）	春の七草の種類 七草粥 おせち料理 うどん作り	春の七草	春の七草の手触り おせち料理 切り干し大根作り	フードドライブ （SDGs:飢餓をゼロに）		正月 春の七草 年明けうどん
2月			恵方巻（セレクトのり巻き） バレンタインクッキング	恵方巻の食べ方など	イワシの匂い	懇談会で一年の子どもの市長を喜び合う	豆まき	節分 バレンタイン
3月		牡丹餅づくり	ひな祭り行事食	あんこ、きな粉から好きなものを選ぶ				ひな祭り
幼児期の終わりまで身育ってほしい10の姿	健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然とのかかわり・生命尊重、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現					SDGsの取り組み　No.2飢餓をゼロに		

2023年度

安　全　年　間　計　画

高階すまいる保育園

月	安全関係行事	子どもへの働きかけ	園内・園外研修、職員周知	保護者発信	環境
4月	避難訓練 散歩の日 ※毎月28日を散歩の日として 戸外での緊急対応訓練を行う	・安全パトロール ・地震、火災が起こったら ・野外調理の安全性 （火の危険性） ・毒のある植物、生き物 ・遊具の安全な使い方 ≪5月頃≫ ・熱中症の危険 ・帽子の大切さ ・園外活動での蚊 ・水遊びのルール	・アレルギー既往歴の確認 ≪研修≫ ・SIDS　・誤飲、誤嚥　・個人情報、SNS ・アレルギー　・ハラスメント　・水の事故 ・バス乗車マニュアルの確認 ・虐待(保護者・不適切な保育) ※セルフチェック ≪5月ごろ≫ ・熱中症について ・虫の危機　蚊(デング熱など)、毛虫など ・蜂について　・水遊びについて ≪6月～7月≫ ・普通救命講習 ・竜巻について ・大規模災害時のマニュアルの周知、確認	≪年間を通して≫ ・すまいるカードのお願い ≪毎月≫ 避難訓練時に災害伝言ダイヤルの周知 （1日・15日） ≪毎日≫ ・お迎え時の注意喚起 ≪状況に応じて≫ ・安全Newsの発行 ≪11月≫ SIDS強化月間	≪4月≫ ・防犯設備の確認(セコム等) ≪5月頃≫ ・熱中症指数の掲示 ・虫よけの準備 ≪毎日行うこと≫ ・いのちのリスト ・ヒヤリハット ・気づきノート ・空気清浄機の使用 ・登園人数の園内放送 ≪毎月≫ ・避難訓練時に災害伝言ダイヤルの試験運用(15日の場合) ≪都度≫ ・嘔吐処理備品の確認 ≪防災訓練時6月・10月≫ ・防災設備の確認(通報装置等) ・非常食、防災備品の確認 ≪11月頃≫ ・加湿器の使用開始 (水抜きは毎日行う)
5月	避難訓練 散歩の日 子どもがいなくなった訓練 （室内）				
6月	総合防災訓練 散歩の日				
7月	避難訓練 不審者対応訓練 （警察立ち合い）				
8月	避難訓練				
9月	避難訓練 散歩の日				
10月	総合防災訓練 散歩の日	・野外調理の安全性 （火の危険性）			
11月	避難訓練 散歩の日 子どもがいなくなった訓練 （室内）	・衣服の安全、調整	・感染症について インフルエンザ、嘔吐処理 ・SIDS強化月間		
12月	散歩の日				
1月	避難訓練 散歩の日		・虐待について		
2月	避難訓練 散歩の日 不審者対応訓練				
3月	避難訓練 散歩の日				

☆避難訓練・散歩の日については別途計画を作成

令和5年度　　自衛消防訓練計画　　高階すまいる保育園

月　日	種別	発生場所	時間帯	避難場所	ねらい	内容	指導及び留意点
4月14日 （金）	地震 初期消火 年間指導 計画作成	関東北部にて 震度3程度の 揺れ	午前保育中 10:15	室内の安全な場所	・避難訓練に慣れる ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・安全場所に避難し、保育士の指示に従う ・紙芝居などを用いて避難の意味を知る ・避難訓練の意味・意義を伝える ・緊急時の放送・合図の周知 ・保育士の所に集まる練習 ・防災頭巾、避難靴の着用 ・避難リュックの中の点検 ・消火器類の確認、初期消火 ・人数確認・報告	【職員の意思統一】 ・非常災害対策責任分担表（火災予防の担当者、自衛消防隊編成組織表）を理解し、緊急事態発生に備えて確認をする。 ・避難経路・消火器の設置場所・防災頭巾・避難靴・避難用持ち出し袋・避難時に持ち出さなくてはいけないもの・非常食の確認をする。 ・地震、火災時の職員の対応の理解 ・色々な災害発生場所を想定した避難経路の確認をとる。 ・消火器の使い方の確認をする。（総合防災訓練時の水消火器訓練） 【火災・地震訓練】 ①生命の安全を第一に考え、全職員が避難誘導する。 ②保育士自身が落ち着いて避難誘導する。 ③各自の任務を声を掛け合いながら遂行する。 ④火元の確認・火元から遠ざかる。 ⑤日頃より避難経路の確認、確保（荷物等で塞いでしまう事のないように）をする。 ⑥保育中に防災頭巾をかぶる練習をする。又、乳児は保育の中で慣れるよう配慮する。 ⑦日々、避難靴の有無、サイズの確認をする。幼児は靴の履き方、整列の練習を保育の中で行う。 ⑧乳児担任はおんぶの仕方（おんぶ紐の仕方）を練習する。 ⑨日々、避難リュックの中身の確認をする（携帯電話、笛、救急薬品、ティシュ、タオル、児童名簿、筆記用具、着替え、オムツ、おしり拭き、雑巾、ビニール袋、オンブ紐など） ⑩避難車、乳母車のタイヤの亀裂・空気の確認をする。 ⑪火災の時は窓を閉める。（延焼を防ぐ） 地震の際は出入り口を開ける。非常口の扉や通路扉も開ける。カーテンは下ろす。（避難経路の確保、窓ガラスの散乱防止） ⑫地震の際は振動がおさまるまで静かに待機する。 ⑬落下物・転倒防止器具の確認をする。（室内外の整理整頓） ⑭日頃より園内外、公園での安全な場所の確認をする。 ⑮個別支援の必要な子どもには保育者が付く。 ⑯避難する際は出来るだけまとまり、安全に速やかに誘導する。 （2次災害の防止） 二次災害そのものを防ぐことは難しいが、二次災害に備えて被災を減らすことはできる。強い揺れによる建物の倒壊や火災旋風の発生、ライフラインの遮断に備え、防災意識を高め、冷静な判断ができるよう、力を養う。 【人数確認・報告】 ・毎朝の出席人数を正確に把握し、事務所に知らせ出席簿に記入する。 ・避難訓練の際は、誘導後、防火管理責任者に正確な人数の確認・避難状況の報告をする。一内線による報告可 ・分担表に基づき、廊下・トイレ・ホールなど各部屋に子どもがいないか確認をする。 【救命救急講習（予定）】 ・職員の講習会とし、状況に応じた救命方法を理解できるようにする。 ・人工呼吸、心臓マッサージなど救命救急の方法を理解する。 【消火訓練（初期消火）】 ・まずは身の安全の確保をする。 ・消火器の使い方を知る。 ・火元の確認・把握をする。 ・初期消火に向かう際は、必ず大声で周りに状況を伝え、応援を求める。 ・ピンは火元から5m程の距離にて抜くようにする。（力が入ってしまい、一度レバーを握ってしまうと、消化液が止まらなくなるため） ・火元の手前から徐々に近づいていく。 ・15秒以上は消火活動に「あたる。 【時間未設定での避難訓練】 ・通常保育の中で、放送に指示に従い避難する。 ・訓練時間、避難場所、避難方法に関しては、未設定とする。
5月15日 （月）	地震 初期消火 水遊び時の避難	関東南部にて 震度4程度の 揺れ	午前保育中 10:15	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列	・避難訓練に慣れる ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・室内の安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・落下物・転倒防止などの確認 ・避難口に移動、整列する ・初期消火	
6月15日 （木）	総合防災訓練 火災 初期消火	関東南部にて 震度4程度の 揺れ 厨房より出火	午前保育中 10:15	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・火災の避難の仕方を知る ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・室内の安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴を着用 ・避難口に移動、整列する ・園庭への速やかな避難 ・人数確認・報告 ・消火訓練、通報訓練 ・保育士の水消火器体験	
7月14日 （金）	地震 初期消火	関東北部にて 震度3程度の 揺れ	午前保育中 10:30	安全な場所 ↓ 待機	・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・消火訓練	
8月15日 （火）	火災 初期消火	厨房より出火	午後保育中 14:45	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・午睡明けの避難を知る ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・園庭への速やかな避難 ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・消火訓練	
9月15日 （金）	地震 初期消火	埼玉南部にて 震度4程度の 揺れ	午前保育中 9:30	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・登園時の避難に慣れる ・保育士の話を聞いて、安全に避難する	・室内の安全な場所に避難・保育士の指示に従う ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・落下物・転倒防止などの確認 ・登園直後、午前おやつ中の避難 ・避難口に移動、整列する ・園庭に避難 ・初期消火	
10月13日 （金）	総合防災訓練 地震 初期消火 伝言災害ダイヤル体験	関東全域に 震度6程度	午前保育中 10:30	室内の安全な場所 ↓ 各クラスの出入り口まで移動、整列 ↓ 園庭集合	・保育士の指示に従い、安全に避難する	・安全な場所に避難し、保育士の指示に従う ・園庭への速やかな避難 ・防災頭巾・避難靴の着用 ・人数確認・報告 ・消火訓練、通報訓練	
11月 予告なし	地震 初期消火	関東北部で直下型地震発生 震度7程度	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・防災頭巾・避難靴を着用 ・避難経路の確認 ・人数確認・報告 ・消火訓練、初期消火	
12月 予告なし	火災 初期消火	職員駐車場より出火	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する ・出火場所を考慮して安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる（人数の確認） ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火	
1月 予告なし	地震 初期消火	埼玉県北部で 震度4程度	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・防災頭巾・避難靴の着用 ・避難経路の確認 ・人数確認・報告 ・初期消火	
2月 予告なし	火災 初期消火	虹組保育室より出火	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる（人数の確認） ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火	
3月 予告なし	地震 初期消火	埼玉県南部で 震度5程度	時間未設定	放送の指示による	・保育士の指示に従い、安全に避難する	・保育士の指示に従い、避難する ・近くにいる保育士の所に集まる（人数の確認） ・防災頭巾・避難靴を着用 ・人数確認・報告 ・初期消火	

2023年度 高階すまいる保育園 散歩訓練計画

月	にこにこ	確認事項	わくわく	確認事項
4月	天候急変	・避難先の確認 ・事務所の対応確認	不審者	・合言葉で集まる。 (体操ゲームはじめるよ) ・事務所の対応確認
5月	子どもが動けない (散歩先で)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認	子どものけが (救急要請無)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認
6月	子どものけが	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認	天候急変	・避難先の確認 ・事務所の対応確認
7月 8月 9月				
10月	子どもが動けない (散歩先の途中で)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認	不審者	・合言葉で集まる。 (体操ゲームはじめるよ) ・事務所の対応確認
11月	不審者	・子どもたちを集めて不審者から遠ざける	子どもが動けない (散歩先で)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認
12月	行方不明 (散歩先で)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認	子どもの病気 (救急要請必要)	・救急要請の確認 ・園への連絡確認
1月	子どもの病気 (救急要請必要)	・救急要請の確認 ・園への連絡確認	不審者	・合言葉で集まる。 (体操ゲームしよう) ・事務所の対応確認
2月	不審者	・子どもたちを集めて不審者から遠ざける	行方不明 (散歩の途中で)	・園への連絡確認 ・事務所の対応確認
3月	指定なし		指定なし	

・毎月28日を「散歩の日」として、緊急時の訓練を行う。(天候等を考慮し、(28日前後に行う)
・散歩マップ(冊子)にある、緊急時対応マニュアルに沿って、動きを確認する。
・散歩マップは、随時更新されるものなので、気づいたことはその都度記録し、定期的に改定していく。

2023年度　高階すまいる保育園　保健計画

年間目標：丈夫な身体づくりに向けた保育園での生活を送る

2023.3月更新（看護委員会作成）

月	担当園	保健目標	毎日・毎月・随時 /看護委員会	子どもへの働きかけ ／保健行事	園内研修・職員周知	家庭・地域との連携 ほけんだより	家庭・地域との連携 保護者連絡・連携
4月	となり	進級・入園に伴う 環境の変化に慣れる （生活リズムを整える ・園での生活に慣れる）	<毎日> 保健日誌の活用 ・視診（体調不良の早期発見） ・触診・検温 ・感染状況の把握・掲示 ・体調不良児、けが等の対応 ・医療棚・救急箱の整理/補充 ・内服状況の把握　・消毒作業 <毎月> ・身体測定・記録（ccw） ・カウプ指数による発育確認 ・予防接種状況の把握・記録 （キッズリーでの集計） ・保険証の期限チェック・管理 ・入園児の健康診断の結果 ・アレルギー疾患、 既往歴の把握 ・救急箱、預かり薬・備品 のチェック ・安全WTへの参加 ・看護委員会 ・検便検査（職員） <随時> ・体調変化に伴う連絡・対応 （保護者連絡の目安・緊急時等） ・感染症の掲示、 コドモンでの配信 ・体温計の管理 ・お散歩バック内 救急セット確認 ・健康診断の準備・結果配布 ・保険証・乳児医療受給者証 の期限確認・管理 ・嘔吐セットなどの備品管理 ・アレルギー児の把握 <川越> 12月～3月　インフル報告 毎週月曜：保育課へ ・コロナ陽性報告（保育課）	・入園時健康診断 <毎月> ・身体測定	・環境の変化に伴う事故発生に留意する ・戸外活動の注意点 （熱中症・けが） <適時> ・新入園児のSIDS /SUDIの注意喚起 ・看護委員会からの連絡事項 ・感染症への注意喚起	:4月：園生活、熱後、感染症別紙配布 ・生活リズム（活動と休息） ・園での生活 ・清潔について（爪・頭髪） ・薄着の勧め ・靴の選び方 ・午睡の必要性（3歳未満） ・発熱時の対応（適時）	・家庭調査票の提出・確認・活用 ・基礎疾患、個別配慮、アレルギーなどの把握 <適時> ・体調変化に伴う連絡 （保護者連絡の目安・緊急時等） ・感染症の掲示、キッズリーでの配信 ・予防接種状況把握・CCW入力 ・保険証・乳児医療受給者証の期限把握 （全園児）
5月	伊佐沼	手洗いの大切さ 戸外で十分に遊ぶ		・熱中症対策 （帽子・水分補給等）			
6月	鶴ケ岡	感染症に注意する 歯を大切にする		・歯科健診 ・虫歯予防デー ・内科健診	・熱中症予防 ・虫刺され・アロマでの虫よけ対策 （11月まで）	・熱中症 ・虫歯予防 ・冷房使用について ・虫刺され（蚊）：アロマ虫よけ	・歯科健診の結果・治療の案内
7月	3丁目	暑さに負けず、 元気に過ごす		・皮膚疾患などの把握 ・水遊び時の注意事項 ・デリケートゾーン	・水遊びの注意 （感染・事故） ・水いぼ注意	・夏の感染症 ・皮膚の清潔	・内科健診の結果・治療の案内 ・夏の寝具・衣服の切り替え ＊適時、未受診者の通知
8月	高階					・夏を乗り切ろう ・夏の生活習慣	
9月	となり	けがに気をつけて、 体を動かす		・カミカミ献立咀嚼嚥下指導 （食育委員会と一緒に）	・緊急時の対応 （救命講習）	・虫刺され（蜂・毛虫） ・救急の日 ・生活リズム・感染症・発熱時の対応	・お弁当への注意（安全WT） ＊保険証・乳幼児受給者証　確認 （ひとり親世帯・国保）
10月	伊佐沼	体を動かすことを楽しむ		世界手洗いデー ・目の愛護デー ・手洗い指導・咳エチケット	・空気清浄機点検・整備	・目の愛護デー ・予防接種 （日本脳炎・インフルエンザ） ・冬の服装（下着の着用）	・冬の寝具・衣類の切り替え
11月	鶴ケ岡	薄着の習慣をつけ 丈夫な身体を作る		内科健診	インフルエンザの欠席について	・風邪予防 ・スキンケア ・鼻のかみ方・中耳炎	・内科健診の結果・治療の案内
12月	3丁目	インフルエンザや 風邪の予防に努める		歯みがき指導（3歳以上）		・インフルエンザ ・冬の感染症・予防 ・発熱時の対応	＊保険証・乳幼児受給者証　確認 （ひとり親世帯・国保）
1月	高階	寒さに負けず外遊びを 楽しむ（体づくり）				・ノロウイルス・嘔吐の処理 ・丈夫な体を作る	
2月	となり		・保健計画の評価・検討			・冬のスキンケア（しもやけ・乾燥）	
3月	伊佐沼	耳を大切にする 1年間の成長発達を確認 する	・常備薬品の見直し・補充 ・医療用備品のチェック・補充 ・身体測定グラフの配布 （全園児）		・空気清浄機点検・整備	・耳の日　・進学に向けて ・花粉症	＊保険証・乳幼児受給者証　確認 （卒園・退園児返却）

令和５年度事業計画

となりのすまいる保育園

園長	副園長/ 主任	副主任	担当

となりのすまいる保育園　2023年度全体的な計画

保育指針のポイント1	環境を通して行う	保育指針のポイント2	養護と教育の一体的展開		
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子				
保育方針	1．指針に基づく保育を行う　2．子どもの人権を守る　3．発達を適切に援助する 4．家庭・地域と連携をする　5．保護者の支援を行う				
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を動かすことが大好きな子　・　頭を使うことが大好きな子　・　人と関わることが大好きな子）				
家族の状況及び保護者への支援	地域の実態との関わり	環境設定	環境設定	小学校との連携	主な行事
連絡帳、キッズリー、ポートフォリオ、CCW、園だより、保健便り、食育便り、ルクミー保育参加、保護者懇談会、保護者会、すまいる[illegible]会、HP、ZOOM	園だよりの地域回覧、HP、行事への参加・招待、姉妹園交流、図書館、 老人福祉施設交流、卒園児招待、他園交流、福岡中学校との交流（すすき、どんぐり）	井上寿氏　ワークショップ 5領域、挑戦できる環境、自然との関わり	井上寿氏　ワークショップ 5領域、挑戦できる環境、自然との関わり	・学校見学 ・保育所児童保育要録の作成	入園式 夕涼み会 親子ふれあい遊び会 保育参加 ハロウィン ウインターフェスタ 伝承遊び 卒園式
衛生・健康	安全対策	職員の資質向上			
内科検診（2回）歯科健診（1回）害虫駆除、手洗指導、清掃	毎月避難訓練消火訓練、総合防災訓練（2回）すまいるカード確認、食事の見守り、 普通救命救急講習、ＳＩＤＳ、不審者対応、いのちのリスト、ﾏﾆｭｱﾙ・ｶﾞｲﾀﾞﾝｽの活用 感染症対策、手指消毒、清掃、玩具の消毒	[illegible]、CCW、 クオーレの日、園内研修・園外研修GT、臨床育児保育研究会、 キャリアアップ研修、加藤繁美氏勉強会 自己評価制度			

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		1．気付く力　2．工夫する力　3．楽しく頑張る力							
保育目標		0歳児		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
養護	生命の保持	・一人一人の子どもが快適に生活できるようにする　・ひとりひとり健康で安全に生活できるようにする　・生理的欲求が十分満たされるようにする。							
		・授乳・睡眠・排泄など心地よく感じられるように関わり、生理的欲求を十分満たす。	養護	[illegible]通して自分でしようとする気持ちが芽生えるようにする。 ・安全で快適な環境の中で、身の回りのことを自[illegible]	[illegible]通して自分でしようとする気持ちが芽生えるようにする。 ・安全で快適な環境の中で、身の回りのことを自[illegible]	[illegible]に見守り個々に応じて援助する。 ・一人一人の発達や生活リズムに合わせて食事・排泄・睡眠などの援助をしていく。	[illegible]に見守り個々に応じて援助する。 ・一人一人の発達や生活リズムに合わせて食事・排泄・睡眠などの援助をしていく。	[illegible]に見守り個々に応じて援助する。 ・一人一人の発達や生活リズムに合わせて食事・排泄・睡眠などの援助をしていく。	
	情緒の安定	・視線を合わせ表情豊かに関わりながら、心地よく安心できる関係をつくっていく		・言葉にならない行動の意味や気持ちを理解し、やり取りすることで安心して自分の気持ちを表すことができるようにする。 ・自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちに共感し、自我の育ちを援助する。	・言葉にならない行動の意味や気持ちを理解し、やり取りすることで安心して自分の気持ちを表すことができるようにする。 ・自己主張を受け止め、一人ひとりの気持ちに共感し、自我の育ちを援助する。	・一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに自分への自信が持てるように見守り適切に働きかける。 ・いつでも安心して休息できるスペースを確保し、心身の疲れを癒すことができるようにする。	・一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに自分への自信が持てるように見守り適切に働きかける。 ・いつでも安心して休息できるスペースを確保し、心身の疲れを癒すことができるようにする。	・一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに自分への自信が持てるように見守り適切に働きかける。 ・いつでも安心して休息できるスペースを確保し、心身の疲れを癒すことができるようにする。	
教育	健やかに伸び伸びと育つ	・ゆったりとした環境の中で、保育者や友達と一緒に過ごす。 ・自分でやりたいという気持ちを表す。 ・はう、立つ、歩くなど十分に体を動かす。	健康	・散歩など戸外で伸び伸び遊ぶ。 ・様々な動きを楽しむ。 ・様々な食品に触れるなど、食事を楽しむ。 ・衣服の着脱などを自分でしようとする。 ・進んで手洗いをするなど自分の健康に関心を持つ。 ・排泄への興味関心を持つ。	・散歩など戸外で伸び伸び遊ぶ。 ・様々な動きを楽しむ。 ・様々な食品に触れるなど、食事を楽しむ。 ・衣服の着脱などを自分でしようとする。 ・進んで手洗いをするなど自分の健康に関心を持つ。 ・排泄への興味関心を持つ。	・保育者や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。 ・戸外遊びなど、十分に体を動かして遊ぶ。 ・友達と食べることを楽しみ、食への興味や関心を広げる。 ・身の回りを清潔にする為に必要な活動をし、健康な生活リズムを身につける。 ・自分でできることを考え、自分で行動する。	・保育者や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。 ・戸外遊びなど、十分に体を動かして遊ぶ。 ・友達と食べることを楽しみ、食への興味や関心を広げる。 ・身の回りを清潔にする為に必要な活動をし、健康な生活リズムを身につける。 ・自分でできることを考え、自分で行動する。	・保育者や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。 ・戸外遊びなど、十分に体を動かして遊ぶ。 ・友達と食べることを楽しみ、食への興味や関心を広げる。 ・身の回りを清潔にする為に必要な活動をし、健康な生活リズムを身につける。 ・自分でできることを考え、自分で行動する。	健康な心と体 自立心
	身近な人と気持ちが通じ合う	・保育者や友達と一緒に遊ぶ。 ・優しい語りかけや、応答的な関わりにより言葉の理解や喃語の意欲が育まれる。 ・肌の触れ合い、わらべうたなどのスキンシップを通して、安定感をもって過ごす。	人間関係	・自分の思いや相手の気持ちに気付く。 ・異年齢の関りの中で真似をしたり、ごっこ遊びをする。 ・きまりがあることや大切さに気付く。 ・他児や身近な大人に興味を持ち、関わることを楽しむ。	・自分の思いや相手の気持ちに気付く。 ・異年齢の関りの中で真似をしたり、ごっこ遊びをする。 ・きまりがあることや大切さに気付く。 ・他児や身近な大人に興味を持ち、関わることを楽しむ。	・相手の思いに気付き、自分の思いを相手に伝える。 ・一緒に遊ぶなかで、共通の目的を持ち、工夫しながらやり遂げる。 ・決まりの大切さに気づき、守ろうとする。 ・共有の遊具や場所を大切にし、みんなで使う。	・相手の思いに気付き、自分の思いを相手に伝える。 ・一緒に遊ぶなかで、共通の目的を持ち、工夫しながらやり遂げる。 ・決まりの大切さに気づき、守ろうとする。 ・共有の遊具や場所を大切にし、みんなで使う。	・相手の思いに気付き、自分の思いを相手に伝える。 ・一緒に遊ぶなかで、共通の目的を持ち、工夫しながらやり遂げる。 ・決まりの大切さに気づき、守ろうとする。 ・共有の遊具や場所を大切にし、みんなで使う。	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
			環境	・季節ならではの現象に触れる。 ・形、色、大きさ、量などの性質に気付く。 ・自然物に触れ、感触や表現することを楽しむ。 ・生き物や玩具など身近なものを大切にする。 ・五感を使い、様々なものに触れる。	・季節ならではの現象に触れる。 ・形、色、大きさ、量などの性質に気付く。 ・自然物に触れ、感触や表現することを楽しむ。 ・生き物や玩具など身近なものを大切にする。 ・五感を使い、様々なものに触れる。	・自然に触れ、美しさや不思議さに気付く。 ・様々なものに触れ、性質や仕組みに興味を持つ。 ・季節を知り、その生活や変化に気付く。 ・身近な動植物に親しみを持ち、生命の尊さに気付き、大切にする。 ・文化や伝統、行事に触れ、親しみを持つ。	・自然に触れ、美しさや不思議さに気付く。 ・様々なものに触れ、性質や仕組みに興味を持つ。 ・季節を知り、その生活や変化に気付く。 ・身近な動植物に親しみを持ち、生命の尊さに気付き、大切にする。 ・文化や伝統、行事に触れ、親しみを持つ。	・自然に触れ、美しさや不思議さに気付く。 ・様々なものに触れ、性質や仕組みに興味を持つ。 ・季節を知り、その生活や変化に気付く。 ・身近な動植物に親しみを持ち、生命の尊さに気付き、大切にする。 ・文化や伝統、行事に触れ、親しみを持つ。	社会生活との関わり 思考力の芽生え
	身近なものと関わり感性が育つ	・身近な玩具や絵本に対する興味や関心を持つ。 ・生活の中で様々な物に触れる。 ・歌やリズムに合わせて、手足や体を動かす。 ・音や匂いに興味を持ち、五感を働かせる。	言葉	・自ら挨拶をするなど、言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵本や手遊び、言葉遊びに興味を持つ。 ・自分の思いを言葉で伝える。	・自ら挨拶をするなど、言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵本や手遊び、言葉遊びに興味を持つ。 ・自分の思いを言葉で伝える。	・自分が経験したことを、自分なりの言葉で表現する。 ・相手の話を注意して聞く。また、して欲しいこと、困っていることを言葉で伝える。 ・親しみを持ち、日常のあいさつをする。 ・オノマトペなど言葉の面白さに気付く。 ・文字などを使い、伝える楽しさを味わう。	・自分が経験したことを、自分なりの言葉で表現する。 ・相手の話を注意して聞く。また、して欲しいこと、困っていることを言葉で伝える。 ・親しみを持ち、日常のあいさつをする。 ・オノマトペなど言葉の面白さに気付く。 ・文字などを使い、伝える楽しさを味わう。	・自分が経験したことを、自分なりの言葉で表現する。 ・相手の話を注意して聞く。また、して欲しいこと、困っていることを言葉で伝える。 ・親しみを持ち、日常のあいさつをする。 ・オノマトペなど言葉の面白さに気付く。 ・文字などを使い、伝える楽しさを味わう。	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
			表現	・日常の生活を通して、イメージが豊かになる。 ・季節の歌や興味のある歌に親しむ。 ・体操や音楽、リズム遊びを一緒に楽しむ。 ・自分のイメージを製作等で表し、また遊びに取り入れる。	・日常の生活を通して、イメージが豊かになる。 ・季節の歌や興味のある歌に親しむ。 ・体操や音楽、リズム遊びを一緒に楽しむ。 ・自分のイメージを製作等で表し、また遊びに取り入れる。	・形、色、音、手触り、匂いなど五感で感じることを楽しむ。 ・様々な出来事に触れ、感動を伝え合ったり、イメージを豊かにしたりする。 ・感じたことを音や動きで表現する。 ・様々なもので作ることを楽しみ、作ったものを遊びに使う。	・形、色、音、手触り、匂いなど五感で感じることを楽しむ。 ・様々な出来事に触れ、感動を伝え合ったり、イメージを豊かにしたりする。 ・感じたことを音や動きで表現する。 ・様々なもので作ることを楽しみ、作ったものを遊びに使う。	・形、色、音、手触り、匂いなど五感で感じることを楽しむ。 ・様々な出来事に触れ、感動を伝え合ったり、イメージを豊かにしたりする。 ・感じたことを音や動きで表現する。 ・様々なもので作ることを楽しみ、作ったものを遊びに使う。	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
食育		離乳食を保育者から食べる	食育	食べることを楽しみ、食に興味を持つ。	食べることを楽しみ、食に興味を持つ。	・食への興味を広げ、理解を深めることで作ることや食べることに喜びを持つ。	・食への興味を広げ、理解を深めることで作ることや食べることに喜びを持つ。	・食への興味を広げ、理解を深めることで作ることや食べることに喜びを持つ。	

となりのすまいる保育園 2023年度保育計画（乳児用）

園長	副園長/主任	副主任	担当

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1.指針に基づく保育　2.人権尊重　3.適切な発達援助　4.家庭・地域との連携　5.保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子）		
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる		

保育のねらい		健やかに伸び伸びと育つ	身近な人と気持ちが通じ合う	身近なものと関わり感性が育つ	保護者支援	主な行事	10の姿
4月							健康な心と体
							自立心
5月							協同性
							道徳性・規範意識の芽生え
6月							社会生活との関わり
							思考力の芽生え
7月							自然とのかかわり・生命尊重
							数量・図形、文字等への関心、感覚
8月							言葉による伝え合い
							豊かな感性と表現
9月							
10月							
11月							
12月							
1月							
2月							
3月							

※途中入園の子に対しては月齢によりさかのぼってねらいを立てる

園長	副園長/主任	副主任	担任

2023年度　となりのすまいる保育園 保育計画（1、2歳児）

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1.指針に基づく保育　2.人権尊重　3.適切な発達援助　4.家庭・地域との連携　5.保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子）		
令和3年度の保育テーマ	①自分で考え行動し表現する（挑戦と継続）②思いやり、通じ合う心を持つ　③自然と関わる		
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる		

保育のねらい		健康	人間関係	環境	言語	表現	保護者支援	地域連携	主な行事	10の姿
4月	・好きな遊びを見つけて楽しむ ・（新入園児）テラスや室内でゆっくりと過ごし。安心して保育園での生活に慣れていく	【年間を通しての活動】 ・園回りを歩く ・公園で走る、固定遊具等で遊ぶ ・三輪車やストライダーなどの遊具で体のバランスを整える。 ・鉄棒、平均台、太鼓橋などの運動遊具 ・野菜の栽培を通して食べ物への興味関心を持つ ・散歩 （・三丁目公園・電車公園・中央公園）	【年間を通しての活動】 ・保育者とのかかわり 気持ちを受け止めてもらう 手伝い わらべうた ・友だちとの関わり ままごと 見てまねる 同じ遊びをしようとする お店屋さんごっこ	【年間を通しての活動】 ・季節を感じる（草花、自然現象） ・テラス ・桜（お花見） ・身近な昆虫探し ・夏野菜の苗をプランターに植える ・こいのぼり	【年間を通して】 ・挨拶 ・ものの名前、保育者や友達の名前を知り、言葉で表す。	【年間を通して】 ・泥、砂、水などの感触 ・絵の具、クレヨンなどで様々な表現 ・様々な素材に触れ表現する	家庭状況の把握 遊びの説明（服の汚れ等）	地域への挨拶	入園式	健康な心と体 自立心
5月	・保育者に見守られながら、さまざまに工夫し集中して遊ぶ ・草花や昆虫などに触れ、自然に親しむ	・微細遊び ・ロフトに登る ・水遊び ・水遊びからさまざまな玩具や素材を使用し、工夫して遊ぶ	・地域の方との関わり あいさつ ・集団遊び	・雨の中の活動 ・カタツムリ、ザリガニ、バッタ、かえる、ダンゴムシ ・あじさい ・シャボン玉	・絵本、紙芝居、パネルシアター、ペープサートなど ・保育者や他児との言葉での伝え合い ・感じたことを言葉にする ・身近な音を言葉で表現する	・様々な素材に触れ表現する ・手遊び、歌、ダンス、リズム遊び ・音遊び ・雨の中での遊び ・染紙 ・鳴子をならす	新型コロナウイルス感染症についての注意喚起 レインコートの依頼	夏野菜の苗の購入	子どもの日	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月	・梅雨の時期を快適に過ごしながら自然に興味関心をもつ ・保育者等に手伝ってもらいながら身の回りの事を行っていく			・笹の葉 ・氷遊び、色水遊び ・水遊び（水車、ミストなど） ・泥遊び ・水槽の生き物 ・育てた野菜を収穫する	・様々な経験の中で語彙数を増やす。（言葉で表現する）	・ボディペインティング 色水 ・夏野菜スタンプ	保育参加	消防署との連携	内科検診 歯科検診 総合防災訓練 保育参加 クラス懇談会	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・保育者や他児と関わりながら、水遊びなどの夏の遊びを存分に楽しむ						保育参加 水遊びにおける準備、安全対策		七夕	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月	・適切な休息や水分補給、着替えをして、健康に過ごす ・全身を使って外・室内での遊びを楽しむ	・親子で体を動かすことを楽しむ					保育参加 夏の感染症の注意喚起 家庭休みの理解を促す ふれあい遊び会への参加		上福岡七夕祭り	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月	・気づいたこと、感じたことなどを簡単な言葉で表現して楽しむ ・他児と一緒に遊びを楽しむ					・自然物を使った製作・ （どんぐり、落ち葉、、松ぼっくり等） ・好きな衣装を作る （切る、貼る等）	保育参加	敬老の日 お月見		
10月	・行事などを通して地域の方との交流を深める ・自分の思いや気持を相手に伝えようとする	・（ハロウィンで地域を訪問）	（・ハロウィンで地域の方との関わり）	・トンボ ・落ち葉、どんぐり、松ぼっくり ・雲の形	・「トリックオアトリート」など言葉の響きを楽しむ ・地域の人に挨拶をしたり、やり取りをする。		保育参加 災害時の緊急連絡の確認	ハロウィン	ハロウィン 親子ふれあい遊び会	
11月	・考えや思いを伝え合う経験を重ねていく ・季節の自然に触れ、遊びのなかに取り入れる		・親子で同じ遊びを楽しむ				保育参加 焼き芋会への参加 ベストなどの準備の依頼 冬の感染症の注意喚起	焼き芋会	焼き芋会	
12月	・保育者や他児と挨拶などの簡単な言葉の模倣や、やり取りを楽しむ	・氷作り ・雪遊び		・クリスマス製作		・クリスマス製作（オーナメントなど） ・ウインターフェスタでの製作等 ・ダンスを楽しむ	ウィンターフェスタへの参加 保護者との相互理解		ウィンターフェスタ お餅つき	
1月	・身の回りの事を自分でしようとする ・雪・氷などを使った遊びを通して冬の自然に親しむ	・お正月遊び（たこあげ、こまなど） ・着替えや排泄等、身の回りのことを意欲的に取り組む		・正月遊びを楽しむ（凧、コマ、福笑い） ・氷作り ・霜、霜柱、氷 ・雪が降ったら雪遊び ・節分 ・お雛様 ・春を感じる（風の変化、暖かさを感じる）	・お正月の挨拶	・お正月遊び（福笑い、等）		伝統文化ウィークリー	正月あそび	
2月	・戸外・室内共に全身を使って遊ぶことを楽しむ ・少し先の見通しを持ちながら生活したり遊んだりする	・鬼探し	進級を通して、わくわくさんに興味をもって遊んだり、新しい友達の存在を知る		豆まき（鬼は外、福は内）	節分の鬼製作	懇談会にて来年の備品や見通しを持った 姿を伝える		クラス懇談会 節分	
3月	・気の合った他児と遊ぶことを楽しむ ・見立て遊びやごっこ遊びをして、保育者や他児と言葉のやり取りを楽しむ					・ひな祭り製作	一年間の成長を喜び合う		ひな祭り	

※新型コロナウイルス感染症の感染状況による

2023年度　となりのすまいる保育園 保育計画（3歳以上児）

園長	副園長/主任	副主任	担任

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子	保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1.指針に基づく保育　2.人権尊重　3.適切な発達援助　4.家庭・地域との連携　5.保護者支援		
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子、頭を使うことが大好きな子、人と関わることが大好きな子）		
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる		

	保育のねらい	健康	人間関係	環境	言語	表現	保護者支援	地域連携	主な行事	10の姿
4月	・好きな遊びを見つけて、友だちや保育者と十分に楽しむ ・身近な春の自然に触れ興味をもつ	・いろいろな遊びの中で存分に体を動かす ・園での食事の流れを知る	新しい出会いに興味を持つ	足元の草花、桜等 自然に気づく	朝の会や帰りの会の中で言葉による伝え合いを楽しむ 絵本や物語に親しむ	身近な環境十分に関わる	子どもの日々の様子の伝達と収集	地域の公園での交流	入園式	健康な心と体 自立心
5月	・好きな遊びを見つけ、さまざまに工夫し、集中して遊ぶ ・友だちとの関わりを広げ、一緒に楽しむことを知る	食べ物について興味を持つ 熱中症について知る	共通の目的の実現に向けて取り組む	自ら遊ぶ環境を考えてみる	話し合い等で自らの意見を伝えてみる	水遊び 玩具等を工夫する	連休中の様子の伝え合い	夏野菜の苗の購入	子どもの日	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月	・友だちと共通の目的をもって遊ぶことを十分に楽しむ ・季節の変化や特徴に気づき、興味や関心をもつ	自分の健康に関心をもつ	友だちと共通の目的に向けて試行錯誤する	梅雨の時期 水遊びを楽しむ	気付きや 発見を伝え合う	雨の中でも戸外で楽しめる工夫をする（コート製作）	懇談会、保育参加 保育の意図の説明	嘱託医との連携 消防署との連携	クラス懇談会 内科、歯科検診 総合防災訓練 バス	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・友だちと共通の目的をもって遊ぶ中で、自分の思ったことを相手に伝え、相手の思いにも気づく ・夏の遊びを存分に楽しむ	十分に体を動かす気持ちよさを体験する 夏の感染症について知る	共同の用具を皆で使う	さまざまな生き物と触れ合う	短冊にお願いを書く	絵本や見たものの表現をしてみる	水遊びにおける準備 安全対策	七夕	七夕 かき氷	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月	・友だちと共通の体験をすることで、イメージを共有しながらさまざまな遊びを楽しむ ・適切な休息や水分補給、着替えをして、健康に過ごす	夏野菜の収穫と調理食べ物への興味・関心	共通の体験を通して 思いを共有する	とんぼ、くわがた等に触れる 色水あそび	自分の意見を文字に表す	興味のある音楽に合わせて踊る	夏の感染症の注意喚起		（上福岡七夕祭り）	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月	・気づいたこと、感じたこと等を色々な方法で表現して楽しむ ・身近な自然に親しみ、季節の変化に気づき、関心をもつ	親子で体を動かす気持ちよさを体験する	高齢者をはじめ地域の人に親しみを持つ （近隣施設訪問）	各公園のドングリ集め ひまわり、朝顔の種	図鑑を使って調べる 名前、重さ	感じたことや考えたことを音や動きで表現する（体操、サーキット）	ふれあい遊び会への参加 保護者との相互理解	冬野菜の種購入	お月見	3つの大好きを育む ▼体を使うのが大好きな子 ▼頭を使うのが大好きな子 ▼人と関わるのが大好きな子
10月	・気づいたこと、感じたことなどをさまざまな方法で表現して楽しむ ・身近な自然に親しみ、季節の変化に気づき、関心をもつ	安全な生活に必要な習慣に気付く、食の大切さに気付く	ハロウィンで地域のお宅を訪問する	イチョウ　色、大きさ、量など 季節の変化に気付く	トリックオアトリート 言葉の響きや使う楽しさ	自分の好きな衣装を、身に付け地域を回る、さまざまな素材を、工夫する	災害時の緊急連絡の確認	嘱託医との連携消防署との連携、ハロウィン動画、図書館へいこう	ハロウィン 総合防災訓練 触れ合い遊び会 内科検診	
11月	・友だちと共通の目的をもって遊び、お互いの考えや思いを伝え合う経験を重ねていく ・季節の自然に触れ、遊びのなかに取り入れる	米の種類,産地,買い物, 炊飯 焼き芋の,匂い,色,形	焼き芋会を地域に案内する 一緒に活動し愛情や信頼をもつ	落ち葉、ドングリの根 生命の不思議さを感じる	危険やルールについて伝え合う	焚火の煙と臭い、炎の色、熱さを感じる	焼き芋会への参加 遠足への参加	勤労感謝ウィーク ごみ収集車 焼き芋会	焼き芋	
12月	・友だちと協力しながら活動に取組む充実感や満足感を味わう ・季節の行事や伝統文化に触れ。興味・関心を深める	友だちや保護者と共に時間を過ごすことの喜びを味わう	親子で製作を楽しむ 家族を大切に思う	寒さや氷などの冷たさを感じる	季節の絵本などから 自ら表現する	子ども達によるファッションショー さまざまな素材を使い、衣装を発展させる	ウィンターフェスタへの参加 保護者との相互理解	お餅つき	ウィンターフェスタ お餅つき	
1月	・自分のやりたいことに自信をもって意欲的に取り組む ・季節の行事に親しみ、その意味や由来に興味・関心をもつ	正月遊びを通して体を動かす やりたいことに向かって頑張る	友だちの姿や頑張る姿に 気付き、応援する	正月あそび 伝統的な遊びに親しむ 園庭の霜と霜柱 自然の変化	正月遊びを楽しむ （かるた、すごろく）	正月遊びを楽しむ （独楽回し、羽根つきなど） 名人認定証の発行	冬の感染症についての注意喚起	お正月　伝承遊び会 書初め	伝承あそび会、凧あげ	
2月	・自分のやりたいことに自信をもって意欲的に取り組む ・冬にふさわしい生活の仕方を知り、健康に気をつけて生活する	節分の絵本を通し 自ら生活に必要な　習 慣や態度を考える	節分という文化や伝統に親しむ 姉妹園交流	雪などの冬ならではの 天候を楽しむ	絵本や物語に親しみ、想像を巡らせたり、言葉のリズムを楽しむ	春の訪れを感じる （春一番の風の音 草木の新芽の色など）	懇談会への参加、保育所保育の意図の相互理解		節分 クラス懇談会	
3月	・進級への期待をもって生活する ・友だちと共通の目的をもって遊ぶ中で、お互いの考えや気持ちを伝え合い、自信や信頼感を高めていく。	交通安全の習慣を身につける （交通安全紙芝居）	共通の目的に向かって考えたり、工夫したりする	ひな壇を飾る伝統文化に触れる	進級することや新しい友だちが来ることからプレゼント等話し合いながら表現する	感謝の言葉や思い出を形にする	成長展 一年間の成長を喜び合う		ひな祭り、卒園式	

2023年度　食育計画（乳児用）

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開	
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子		保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1. 指針に基づく保育　2. 人権尊重　3. 適切な発達援助　4. 家庭・地域との連携　5. 保護者支援			
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子ども・頭を使うことが大好きな子ども・人と関わることが大好きな子ども）			

食育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱		気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる						
食育のねらい		健やかに伸び伸びと育つ	身近な人と気持ちが通じ合う	身近なものと関わり感性が育つ	保護者支援	主な行事	実際の活動	10の姿
4月 5月 6月	・少しずつ新しい環境に慣れていく ・保育者との愛着関係をはぐくむ ・お腹が空き、食事を食べ、午睡するリズムに慣れていく	安心した中で授乳や食事をする 空腹感を感じ、離乳食を食べる	自分の欲求を保育者に受け止めてもらう 言葉をかけながら食事をする 落ち着いた環境の中で、ゆっくり食事をする	新しい環境に少しずつ慣れる 季節の食材や行事食に触れる コップから水分を取ってみる	・慣れ保育中、家庭での様子を聞きながら、連携が大切と伝えていく(※修正月齢に注意して補完食を進めていく) ・食物確認表 ・食べた事のない食材は、家庭で2回以上食べてから ・献立表の食材確認をするように伝える ・朝食の大切さを伝えていく ・栄養士、保育者、保護者の三者で面談をしながら、補完食を進めていく ・懇談会で午後食試食	入園式 慣れ保育 お誕生日のリクエスト食材 子どもの日 懇談会	・タケノコ、アスパラに触る。	健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月 8月 9月	・日中の活動で体を十分に動かし、お腹が空き、食事を食べる、ミルクを飲む ・色々な食材そのものの味や舌ざわりを楽しむ ・食べ物の食感や感触を楽しむ	日中の活動を楽しむ 一定のリズムでお腹が空くように整えていく 食べ物を手でつかみ、口元に運ぶ	あいさつを保育者と一緒にしてみる 食材の名前などを聞く	さまざまな食材に触れてみる 色々な食材を口に入れてみる		七夕 夕涼み会 上福岡七夕まつり 三丁目夏祭り 十五夜	・おやつの野菜をすりつぶして食べる。 ・氷に触れる ・きゅうり、とうもろこし、いんげんに触る ・わくわくで一緒に金魚ゼリーを食べる	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
10月 11月 12月	・旬の食べものなどに接する機会を持ち、楽しく食べる ・一人ひとりの発達に応じて、少しづつ歯ごたえのある食材を取り入れ、よくかむことを身につけていく ・手づかみをしたり、食具を使って、意欲的に食事をする	様々なものを食べてみようという意欲を持つ 自分の食べたいものを指差ししてみる	一人ひとりの発達に応じて食材の固さなどを選ぶ 友だちや一緒に食べる人の姿に気づく	手づかみ食べから一口量を知る 前歯でかじりとる経験をしてみる		十三夜 ハロウィン 勤労感謝の日 ウインターフェスタ 冬至、クリスマス	・数人ずつでテーブルを囲み、ゆったりとした環境で食事をする。 ・ ・栗、みかん、ブロッコリー、カリフラワーに触る。	★アレルギー対応 ・個々のアレルギーの状況を指示書、医師の診断書をもとに把握し、全職員共通認識その他アレルギー食提供までの手順に沿って配膳していく
1月 2月 3月	・行事食を通して、日本の行事や、食文化に触れる ・食事の前には、手を洗うことや、食後の口拭きなど、自分でやってみる ・みんなで食べる楽しさを知る	自分の汚れを自ら拭こうとする 色々な食べ物に挑戦する エプロン、口拭きを自分のカゴに片付ける	保育者や友だちと一緒に楽しい雰囲気の中で食事をする 友だちと簡単なやりとりを楽しむ	行事などの食文化に触れる 食具の使い方に慣れる		お正月 伝承遊びウイークリー 七草 焼き芋会 節分 懇談会 ひな祭り	・おやつと同じ野菜の調理前を実際に触る ・かぶ、ブロッコリー、にんじん等冬野菜に触ったり匂いをかいだり、重さを感じる	

2023年度食育計画（1、2、3歳児）

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開	
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子		保育目標	生きる力の基礎を育む
保育方針	1. 指針に基づく保育　2. 人権尊重　3. 適切な発達援助　4. 家庭・地域との連携　5. 保護者支援			
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を使うことが大好きな子ども・頭を使うことが大好きな子ども・人と関わることが大好きな子ども）			
食育の目標・内容	楽しく食べる			
育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる			

	食育のねらい	健　康	人間関係	環　境	言　語	表　現	活動	地域・保護者連携	主な行事	10の姿
4月	・園での生活リズムに少しずつ慣れていく ・園での食事や色々な食材に慣れていく	水分補給　手洗い ・姿勢をち整える ・様々な食材や味になれる	・保育者と情緒の安定を図る	・プランターでの栽培を行ってみる ・自らのペースで食事を行う ・近隣のお店に行ってみる	通年を通して食事の挨拶 ・食材の名前を知る ・行事食を通して日本の文化を知る	・食材の違いを感じる	4月）・スナップえんどう筋取り 5月）八十八夜（緑茶ウィーク）そら豆のさやむき、ごぼうを洗おう、筍むきと筍御飯、朝顔、ひまわりの種まき 6月）インゲンの種まき 7月）きゅうりのこぶ和え作り、とうもろこしの皮むき、インゲンの収穫し茹でて食べる、流し人参 8月）金魚すくいゼリー 9月）、アイスを作って食べるさつま芋でクッキング、 10月）セルフおにぎり（月1回行っていく）、ハロウィンで南瓜を触って見て食べる、しめじの子房分け、柿を見て触る栗ご飯を作り食べる、じゃが芋を植える 11月）みかんを向いて食べる、レンコンに触って見る 12月）冬至南瓜、柚を見て触る、じゃが芋の収穫茹でて食べる 1月）おせち、七草、鏡開き、 2月）節分、白菜はがし、いろいろなみかんの食べ比べ 3月）ひな祭り、花野菜を見て触って食べる	・近隣の方へ入園のお知らせをする ・慣れ保育中、食事の様子を見てもらう ・献立表、食材の確認、連携 ・近隣の店に行ってみる ・連休中の様子、疲れ具合等連携 ・懇談会での午後食試食	入園式 慣れ保育 お誕生日のリクエスト食材	健康な心と体 自立心
5月									子どもの日	協同性 道徳性・規範意識の芽生え
6月									懇談会	社会生活との関わり 思考力の芽生え
7月	・日中の活動で身体を十分に動かし、自ら進んで食事を食べる ・さまざまな食材に触れる	・十分に体を動かし、空腹を感じる ・水分補給をこまめに行う	・食材の名前や料理の名前を知る	・季節の食材に触れる ・口拭きなど身の回りを整える	・野菜の特徴に気づく ・行事食を通して日本の文化を知る	・クッキングを通して様々な道具を使ってみる		・地域の方との交流 ・夕涼み会に招待 ・近隣の店に行ってみる ・水遊びに伴って朝食の大切さを伝える ・虹グループ月1回のお弁当（子どもが食べやすいお弁当を伝える） お弁当ではアレルギーに気を付ける	七夕 夕涼み会	自然とのかかわり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心、感覚
8月									上福岡七夕まつり 三丁目夏祭り	言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
9月									十五夜	
10月	・散歩先の実のなる木や身近な食べ物を知る ・食器の片付けを少しずつ自分たちでやってみようとする	・季節の食材を食べてみる	・姉妹園や様々な方と触れ合ってみる	・普段お世話になっている方に感謝の気持ちを持つ ・冬野菜を育ててみる	・ありがとうを伝えてみる ・行事食を通して日本の文化を知る	・食材を使って、制作等を行ってみる		・3園合同ふれあい遊び会 ・ハロウィンを通して地域の方と子どもたちとのやり取りを楽しめるるようにする ・近隣の店などに「ありがとう」の気持ちを伝える ・ウインターフェスタに招待する	ふれあい遊び会 十三夜 ハロウィン	★アレルギー対応 ・個々のアレルギーの状況を指示書、医師の診断書をもとに把握し、全職員共通認識その他アレルギー食提供までの手順に沿って配膳していく
11月									勤労感謝の日	
12月									ウインターフェスタ 冬至、クリスマス	
1月	・季節を感じながら食事をする ・行事食を通して、日本の伝統的な食事に触れる	・日本の伝統的な行事食を食べてみる	・友だちと食事を楽しむ	・様々な感触を楽しむ	行事食を通して日本の文化を知る	・様々な感触に触れてみる		・伝承遊びウイークリー ・地域の方と焼き芋会 ・豆まき交流 ・懇談会で午後食試食	お正月・七草 伝承ウィーク 焼き芋会	
2月									節分 懇談会	
3月									ひな祭り	

2023年度　食育計画　　（3～5歳児）

園長	主任	副主任	担当

保育指針ポイント1	環境を通して行う	保育指針ポイント2	養護と教育の一体的展開	
保育理念	自分のことが好きな子　自分のことが出来る子		保育のテーマ	自然に驚き 自然に学び 自然に感謝する
保育方針	1. 指針に基づく保育　2. 人権尊重　3. 適切な発達援助　4. 家庭・地域との連携　5. 保護者支援			
すまいる保育園の目標	自立心を育む（体を動かすことが大好きな子・頭を使うことが大好きな子・人とかかわることが大好きな子）			

保育の目標・内容

育みたい資質・能力の3つの柱	気付く力を育てる・工夫する力を育てる・楽しく頑張る力を育てる							
食育のねらい	健　康	人間関係	環　境	言　語	表　現	保護者支援	地域連携	主な行事
4月 ・健康で安全な食生活に必要な基本的習慣や態度を身に付ける。 ・新しい環境の中で、友達と一緒に食べる楽しさを知る。 ・食物アレルギーについて知る。 ・三食食品群分類表で食材の役割を知る。	・食事の前に手洗い、うがいをする。 ・友達と楽しみながら食事をする。 ・収穫した野菜など、様々な食材に触れる。 ・クッキングの身支度をする。 ・戸外でたくさん遊び、空腹感を味わう。 ・食事の前の挨拶「いただきます」「ごちそうさま」 ・食具の使い方を知り、身に付ける。	食事のマナー 友達と楽しく食事をする 火起こし、副菜、午後食作り	じゃがいも（種芋）を植える	会話を楽しむ ちらし寿司の具材を自分たちで選んでたべる	土の感触 種芋の形、色	お弁当の日のお願い クッキング（エプロン、マスクなどのお願	畑	すいか 種まき とん汁 お弁当クッキング
5月		協力してリヤカーを引く 八十八夜の由来を知り お茶を飲み比べる	玉ねぎの収穫 （数、重さの比較）	お店屋さん（文字、言葉のやり取り、伝え方）	玉ねぎの形、色			玉ねぎ収穫 バーベキュー かぼちゃ種まき
6月		竹をもらいにいく 田植えの仕方を教えてもらう	じゃがいもの収穫 竹の収穫 田植え	手紙を書く 自分たちで育てたい野菜の種を買いに行く	じゃがいもの大きさ お米の苗 コロッケ作り		伊佐沼の新井さんにお礼の手紙	じゃがいも収穫 田植え 竹 和菓子の日 クッキング
7月 ・身近な自然に関わり、世話をしたりする中で、食材に対する感覚を豊かにする。・意欲的に様々な食材や食べ物に触れる。 ・自然の恵みとしての食材や食の循環に興味を持つ。		竹で流しそうめん （アレルギー対応あり）	にんじん、大根の再生野菜	手紙を書く お店屋さん（玉ねぎ、じゃが芋）	野菜の再生、変化 園庭で豚汁作り（食材を包丁で切る）		竹のお礼の手紙	再生野菜 七夕 きゅうり種まき すいか収穫
8月		かき氷屋さん 売り手、買い手のやり取り	氷、水	看板づくり	氷、シロップの色、味 マクワウリ・すいかのシャーベット作り			かき氷屋さん きゅうり収穫 かぼちゃ収穫
9月		友達とクッキングをする	月、宇宙、萩、牡丹	クッキング 十五夜の由来を知る	クッキング			月見 お彼岸（おはぎ）
10月 ・野菜の栽培を通して、植物が育つ環境に興味を持ち、命を大切にする心を持つ。 ・食べ物を作ってくれる人、調理してくれる人に感謝の気持ちを持つ。 ・行事食を通して、日本の伝統や食文化に触れ発見を楽しんだり、考えたりする。		さつまいもを掘る 大きさを比べる ハロウィンで地域を回る	さつまいもの収穫 ハロウィンの由来 かぼちゃのマッシュ	さつまいもをどうするのか子ども同士相談 お店屋さん（柿）	さつま芋コロッケ 園庭できのこご飯、さつま芋と栗のご飯、 かぼちゃのクッキー作り	ドキドキデー さつまいも掘り	お礼の手紙	芋ほり、大相 ハロウィン お弁当クッキング
11月		焼き芋、火起こし	三上さん宅柿の収穫 火、さつまいも 米の収穫	手紙を書く	手紙、塗り絵 麩菓子作り（白砂糖と黒砂糖の違いを知る	お弁当の日のお願い	焼き芋大会のお誘い 柿のお礼	焼き芋 新嘗祭
12月		餅をつく	米、もち米 ねぎ、大根の収穫	お店屋さん（文字、言葉のやり取り、伝え方） 年賀状 菓子屋横丁で買い物	手紙、塗り絵 鏡餅作り、だし汁の飲み比べ、たくわん作り		お誘い お礼の手紙	餅つき ねぎ、大根
1月 ・日々の食事やクッキングを通して、食材や調理の過程に興味を持つ。 ・食材の大切さを知り、すべての命に感謝の気持ちを持つ。		鏡開き （どのようにしたら割れるのか）	春の七草の種類 七草粥 おせち料理	春の七草 もち米のシューマイ作り たくわんのお焼き	春の七草の手触り おせち料理 切り干し大根作り 餅と白菜のチヂミ作り			正月 春の七草
2月		クッキー作り	恵方巻（セレクトのり巻き） バレンタインクッキング	恵方巻の食べ方など	クッキーづくり（型） チョコレート作り		お誘い	節分 バレンタイン
3月		牡丹餅づくり	ひな祭り行事食	あんこ、きな粉から好きなものを選ぶ	クッキング リクエスト作り			ひな祭り
10の姿	健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然とのかかわり・生命尊重、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現							

2023年度

安　全　年　間　計　画

となりのすまいる保育園

月	安全関係行事	子どもへの働きかけ	園内・園外研修、職員周知	保護者発信	環境
4月	避難訓練 散歩の日 ※毎月28日を散歩の日として戸外での緊急対応訓練を行う	・安全パトロール ・地震、火災が起こったら ・野外調理の安全 ・毒のある植物、生き物 ・遊具の安全な使い方 ≪5月頃≫ ・熱中症の危険 ・帽子の大切さ ・園外活動での蚊 ・水遊びのルール	・アレルギー既往歴の確認 ≪研修≫ ・SIDS　・誤飲・誤嚥　・個人情報 SNS ・アレルギー　・ハラスメント　・水の事故 ・バス乗車マニュアルの確認 ・虐待(保護者・不適切な保育) ※セルフチェック ≪5月ごろ≫ ・熱中症について ・虫の危機 蚊(デング熱など)、毛虫など ・蜂について　・水遊びについて	≪年間を通して≫ ・すまいるカードのお願い ≪毎月≫ 避難訓練時に災害伝言ダイヤルの周知 ≪11月≫ SIDS強化月間	≪4月≫ ・防犯設備の確認(セコム等) ≪5月頃≫ ・熱中症指数の掲示 ・虫よけの準備 ≪毎日行うこと≫ ・いのちのリスト ・ヒヤリハット ・気づきノート ・空気清浄機の使用 ≪毎月≫ ・避難訓練時に災害伝言ダイヤルの試験運用(15日の場合) ≪都度≫ ・嘔吐処理備品の確認 ≪防災訓練時6月・10月≫ ・防災設備の確認(通報装置等) ・非常食、防災備品の確認 ≪11月頃≫ ・加湿器の使用開始 (水抜きは毎日行う)
5月	避難訓練 散歩の日 子どもがいなくなった訓練				
6月	総合防災訓練 散歩の日				
7月	避難訓練 不審者対応訓練 (警察立ち合い)		≪6月～7月≫ ・普通救命講習 ・竜巻について ・大規模災害時のマニュアルの周知、確認		
8月	避難訓練				
9月	避難訓練 散歩の日				
10月	総合防災訓練 散歩の日	・野外調理の安全			
11月	避難訓練 散歩の日 子どもがいなくなった訓練	・衣服の安全、調整	・感染症について インフルエンザ、嘔吐処理 ・SIDS強化月間		
12月	避難訓練 散歩の日				
1月	避難訓練 散歩の日		・虐待について		
2月	避難訓練 散歩の日				
3月	避難訓練 散歩の日				

☆避難訓練・散歩の日については別途計画を作成 ☆毎月28日戸外での「安全の日」と設定し避難訓練を行う

2023年度　となりのすまいる保育園　保健計画

年間目標：丈夫な身体づくりに向けた保育園での生活を送る

2022.2月更新（看護委員会作成）

月	保健目標	毎日・毎月・随時 ／看護分科会	子どもへの働きかけ ／保健行事	園内研修・職員周知	家庭・地域との連携	
					ほけんだより	保護者連絡・連携
4月	進級・入園に伴う 環境の変化に慣れる ・生活リズムを整える ・園での生活に慣れる	＜毎日＞ ・視診（体調不良の早期発見） ・触診・検温 ・感染状況の把握・掲示 ・体調不良児、けが等の対応 ・医療棚・救急箱の整理/補充 ・内服状況の把握	・入園時健康診断 〈毎月〉 ・身体測定	・環境の変化に伴う事故発生に留意する ・戸外活動の注意点（熱中症・けが） ＜適時＞ ・新入園児のSIDS /SUDIの注意喚起 ・看護委員会からの連絡事項 ・感染症への注意喚起	・生活リズム（活動と休息） ・園での生活 ・清潔について（爪・頭髪） ・薄着の勧め ・靴の選び方 ・午睡の必要性 ・発熱時の対応（適時）	・家庭調査票の提出・確認・活用 ＜適時＞ ・体調変化に伴う連絡 （保護者連絡の目安・緊急時等） ・感染症の掲示、コドモンの配信 ・予防接種状況把握 ・保険証・乳児医療受給者証の期限切れ案内
5月	手洗いの大切さ 戸外で十分に遊ぶ	＜毎月＞ ・身体測定・記録 ・カウプ指数による発育確認 ・予防接種状況の把握・記録 ・保険証・乳児医療受給者証の期限チェック・管理 ・入園児の健康診断の結果 ・アレルギー疾患、既往歴の把握 ・救急箱、預かり薬のチェック ・安全WTへの参加 ・看護委員会 ・検便検査（職員）	・熱中症対策 （帽子・水分補給等）			
6月	感染症に注意する 歯を大切にする		・歯科健診 ・虫歯予防デー ・内科健診	・熱中症予防 ・虫刺され・イカリジンでの虫よけ対策 （11月まで）	・熱中症 ・虫歯予防 ・冷房使用について ・虫刺され（蚊）	・歯科健診の結果・治療の案内
7月	暑さに負けず 元気に過ごす		・皮膚疾患などの把握 ・水遊び時の注意事項	・水遊びの注意（感染・事故）	・夏の感染症 ・皮膚の清潔	・内科健診の結果・治療の案内 ・夏の寝具・衣服の切り替え
8月		＜随時＞・体調変化に伴う連絡・対応 （保護者連絡の目安・緊急時等） ・感染症の掲示、コドモンでの配信 ・体温計の管理 ・お散歩バック内救急セット確認 ・健康診断の準備・結果配布 ・嘔吐セットなどの備品管理 ・感染症発生時の対応・注意喚起			・夏を乗り切ろう ・夏の生活習慣	
9月	けがに気をつけて 体を動かす			・緊急時の対応　（救命講習）	・虫刺され（蜂・毛虫） ・救急の日 ・生活リズム・感染症	・お弁当への注意（安全WT）
10月	体を動かすことを楽しむ		・世界手洗いデ ー ・目の愛護デー ・内科健診	・空気清浄機点検・整備	・目の愛護デー ・予防接種 （日本脳炎・インフルエンザ） ・冬の服装（下着の着用）	・冬の寝具・衣類の切り替え
11月	薄着の習慣をつけ 丈夫な身体を作る		・手洗い指導 ・咳エチケット	インフルエンザの欠席について	・風邪予防 ・スキンケア ・鼻のかみ方・中耳炎	・内科健診の結果・治療の案内
12月	感染症や 風邪の予防に努める				・インフルエンザ ・冬の感染症・予防	
1月	寒さに負けず外遊びを 楽しむ（体づくり）				・ノロウイルス・嘔吐の処理 ・丈夫な体を作る	
2月		・保健計画の評価・検討			・冬のスキンケア（あかぎれ、しもやけ）	
3月	耳を大切にする 1年間の成長発達を確認する	・常備薬品の見直し・補充 ・医療用備品のチェック・補充 ・身体測定グラフの配布 （全園児）		・空気清浄機点検・整備	・耳の日 ・進学に向けて ・花粉症	